



平成27年度 少年消防クラブ交流会(全国大会)の記録



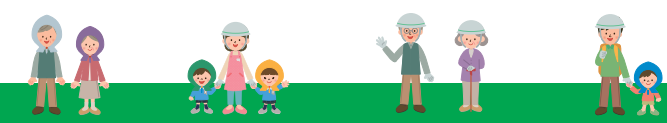
主催 消防庁

協力 徳島県

一般財団法人 日本防火・防災協会

公益財団法人 日本消防協会

公益財団法人 徳島県消防協会



平成27年度

少年消防クラブ交流会(全国大会)の記録



まえがき 4

1 交流会の概要 5

2 参加クラブの記録(全45クラブ)

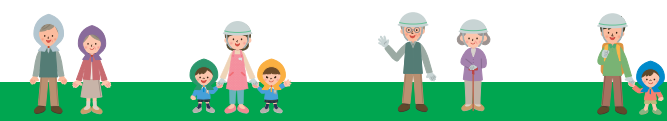
- 伏古本町ひまわり少年消防クラブ(北海道札幌市)..... 10
- 東月寒少年消防クラブ(北海道札幌市)..... 12
- 清田中央少年消防クラブ(北海道札幌市)..... 14
- 富丘少年消防クラブ(北海道札幌市)..... 16
- 太陽わらべ太鼓少年消防クラブ(北海道北見市)..... 18
- 上江別第一自治会青少年消防クラブ(北海道江別市)..... 20
- 福浦少年消防クラブ(青森県下北郡佐井村)..... 22
- 三郷市少年消防クラブ(埼玉県三郷市)..... 24
- 浦安市少年消防団(千葉県浦安市)..... 26
- 日本橋消防少年団(東京都中央区)..... 28
- 芝消防少年団(東京都港区)..... 30
- 日本堤消防少年団(東京都台東区)..... 32
- 玉川消防少年団(東京都世田谷区)..... 34
- 豊島消防少年団(東京都豊島区)..... 36
- 昭島消防少年団(東京都昭島市)..... 38
- 日野消防少年団(東京都日野市)..... 40
- 秋川消防少年団(東京都あきる野市)..... 42
- 高津ジュニアハイスクール消防隊(神奈川県川崎市)..... 44
- 大和市少年消防団(神奈川県大和市)..... 46
- 湯河原町少年少女消防クラブ(神奈川県足柄下郡湯河原町)..... 48
- 内灘町子ども消防クラブ(石川県河北郡内灘町)..... 50
- 豊田市立竜神中学校少年消防クラブ(愛知県豊田市)..... 52
- 尾張旭市少年少女消防団(愛知県尾張旭市)..... 54

- 城陽少年消防クラブ(京都府城陽市)..... 56
- 河南町ファイアジュニア(大阪府南河内郡河南町)..... 58
- ひよどり台防災ジュニアチーム(兵庫県神戸市)..... 60
- 若草中学校少年消防クラブ(兵庫県尼崎市)..... 62
- たつの少年消防クラブ(兵庫県たつの市)..... 64
- 比治山学区少年少女消防クラブ(広島県広島市)..... 66
- 元宇品学区少年消防クラブ(広島県広島市)..... 68
- 栗原少年消防クラブ(広島県尾道市)..... 70
- 6区少年少女消防クラブ(広島県三次市)..... 72
- 府中町少年少女消防クラブ(広島県安芸郡府中町)..... 74
- 厚南地区少年消防クラブ(山口県宇部市)..... 76
- うずしお少年少女消防クラブ(徳島県鳴門市)..... 78
- 伊島少年消防隊(徳島県阿南市)..... 80
- 瀬居幼少年消防クラブ(香川県坂出市)..... 82
- 久万中学校少年消防クラブ(愛媛県上浮穴郡久万高原町)..... 84
- 美川中学校少年消防クラブ(愛媛県上浮穴郡久万高原町)..... 86
- 赤岡町少年防災クラブ(高知県香南市)..... 88
- 下曾根少年消防クラブ(福岡県北九州市)..... 90
- 第東中14区少年消防クラブ(福岡県北九州市)..... 92
- くすばし少年消防クラブ(福岡県北九州市)..... 94
- ひかり児童館少年消防クラブ(熊本県八代市)..... 96
- 田皆少年消防クラブ(鹿児島県大島郡知名町)..... 98

3 資料

- 合同訓練概要図..... 100
- スケジュール..... 102
- 写真集..... 103





まえがき

少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までの青少年で結成されており、平成26年5月1日現在、全国に約4千5百のクラブ、約42万人のクラブ員が活動しています。



少年消防クラブ員は防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災に関するさまざまな訓練の実施、講習会等への参加、火災予防ポスターの作成、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表会の実施などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

地震や風水害など多くの自然災害が発生する我が国において、少年消防クラブ員には、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されており、このことを踏まえ消防庁では、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた合同訓練等を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から被災経験、災害への備えなどについて学ぶ「少年消防クラブ交流会」を平成24年度から開催しています。平成24年度は岩手県で東日本ブロック大会を、平成25年度は徳島県で西日本ブロック大会をそれぞれ開催してきましたが、今年度はその規模を拡大して、徳島県で初めての全国大会を開催しました（※平成26年度大会は台風の影響により中止）。

今年の交流会には、全国の少年消防クラブから45クラブ（クラブ員245名、指導者76名、合計321名）の参加がありました。「ヨーロッパ青少年消防オリンピック」の競技種目を参考とした合同訓練をはじめ、体育施設での避難所体験、参加クラブによるクラブ活動紹介等に取り組み、他のクラブの活動内容を学んだり、他のクラブ員と親交を深めたりする機会にもなりました。交流会で経験したことがクラブ員のさらなる意識高揚につながり、今後の少年消防クラブ活動において大いに活躍され、地域防災の担い手として成長されることを期待しています。

この記録集は、交流会に参加したクラブ員の感想等をまとめたものです。交流会を通して感じたこと、今後の抱負等について、クラブ員の熱い気持ちが綴られています。ぜひ、ご一読いただき、少年消防クラブ活動の参考としていただければ幸いです。

交流会における各活動行事については、開催地徳島県をはじめ、同県内の関係消防本部、消防団及び女性防火クラブ並びに参加クラブ（クラブ員、指導者、事務担当消防本部・署）のご支援・ご協力により、すべての行程を無事に終えることができました。

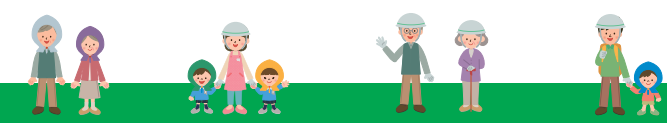
結びに、交流会の開催にあたり多大なるご協力を賜りました徳島県、一般財団法人日本防火・防災協会、公益財団法人日本消防協会、公益財団法人徳島県消防協会の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室



平成27年度 少年消防クラブ交流会（全国大会）の概要





平成27年度

少年消防クラブ交流会(全国大会)の概要

- 1 日程 ● 平成27年8月5日(水)～7日(金)
- 2 主催 ● 消防庁
- 3 協力 ● 徳島県
 - 一般財団法人 日本防火・防災協会
 - 公益財団法人 日本消防協会
 - 公益財団法人 徳島県消防協会
- 4 参加クラブ
 - 全国の少年消防クラブから募集した45クラブ
(クラブ員245名、指導者76名、計321名)

5 活動行事の内容



- オリエンテーション
- 参加クラブ活動紹介

徳島県副知事にもご出席いただき、参加各クラブによる活動紹介を行いました。普段あまり知る機会がない他のクラブの活動について、参加者は真剣に耳を傾けていました。また、夕食後には地元徳島県の阿波踊り連「娯茶平」の方々に、阿波踊りの実演と踊り方についてのご指導をいただき、参加者全員で阿波踊りを体験しました。



● 合同訓練

徳島県消防学校のグラウンドをお借りして、ヨーロッパ青少年消防オリンピックの競技種目を参考に、ホースの搬送やロープの結索等を取り入れた競技式の訓練をクラブ対抗により行いました。参加クラブの中には、地元の消防署や消防団の方から指導を受けて練習に励んできたクラブもあり、これまでの練習の成果を発揮するよう一生懸命取り組んでいました。訓練の様子は、徳島県知事をはじめ、(公財)徳島県消防協会長、徳島県婦人防火クラブ連合会長等、多くのご来賓の方々に観閲いただきました(合同訓練概要図:P100～101参照)。



●開会式



●クラブ対抗リレー



●クラブ対抗障害物競争

入賞クラブ紹介

第1位

三郷市少年消防クラブ(埼玉県)

第2位

豊田市立竜神中学校少年消防クラブ(愛知県)

第3位

高津ジュニアハイスクール消防隊(神奈川県)

第4位

浦安市少年消防団(千葉県)

第5位

若草中学校少年消防クラブ(兵庫県)




8/6
2日目

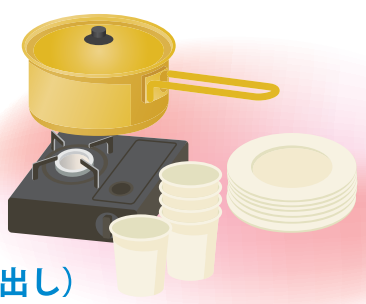
●避難所体験

徳島県西部総合県民局及び美馬市消防団の方々にご協力いただき、美馬市にある体育施設において、避難所体験として段ボールハウス作りを行いました。段ボールを使用してグループごとに区画を作り、床の上にマットを敷いた寝床で就寝をしました。慣れない環境での生活でしたが、クラブ員にとっては貴重な経験となりました。



●夕食(炊き出し)

夕食は、美馬市婦人防火クラブの方にご協力いただき、災害時を想定した炊飯によるカレーライスと豚汁を美味しくいただきました。




8/7
3日目

●消防団等との交流

徳島県美馬市消防団の方々から消防団に入った経緯や消防団の活動についてのお話を聞きすることで、消防団について理解を深めることができました。また、平成27年7月に行われましたヨーロッパ青少年消防オリンピックに出場した地元クラブ(うずしお少年少女消防クラブ)のクラブ員も参加し、現地での活動報告をしていただきました。



●交流会の様子



●地元消防団との交流

●解散式



●ヨーロッパ青少年消防オリンピック活動報告



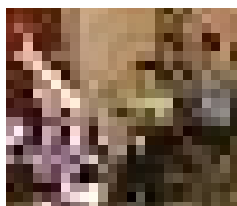


暑さに負けず、絆を熱く深めた3日間



■いよいよ開会式に緊張気味に整列

伏古本町ひまわり少年消防クラブは、6年生5名、5年生1名、4年生1名の合計7名と少ない人数ですが、みんなが和気あいあい楽しく元気に活動しています。今回は、男子6年生全員が交流会に参加しました。



■阿波踊りに初挑戦中



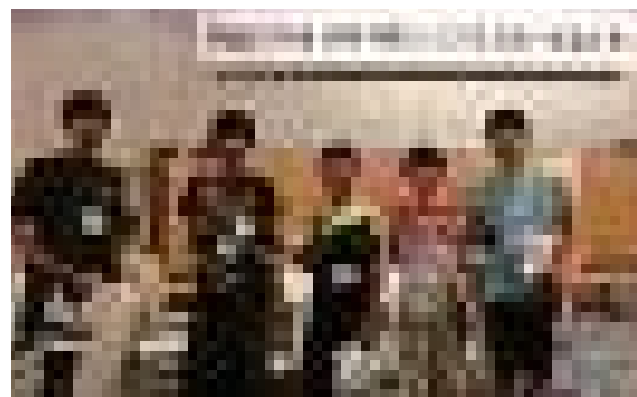
「少年消防クラブ交流会」に参加して

●武川 佳史(小6)

ぼくが、徳島県での交流会に参加して、一番思い出に残った事は、二日目の交流大会でした。気温が、37度を超す中で、すごく暑くて練習の時のようには、いかなかったところもあったけど、皆で最後までがんばれた事が良い思い出になりました。

最後にこの交流会でふだん出来ないような貴重な体

験をたくさんさせていただき、仲間との楽しい思い出も作る事が出来て良かったです。三日間ありがとうございました。



■いよいよ交流会が始まります

いました。なんとかやりとげましたが残念ながら五位以内には入れませんでした。みんなと協力し、助け合いながらできたのでよかったです。

徳島合同訓練の感想

●長井 崇晃(小6)

ぼくは、8月6日に合同訓練に参加させていただきました。五種目リレーでは、最後の先端の管を箱に入れる作業と棒に巻き結ぶ作業でした。管先はすぐに連結させ、箱に入れました。この時はかなり早くできたと思いましたが、巻き結びは2~3秒ほどできて、他の人たちもそれくらいの早さで、どんどんロープを結んで

消防合同訓練大会の感想

●矢野 雅人(小6)

ぼくは、合同訓練でクラブ対抗リレーと、障害物競技をやりました。

ぼくたちのクラブは何でも一番だったので、すごく注目を浴びていました。

最初はちょっとおくれていたけど、早めの行動で、相手をぬくことができてうれしかったです。

障害物競技では、障害物は早くにできたんですが、ロープでうまくいけませんでした。

優勝はできなかったけど、楽しかったです。



■競技前、準備万端に余裕の面々

避難所体験をやってみて

●松本 悠生(小6)

ぼくが少年消防クラブ交流会で一番やってよかったと思うのは、避難所体験です。

始めはダンボールハウスを組み立てたりダンボールハウスに絵を書いたりしてとても楽しかったけど、ご飯を食べるとき、外で立ったままご飯を食べるのがつらかったです。

この避難所体験は一日だったからよかったけど、これが一週間、一か月、一年と続いたらいくら楽しくても

もたえられないと思いました。この経験を大切にしていきたいです。



■段ボールハウスで避難生活体験



■炊き出しのカレーを堪能

貴重な体験

●浅水 聡一郎(小6)

ぼくは、全国交流会で、ふだんできない体験をすることができました。当日はとても暑く、ふつうに立っていても、たおれそうになりました。なのに、消防学校のみなさんは、何分も走っていたり、かけ声などをかけていたり、「こんなにも暑いのに」とおどろきました。でも、競技の時は、本気を出し、勝てました。優勝はできなかったけれど、楽しかったです。



■地元の徳島新聞に掲載されました



■秋本会長と記念にパチリ



有意義だった！徳島交流会！



■ 指導者2名、準指導者4名、クラブ員1名

平成26年8月、集中豪雨にて交流会直前中止になり、今年の天気はどうか？と、交流会10日程前から天気図とにらめっこの毎日でした。

今回参加者の中、初飛行機の者が2名、初四国の者が6名。

交流会食事会場での地元『連』の方々と一緒に踊った『阿波踊り』、アスファルトの強い照り返し、猛暑の中、徳島消防学校で実施した『消防競技大会』、ダンボールを使用した『避難所体験』、地元消防団との交流会等、当クラブにおいては、前泊、後泊もあり、4泊5日の有意義な少年消防クラブ交流会徳島大会でした。

指導部長 乙川 明



がんばった子どもたち

● 指導副部長 後藤 美幸

私たちのチームは中学二年生が四人、小学五年生が一人のチームです。中学生ともなれば勉強も部活もとても大変…でも時間のない中、大会前に何日間か皆で練習をしました。



■ 本番スタート位置に集合

ホースは真っすぐ転がず、何回も何回もやり直し、蚊に刺されながら頑張っ
て練習をしている子どもたち。練習の後、そのまま塾に行く子もいました。

大会前の練習は子どもたちにとって、とてもハードスケジュールだったと



■ 8月4日前日に徳島空港に到着

思います。

大会当日、徳島は札幌とは違う暑さ。熱中症に気をつけながらも走り回
る子どもたち…

10位という結果に終わったけど順位なんて何位でもいいんです。皆で楽しく頑張ったという事が大事。

皆で協力しながら一生懸命走っている子どもたちを見て、私が子どもたちから元気をもらいました。

みんな、本当にありがとう。おつかれ様。



■ 競技本番前の整列

団結

● 後藤 千晴(中2)

私達、東月寒消防クラブは徳島県で行われた全国大会に行ってきました。少ない人数でしたが、この短期間で色々なことがあり、団結したように思えました。全国大会の他にも、他の県から来たクラブとの交流や、ダンボールハウスで寝たことは、心に残っています。大会では、十位という惜しい結果でした。とても悔しかったけれど、すごく楽しかったです。そして、この徳島に行けたことは、今まで頑張ってきた成果だと思います。なのでこれからも頑張りたいです。



■ 開会式整列

充実した五日間

● 山崎 愛佳(中2)

私たちは八月四日から八日まで全国少年消防クラブ交流会で徳島に行きました。この五日間は様々な経験ができ、私にとってとても有意義な時間でした。

八月四日、私たちは徳島に到着しました。そこは驚くほど暑く、すごく過酷な環境でした。五日は、他のクラブの人たちとたくさん話せてすごく勉強になりました。そしてとうとう六日になり、大会本番を迎えました。私はとても緊張していましたが無事全ての競技が終わりました。賞はとれませんでした。精いっぱい力を尽くして良かったです。七日、八日は観光もでき、すごく良い思い出になりました。

この五日間は長いようであつという間でした。でもすごく楽しかったし充実した時間でした。引率して下さった指導者の方々、本当にありがとうございました。



徳島に行って頑張れたこと

● 藤田 優菜(中2)

消防競技大会では、何事にも一生懸命取り組み練習ではうまくいった、ボウリングもはずれてしまったけれどいち早く走ることができたんじゃないかと思
います。他にも、手を抜かず競技ができてよかったです。

二日目は、ダンボールハウスを作り夜ご飯を食べて、就寝時間になり少しすずしかったけれど実際に震災などの被害がありその場所で寝るとすると、うるさく、暑く今の私達の生活がどれだけいいものかをつくづく感じました。

今回、徳島に行って、たくさん頑張れたと思います。

がんばった大会

● 後藤 晃希(小5)

四国に行く前、地元札幌で何時間か大会に向けて練習をしました。

四国は札幌よりも暑く、暑いだけで少しつかれてしまい、あまり力を出す事ができませんでした。

でも、ぼくがやった水消化器は、練習よりもすぐたおれ、早くバトンを次の人に渡すことができました。

ぼくのチームは10位だったけど、いっぱいがんばれたのでとても良かったです。



■ 徳島グランヴィリオホテルにて阿波踊り鑑賞

徳島での交流会に参加して

● 細井 奏瑛(中2)

今回私は徳島で交流会に参加させていただきました。

2日目はダンボールハウスを作りました。思ったより難しく大変でしたが、がんばって作ったので、完成した時とてもうれしかったです。

3日目は徳島の消防員の方々から、いろんな体験談を聞き、災害への関心がよりいっそう深まりました。また、いろいろな地方の友達と話しをして、地元では聞けない、その地方ならではの話しも聞くことができ、とても楽しい時間を過ごせました。

徳島に行き、交流会に参加できとても勉強になりました。

■ うだつアリーナ前にて徳島消防美馬町のマスコットキャラクターの記念撮影



Fight!! 清田中央BFC



各種訓練をはじめ地域の防災訓練や少年消防クラブ交流会に積極的に参加し防災意識や防火・防災行動を身に付けることを目指し元気に活動しています。

全国大会を終えて

● 工藤 広誠(小6)

清田区代表で清田中央少年消防クラブは厳しい訓練を乗り越え、徳島県消防学校に行って来ました。大会が始まりスタートの笛が鳴った瞬間、僕の体に緊張が走りました。

5名のメンバーで息を合わせ、そしてとうとう僕の番です。消火器で的当てでしたが、約2秒で当てること

全国大会を終えて

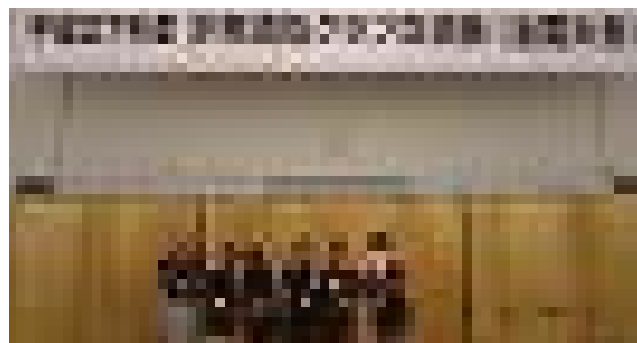
● 田中 凜(小6)

私たち清田中央少年消防クラブは、徳島県で開催された全国大会に参加しました。会場には、少年消防クラブに入っている人たちが、たくさん集まり練習の成果を出し合いました。会場には、たくさんの人でいっぱいでした。

私は心の中で「がんばって20位までの中には入る

が出来ました。2つの競技を乗り越え2つとも1位でした。

総合14位という結果で終わることが出来ました。帰ってみんなに良い報告が出来て嬉しかったです。ありがとうございました。



ぞ!!!」と思いました。5人で力を合わせてピンを倒したり、全力で走ったりしました。その結果14位という優秀な成績を残すことができました。とっても嬉しかったです。

これからは、徳島県の全国大会のことを活かして頑張りたいと思いました。

深まった結束と絆

● 横山 敬大(小6)

僕は、徳島県の暑さと参加チームの多さにとても驚きました。

大会では4チーム中1位をとり練習の成果と力を出し合えたことが、とても嬉しかったです。

避難所体験では、他のチームと力を合わせて取り組み良い経験になりましたが、長く避難するのは大変だと感じました。災害が起きた時に、しっかりと動くことができるようにこれからの練習も仲間と力を合わせて頑張りたいです。

大会に向け力を貸してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

全国大会で学んだこと

● 澤田 優輝(中1)

僕たちは、全国大会に参加しました。合同訓練の内容は簡単だと思いましたが、意外にも難しく、事前訓練の時から僕たちは力を合わせて全力でチャレンジしました。

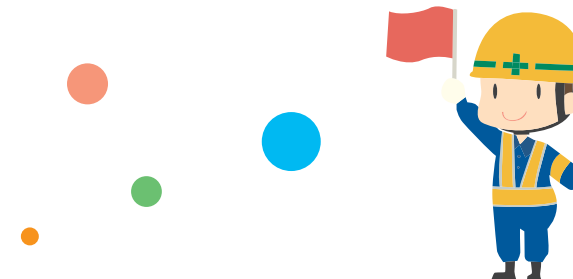
合同訓練当日に僕は、ボウリングのピンを4本も残し

全国大会に出場して

● 峰崎 美衣奈(中1)

私たち清田中央少年消防クラブは、徳島県で開催された全国大会に出場しました。

1日目は、他のクラブチームと初対面して、全国からたくさんのチームが集まっていました。交流もできました。2日目は、合同訓練があって、練習よりはるかに上の記録を出すことができ、とても嬉しかったです。3日目は、消防団の方々と交流して、様々な消防のことを聞くことができました。このことを活かして、今後の活動にも役立てていきたいです。



てしまい、自分のせいでチームが負けるのが悔しくて辛かったけど、仲間がカバーしてくれたおかげで良い結果となり、仲間と一緒に訓練ができたことを誇りに思いました。今回この全国大会で学んだ大事なことは「チームワーク」です。また仲間と参加したいです。





多くを学び、経験した交流会



富丘少年消防クラブは、小学4年生から6年生のクラブ員と、中高生からなる準指導者で構成されており、現在32名が活動しています。今回はその中から5名が交流会に参加しました。普段は、規律訓練やロープ結索等の基本的な訓練はもちろん、環境活動や地域との交流を深める活動を主としています。



交流会への準備

● 高田 陸玖(小6)

僕たちのチームは、中学生3人、小学生2人の5人のチームです。その中には受験生も1人います。他の4人も部活や習い事で忙しく、5人揃っての練習はあまり出来ませんでした。

個別でそれぞれの練習を、たくさんの消防署の方たちに指導してもらいながら頑張りました。でも、全体を通しての練習があまり出来なかったのが、大会当日まで不安でした。

大会当日は、予想しなかったハプニングもありましたが、みんなが自分の担当するポジションを頑張れたと思います。



■ 交流会前日、眉山ロープウェーにて

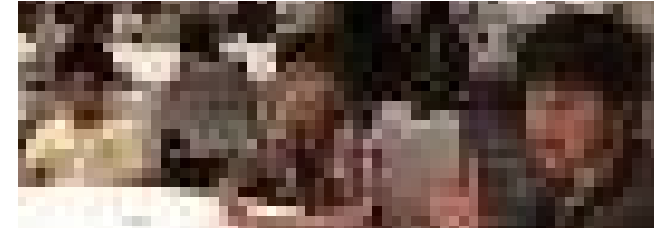
HOKKAIDO

徳島全国大会の1日目

● 藤田 文慈(中3)

交流会1日目は全国のクラブと食事会、阿波踊り体験をしました。今回同行していただいた指導者の西口さんと及川さんが以前のヨーロッパ大会に行ったこともあり、他のクラブの方等に有名人であることに驚きました。中にはサインを求める方もいて、全国大会で活躍すれば尊敬の目で見られることを知りました。

クラブの地域発表では、他のクラブのことを知ることが出来ました。地域の特産物を持ってきているクラブもあり、とても印象に残りました。



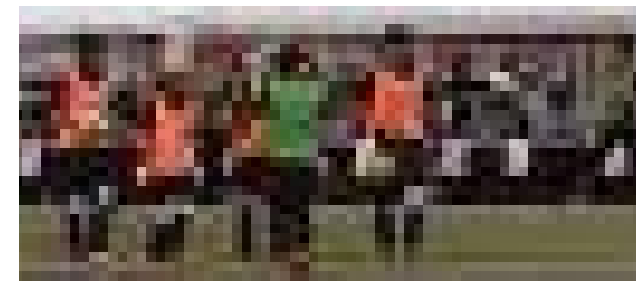
■ 食事会会場にて

また、食事の後にあった阿波踊りの体験で他のクラブの人達と一緒に踊ったのが楽しかったです。その際に、現地の阿波踊りチームの方から天皇陛下の前で踊ったときの話を聞くことも出来ました。貴重な経験をすることが出来ました。

合同訓練

● 福島 龍寿(中2)

2日目はとても暑い1日で、朝から外の気温にびっくりしました。合同訓練はとても緊張していましたが、何ヶ月も練習してきたので、その練習成果を出せたらという気持ちで頑張りました。他のクラブの様子を見ると、更に緊張してしまいましたが、本番では自分の力を出して、一生懸命頑張りました。結果は悔しい気持ちもありますが、経験できないことを経験できたので、楽しい思い出になりました。



■ 競技を終えて

避難所体験

● 朝田 颯馬(中2)



■ ダンボールハウスで他クラブ員との交流

2日目の夜から3日目にかけて避難所体験をしました。

食事のカレーライスや豚汁はとても美味しかったです。就寝する時は、ダン

ボールハウスで寝ました。同じ班の人と協力して作るところがとてもおもしろかったです。そしてできたダンボールハウスでサッカーなどをしたことが思い出に残りました。

夜にはランタンをつけてトランプで遊びました。とても楽しくて思わず笑ってしまって注意されたこともありました。

今後もし被災してしまうようなことがあったら、この避難所体験で学んだことをいかしたいと思いました。とても貴重で思い出に残る経験でした。

交流会に参加して

● 光崎 創太(小6)

今回の交流会を通して、僕は色々なことを経験しました。1つは練習です。最初は大変だと思ったけれど、だんだん楽しくなっていく、クラブ員5人の絆も深まりました。その結果、大会では少しくやしいけれど良い成績を出せてうれしかったです。もう1つは避難所体験です。他のクラブ員と交流したり、非常用のご飯を食べたり、段ボールハウスを作って寝たりすることは良い経験になりました。本当に災害が起きて避

難することになったら、この経験を活かして、その場にいる人達と協力

しながら過ごしやすい避難所を作ったり、活動をしたりしたいと思いました。



■ 合同訓練前の緊張した面持ち



北の大地から徳島へ



今回の大会参加は私達クラブや子供達にとって、「競技主体ではなく、訓練の延長線にあるもの」として、取り組む姿勢を大切に訓練しました。整列をきちんとする、移動は駆け足で、声を掛け合う、最後まで絶対にあきらめない等です。

初めて飛行機に乗った者、親から長く離れた者、離れた親、訓練指導者など多くの方が大会出場に係り、参加した子供達とともに良き体験をし、感動を共に味わうことができ、素晴らしい経験をすることができました。

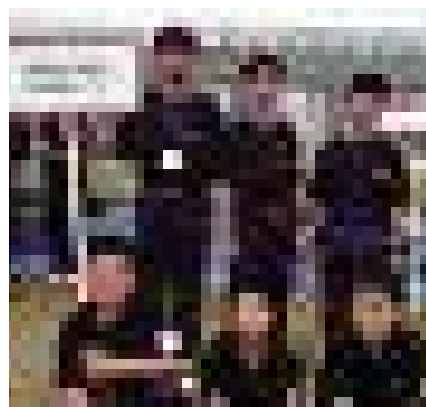


キャプテンとして

● 姉崎 里音(中2)

今回の大会参加には、昨年出場出来なかった事、先輩たちが引退して初のキャプテンということもあり、訓練にも力が入りました。

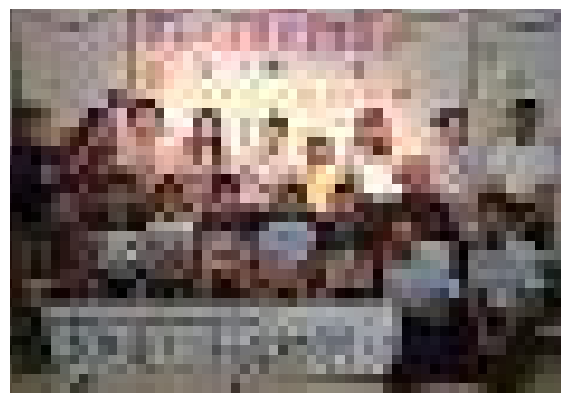
徳島に到着すると、今までに経験したことのない暑さに驚きましたが、チームワークを保ちながら、競技では日頃の訓練の成果を出せたと思います。



入賞はできなかったけれど、訓練期間から大会を経験し、「自分にもできる」と大きな自信がつかえました。初めて阿波踊りや観光、他のクラブとの交流など本当に楽しい思い出が出来ました。また、帰ってから後輩たちがサプライズで歓迎会をしてくれて、本当に嬉しかったです。

悔し涙と最高の思い出

● 伊藤 翔梧(中1)



僕は、初めて交流大会へ参加し、すごく楽しかったです。初日の阿波踊り鑑賞では、みんなで踊ることができて良かったです。合同訓練では、ホースボーリングが思い通りには行かず涙が出ましたが、障害物では練習の成果もあり好タイムが出せました。

避難所体験で制作した段ボールハウスは床が固くて平らで寝心地が悪く、実際に避難した人は大変だなと思いました。今回の体験を今後活かしたいと思います。

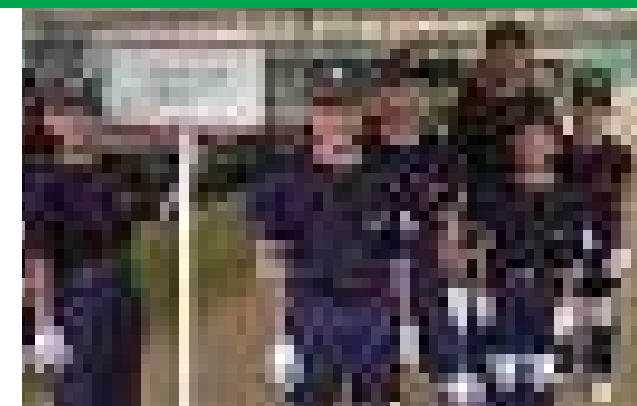
僕の徳島の交流大会

● 大東 翔(中1)

僕は夏休みに少年消防クラブ交流会で徳島県に行きました。そこでは合同訓練や避難所体験など色々な体験をしました。

合同訓練の競技では、入賞は出来ませんでしたが昨年より多くの訓練をした成果は出せたと思います。

来年も機会があれば、今年よりタイムを縮めて上位を目指したいと思います。



色々な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



緊張を乗り越えて

● 瀬田 真之(小6)

今年の夏休みは、僕にとって初めての体験でした。少年消防クラブ交流会でリレーと障害物競争に出場したことです。成績は入賞できませんでしたが、緊張する中でも訓練の時より良いタイムを出すことができ嬉しかったです。

チームによって色々な違いがあり、知ることが出来ました。とても勉強になりました。

くやしいこと、楽しいこと

● 安田 惟月(小5)

僕は、徳島県に行くくやしいことと楽しかったことがあります。

くやしかったことは、暑くて厳しい地獄のような訓練をしたのに入賞できなかったことです。

楽しかったことは、仲間といっしょに厳しい訓練を乗り越え全国大会に出場し、徳島のまちを見て回ったことや他のクラブの人と仲良くなれたことです。僕は来年も行けたら行きたいです。



チームワーク!!

● 東山 愁(小5)

少年消防クラブの大会を通してたくさんの事を教わりました。ロープの結び方や消火器の使い方もそうですが、一番勉強になった事は、「チームワーク」の大切さです。

家でも練習をして、その成果を出し合って競技のタイムが速くなったのは、みんなの努力の結果だと思いますし、練習中にお互いに声をかけ合い頑張ったからです。でも結果が一位でなく、とっても悔しかったです。もし、次の大会に行けるとなったら、この悔しい気持ちを大会にぶつけたいと思います。





心をひとつにリベンジ!

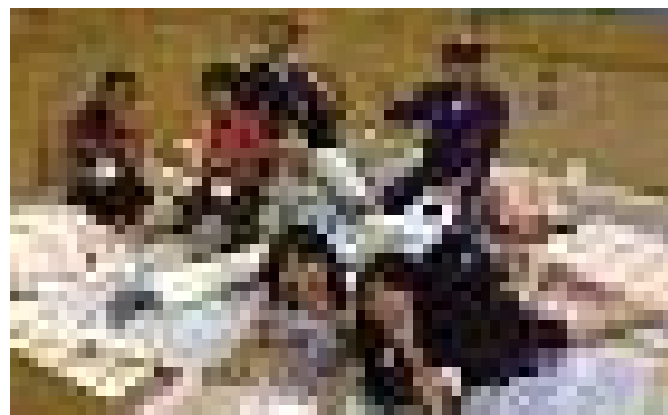


上江別第一自治会青少年消防クラブは14人のクラブ員で構成されており、普段は地域の防火安全のため「防火パトロール」や「大型物販店での広報活動」に参加するなど、消防署や消防団をはじめ、市内の他の防火クラブの方々と一緒になって活動に取り組んでいます。クラブ交流会への意気込みは強く、大雨により中止になってしまった昨年の悔しさをばねに練習を重ね、心をひとつに昨年と同じメンバーで参加しました。

全国大会に出場して

● 倉水 陽菜(小6)

出発の日は朝早くにもかかわらず、たくさんの方が見送りに来てくれました。交流会の1日目にはクラブの紹介があり、私たちは江別市についての発表をして、おみやげの「えべちゅんラーメン」を配りました。2日目に行われた競技大会は13位でしたが、悔いのない競技ができたと思います。入賞できなくて残念でしたが、新しい友達ができよかったです。この経験を将来の夢やこれからの活動に活かしたいと思います。



■ ダンボールハウスでの一コマ

全国大会を終えて

● 大滝 捺奈未(小6)

この全国大会を通して、全国の地域ではどのような災害対策をしているのかを知って、今まで以上に私たちの防災の意識が高まったと思います。また、交流では、全国のいろいろな人と友達になれてよかったです。ダンボールハウス作りでは、友達と協力してかわいいハウスができました。最終日は、地元徳島県の消防クラブから消防オリンピックの報告を聞くことができました。全体を通してとても楽しい3日間でした。



■ 他の参加者との交流

全国大会に参加して

● 佐藤 宇海(小6)

昨年は大雨の影響で大会に出られずに終わってしまいくやしかったです。今年は新たな気持ちで大会にのぞみました。消防署や地域の人々からも応援してもらい、当日にはやる気とわくわくでいっぱいでした。大会では45チーム中13位になり、とてもうれしかったです。交流会ではたくさんの人と一緒にだったので、①たくさん友達をつくる。②思いやりを持って行動する。③帰るとき、その場所に来たときよりも整えて帰る。ということを中心に3日間を過ごしました。

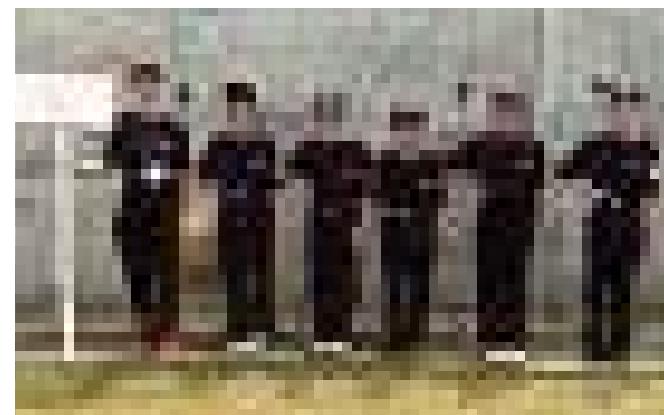
全国交流会について

● 村上 翔竜(小6)

全国交流会はホテルで始まり、1分間で江別市のPRをしたり、徳島名物の阿波踊りを鑑賞したりして1日目を終えました。2日目は暑い中で合同訓練をやって、



■ 競技スタート前に整列



■ プラカードを持って整列

全国大会に参加して

● 伊藤 慎悟(小6)

夏休み中、江別市消防署の方と一緒に何度も練習してがんばりました。本番は暑くて大変だったけど、練習の成果を出せたので45チーム中13位に入りました。2日目の避難生活体験では、ダンボールで寝ました。硬くて周りの音も聞こえるので、寝づらかったです。東日本大震災の時は大変だったんだなと思いました。あと、徳島は暑かったです。ほかのクラブの人と交流を深められてよかったです。友達も何人かできました。これまで学んだことを将来に活かしていきたいです。

45チーム中13位という良い結果になりました。競技会中は北九州のチームと仲良くなり、その夜のダンボールハウス作りのときには一緒に寝る札幌のチームと交流することができました。3日目の消防団の人との交流もとても勉強になりました。自分たちの活動が江別市のHPに載ったこともとてもうれしかったです。



■ マスコットと一緒に



■ ダンボールハウスでの一コマ



たくさんの思い出ができた全国交流会



福浦少年消防クラブは、福浦小中学校の全校児童生徒7名が所属しています。規模の小さい消防クラブですが、地区の消防団の方や佐井村消防分署の署員の皆さんに支えられて、地区の夜廻りや軽可搬ポンプ操法の訓練に励んでいます。今回は小学6年生以上の6名が徳島の交流会に参加しました。初めての経験ばかりで、思い出に残る夏になりました。



交流大会で心に残っていること

● 田中 明日香(小6)

私がこの交流大会で一番心に残っていることは、2日目の避難所体験です。

まず、段ボールハウスを作って寝たときは、腰などが痛くなったり、トイレなどが混んだりするので、とても不便だなと思いました。そして、避難所体験をして、避難していた人たちがとても不便なことがわかつ

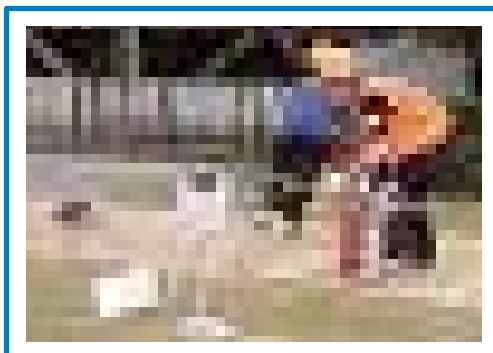
たので、私は避難している人たちのためにボランティア活動や募金活動をして困っている人たちの役に立ちたいと思いました。



初めての体験

● 田中 雅志(中1)

8月6日に徳島で行われた大会では、全国各地からたくさんのクラブが参加して親睦を深めました。他のクラブの人たちは、足も速く、結合作業やロープの結索がスムーズで驚きました。僕たちも練習の成果を出せるように頑張り、何とか中間



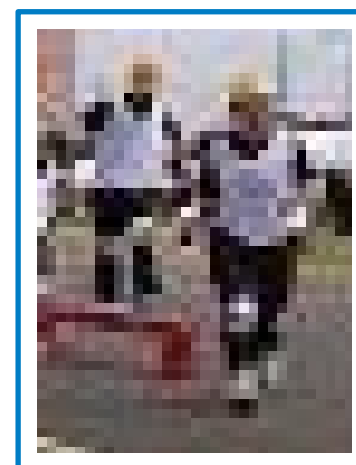
の位置に記録を残すことができ良かったです。今回参加してみて、僕たち福浦消防クラブの他にも活動を頑張っているクラブが全国にあることを知りました。僕たちも、これまで以上に一生懸命取り組み、先輩方が築きあげてきた伝統を守り続けられるように活動を頑張っていきたいです。



徳島に行って感じたこと

● 田中 歩(中1)

徳島で行われた消防の大会では、障害物競走で一番員の役目をしました。ホースをきれいに延ばすことはできたのですが、結合作業に時間がかかってしまいました。また、避難所体験では、埼玉県の消防クラブの人と仲良くなれました。寝るときは、段ボールが固くて



何回も目が覚めてしまいました。避難所で生活する人たちは、こんな思いをしているのかと悲しくなりました。今もまだ避難している人たちのために、私たちができることはないか考えながら生活していきたいと思ひます。



全国少年消防クラブ交流会に参加して

● 田中 亜依(中2)

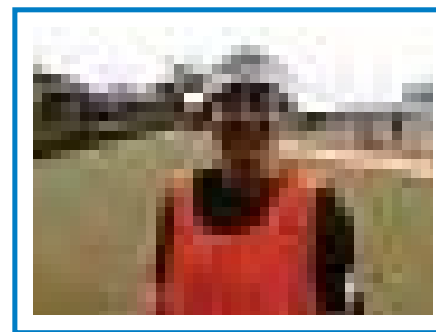
私は交流会に参加してみて、特に2日目のクラブ対抗リレーで悔いが残っています。私はピンを一本も倒せなかったので、練習の時からもっと真剣に取り組んでいれば良かったと思いました。他のクラブはタイムもとても速く驚きました。しかし、私たち福浦少年消



これからの決意

● 田中 真歩(中3)

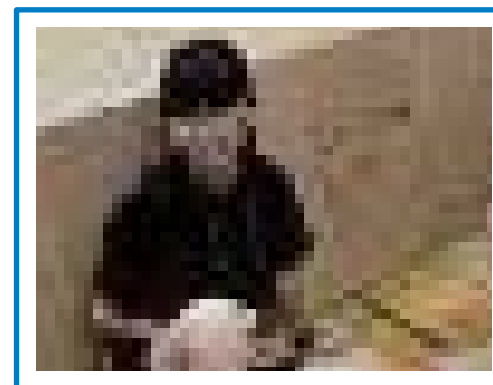
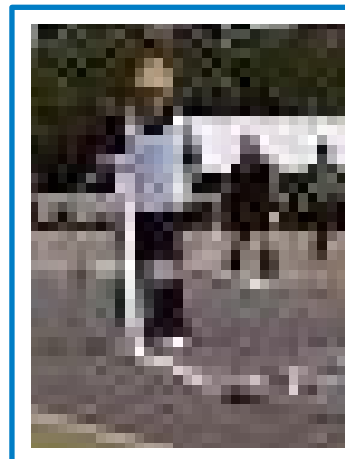
私が思い出に残っているのは合同訓練です。集中して取り組み、チーム新記録を出すことができました。今までの練習を真剣に取り組んできて良かったと思ひました。周りの消防クラブの人たちは、ロープの結索や障害物を乗り越えるのが素早く正確で、私たち



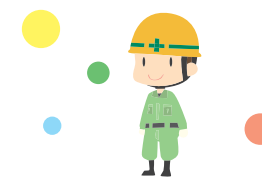
徳島での思い出

● 田中 輝(中2)

僕が徳島の交流会で楽しみにしていたのは、避難所体験です。段ボールで仕切りを作ることが難しかったのですが、北海道のクラブの人と協力して組み立てることができました。クラブ対抗リレーや障害物リレーでも仲間に助けられ、今回の体験で仲間の大切さを学びました。



防クラブは、夜廻りやポンプ操法など他のクラブにも負けていないところがあるので、これからもクラブリーダーとして自信を持ってみんなを引っ張っていきたく思ひました。



以上に頑張っているクラブがあることを知りました。これから私たちは、今まで以上にクラブ員として伝統を受け継いでいき、他のクラブと切磋琢磨し合いながら活動していきたいと思ひます。



三郷市の代表として ～負けられない戦いがそこにある～



平成23年4月に設立した三郷市少年消防クラブは現在、小学5年生から高校1年生までの男女86名で活動しています。今春から高校生になった5名のクラブ員は普通救命普及員の資格を取るなど活動の幅を広げ、準指導員として後輩クラブ員の指導に当たっています。

また、全国交流会や青少年消防オリンピックへの派遣により、クラブ員の消防・防災に対する意識も高くなり、リーダーとしての自覚も芽生えてきました。

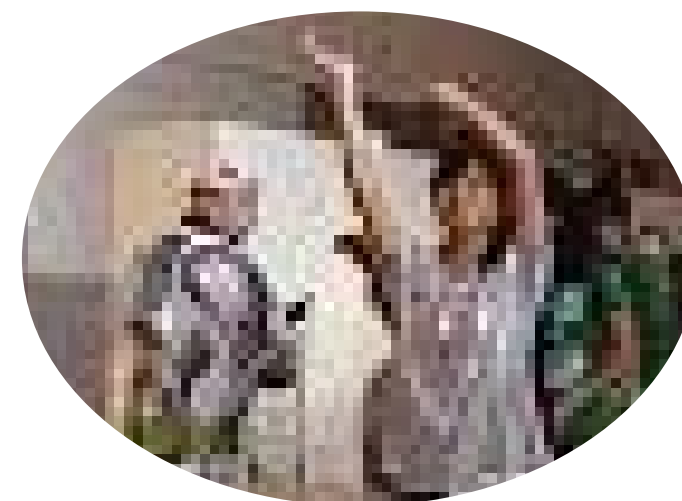
合同訓練優勝!

三郷市少年消防クラブは、全国交流会の代表として日頃の訓練や活動に積極的に取り組んでいるクラブ員を選出しました。小学6年生から中学2年生までの男女6名は、決して運動能力が高く体力に自信がある子供たちばかりではありませんが、先輩が残した伝統を引き継ぎ、「目指すはV2」を合言葉に日々の訓練に励みました。「合同訓練優勝しましたー。でも私は両方の競技とも失敗して悔いが残ります。できればやり直したい。だけど、

優勝が発表された瞬間は涙が出そうでした。それ位うれしかった。」高井沙輝(中1)

「ついに決戦…ミスやプレッシャー、緊張してベストではなかったけど、みんなおめでとう！本当に優勝できると思わなかった。」加藤颯(中2)

「いよいよ決戦の日、今までの練習の成果を発揮してなんと、優勝できました。1位を掴み取ることができ、うれしかったです。」二羽宗太朗(小6)



阿波踊り鑑賞

徳島県の伝統文化である阿波踊りを生で鑑賞することができ、クラブ員も生演奏や踊りの迫力に驚いたようです。

「阿波踊りを見て動きがキレッキレだったので感動しました。自分たちも踊ってみたけど意外と難しかったです。」大野将輝(中2)

「阿波踊りは迫力があり、とても楽しかったです。踊り方はよくわからなかったけど笑顔が止まらなくなりました。」高井沙輝(中1)

避難所体験

戸惑いや不安のあった避難所体験でしたが、東京都豊島消防少年団、青森県福浦少年消防クラブの皆さんと協力してダンボールハウスを作ることにより、交流が深まり、楽しく貴重な体験をすることが出来ました。

「今日は朝早く起きて7人で散歩、楽しかった。一緒に寝た福浦少年消防クラブの田中さんたちと、たくさん話すことが出来ました。」高須瑠華(中1)

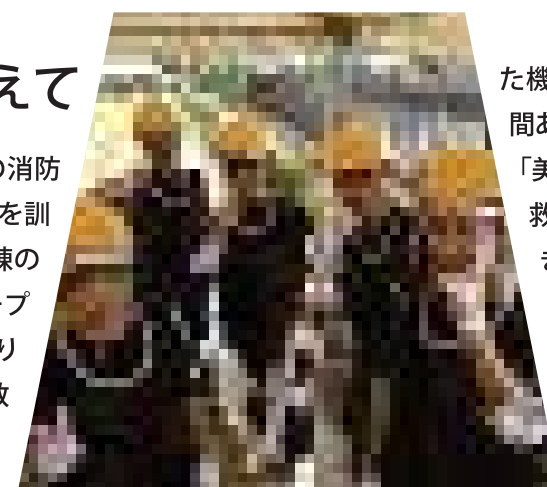
「豊島消防少年団と協力し寝床を一生懸命作りました。他のクラブの人たちと友達になれたので良い交流会でした。」大野将輝(中2)



「朝の4時40分ぐらいにみんなで散歩に行ってきました。ちょうど朝日が上がっていくのが見えたので良かったです。」福岡陽輔(中1)

交流会を終えて

今回の代表6名は、地元消防団の消防操法大会で「軽可搬ポンプ操法」を訓練展示した経験があり、合同訓練の練習では、消防ホースや救助ロープの取り扱いに苦労する場面もありましたが、苦手な部分は互いに教えあい、全員が協力して訓練を行いました。まさにチームワークの勝利であったと思います。全国交流会を通してクラブ員の仲が更に良くなったことが一番の収穫です。「最終日、もう終わりか、このメンバー最高だった！ま



た機会があったら7人で集まりたい。3日間あっという間でした。」高須瑠華(中1)

「美馬市消防団との交流会では山岳での救助法など様々なことを知ることができました。」二羽宗太朗(小6)

「クラブ紹介はとても緊張しました。合同訓練も失敗しないか心配でしたが1位になれて良かったです。」福岡陽輔(中1)

「うずしお少年少女消防クラブの方から青少年消防オリンピックの報告があり、自分たちも刺激を受けました。次は自分たちが出る！」加藤颯(中2)



貴重な経験ができた少年消防クラブ交流会



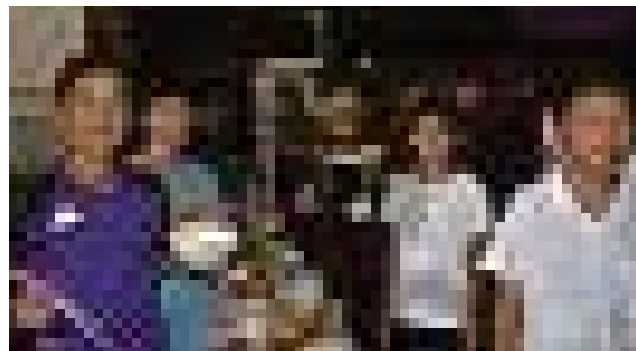
浦安市少年消防団は、小学5年生・6年生で構成しており、現在は小学5年生64名、小学6年生41名の計105名で規律訓練・救命講習・宿泊研修・救助訓練・出初式・炊出し訓練等の活動を行っております。交流会参加には参加希望者を募り11名が希望しました。その中から選考会で選ばれました、男子3名、女子2名の計5名で参加させていただきました。



楽しかった交流会

●リーダー 下野 伊織(小6)

少年消防クラブ交流会に参加して楽しい思い出がたくさんできました。1日目の夕食時、席が一緒だった他の消防クラブの人達と友達になりました。2日目、合同訓練会場に45チームが集まったのを見て入賞できるか不安になりました。表彰式で、「4位浦安市少年消防団」と呼ばれた時はびっくりしました。すごくうれしかったです。避難所体験では、1日目の夕食で友達に



なったクラブ員と同じ班になり、友達関係がさらに深まりました。3日目お別れの時がきました。交流会がとても楽しかったので別れがつらく感じました。

たくさんの経験ができました

●藤城 丈海(小6)

初めて飛行機に乗り、初めての徳島県でした。合同訓練のリレーでは僕は最初に走りました。僕は走った直後に転びそうになってしまい慌てましたが、ギリギリ転ばずに次の友達へつなぐことができホッとしました。みんなでがんばって4位に入賞することができてすごく嬉しかったです。夏休みの間で今までにない、良い体験をすることができました。緊張しましたが参

加できて良かったです。千葉県浦安市が大好きな僕でしたが、この全国大会のおかげで徳島県も好きになりました。ありがとうございました。



交流会での絆

●野崎 海斗(小6)

僕は交流会の3日間を少年消防団の仲間と過ごし、より一層絆が深まったと感じました。交流会前の練習では、みんなと回を重ねるごとに仲良くなり、良いタイムが出せるよう頑張ってきました。その結果、4位に入賞することができ、一生懸命教えてくださった先生方に感謝しています。また、2日目の夜は他の消防クラブの人達とも楽しく過ごすことができました。今後、この貴重な体験を活かして行きたいと思いました。



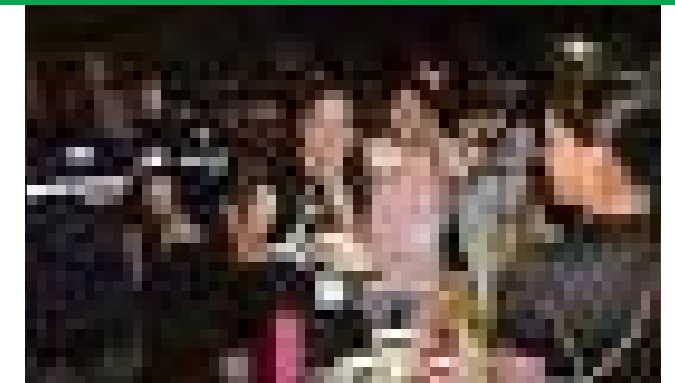
充実した3日間

●齋藤 あかり(小6)

大会を終えて、なんだか清々しい気分になりました。クラブ紹介で自分たちの地域のことを大勢の人前で発表できたことや、他の消防クラブの人達とのふれあい、そして、初対面の友達と協力して段ボールハウスを作ったり、一緒に生活したり、とても良い経験になりました。暑い中、大変だったけど頑張って良かつ

4位入賞

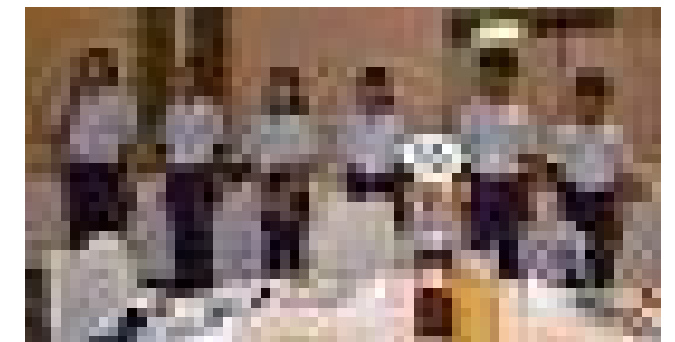
浦安市少年消防団が、交流会に初めて参加できることとなり、合同訓練のために事前訓練を行ってきました。本番では選手全員が練習以上の力を発揮し4位に入賞することができ、選手達の集中力に驚きました。今回の交流会では、合同訓練だけではなく避



交流会での思い出

●松本 亜澄(小6)

私のチームは全員が小学生だったので、上位入賞は厳しいと思っていましたが、クラブ対抗障害物競争で巻き返して4位入賞できたのでとても嬉しかったです。交流会前の練習は辛かったけど、練習してきて良かったと実感しました。他の消防クラブとの交流や避難所体験では、新しい友達もできて本当に嬉しかったです。普段できない経験がたくさんできて、楽しいことがたくさんあったので、この交流会に参加できて本当に良かったです。



たです。貴重な体験ができ、大きく成長できたと感じる3日間でした。



難所体験を通じて他のクラブ員と活動することで、相手を思いやる気持ちや、チームワーク、団体行動の規律の大切さを改めて実感することができました。交流会に参加して得たことを当市の活動で活かしたいと思います。



私は徳島交流会に参加して様々なことを経験しました。1つめに1日目の阿波踊りの鑑賞です。私は阿波踊りを初めて見たのでいい経験となりました。阿波踊りを踊るのは難しかったです。2つめに避難所での生活体験です。私たちは2日目の夜、午後作った段ボールの簡易ハウスに泊まりました。これは災害時などでしか体験できないのでとても貴重な経験となりました。この避難所での体験は普段慣れていないのでとても大変でした。3つめに合同訓練でのクラブ対抗リレーや障害物競争などで他のクラブと競ったことです。

このほかにも私は他のクラブとの交流や皆の前で決意表明を代表で発表したこと、徳島の観光などの様々な経験ができました。このような交流会に参加できてよかったです。この会を作っていただいた消防庁や徳島県の方々本当にありがとうございました。

●糸日谷 凜 (中3)

私たち日本橋消防少年団は徳島で開催された全国大会に出場しました。私がまず驚いたのは本当に北海道から沖縄までの消防団が集まっていたことです。去年は台風の影響により、この大会は中止になってしまったので「やっと来たんだ」という実感がわきました。そして、ずっと楽しみにしていた阿波踊りも、見るだけでなく実際に踊れて楽しかったです。2日目の競技では、私は消火器で的を倒す役割だったので、消火器の使い方を間違えないように気を付けながら頑張りました。障害物リレーでは、本番は少し失敗してしまいましたが、みんなで力を合わせて競技できたことがとても心に残っています。競技の後には避難所体験をしました。実際にやってみると、すごく大変なことがわかりました。

私はこの全国大会に参加して、違う地域の少年団の子と友達になれたり、普段では経験できないことが経験できたりと、とても充実した三日間を過ごすことができました。

これからも今回の体験を踏まえ、いざという時に適切な行動がとれるようにしていきたいです。

●湯澤 心悠 (小6)

私は今回の交流会を終えて、たくさんの人と交流ができて、色々な事を学ぶことができました。初日、徳島に到着し宿泊先に荷物を置いて一息ついた時には東京を出てから4~5時間ほど経過しててあっという間でした。その後移動し、オリエンテーションを行いました。その中でクラブ紹介があり、私の中で一番印象に残っている隊は「福浦少年消防クラブ」です。隊員全員が「田中」というのが一番の印象です。夕食では、同席だった「浦安市少年消防団」の皆さんとも仲良くなる事ができてとても良かったです。そして、徳島名物の阿波踊りの鑑賞と体験をさせていただきました。意外と疲れました。宿泊先に戻り、初日が終了しましたが、忙しい一日だったのですぐに就寝できました。

二日目、交流会の目玉である合同訓練を行いました。信じられないくらいの猛暑の中、リレーと障害物競争をやりました。初めのリレーは練習があまりできなかったのにもかかわらずみんないい感じで走っていたので良かったと思います！障害物競争では色々アクシデントが発生したもののみんな全力で取り組んでいたのが結果オーライだったと思います！結果はあまりよくありませんでしたが、貴重な経験をさせていただいたことに感謝したいです！訓練後、うだつアリーナに移動して段ボールハウス作りをしました。段ボールには落書き自由だったのでたくさんの絵を描きました。夕食のカレーとスイカを食べ終えて段ボールハウスに戻って就寝しました。結構寝にくかったです。

最終日、段ボールハウスの片づけをした後、消防団等の方々との交流がありました。青少年消防オリンピックの貴重なお話を聞いて嬉しかったです。今回の交流会で私は、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。この体験を活かして今後につなげていけたらと思います！

●百木 愛結 (中3)



ぼくがこの徳島交流会で一番印象的なのは、緊急時用の訓練の段ボールハウス作りです。段ボールの部屋はとても丈夫で、いつも目している段ボールとは思えない程のクオリティでした。夕食で出たカレーに使われているアルファ米は、災害時に最小限の材料で炊き出しができると聞いてとても驚きました。しかし、このような画期的な技術があっても、大震災などの災害で、このような暮らしを一週間以上続けると考えるとあまり想像が付きません。最初の三日は何とか乗り切れそうですが、段ボールの床はごつごつしていて、緊張していたのもあって寝付けませんでした。日数が多くなるにつれて心に余裕ができなくなって耐えられなくなってしまいそうです。

この訓練を受けて、僕は災害時の準備の大切さと、防災対策への理解をより一層深めました。精神的な余裕を作るという意味でも、配給がくるまでの健康を保つという意味でも、やはり災害時の準備は不可欠です。それに、まずは災害時に生き残るためにも、棚が倒れないつかえ棒などもなくてはならないということがわかって、そういう意味でも、この交流会はとても有意義な会でした。 ●松田 開人 (中1)



徳島ではいろいろなことを学びました。楽しかったことは、日本中から集まった団員達に会えたこと、協力して段ボールハウスを作り、非常食のカレーを用意して食べたことです。辛かったことは、非常食でご飯がベチャベチャだったこと。でも本当の災害の時はそんなことは我慢しなくてはいけないだろうと思いました。あと段ボールハウスに虫が入ってきて、友達と協力をして段ボールでつぶしました。

競技では、ぼくはリレーに出場し、アンカーでした。ホースを結合する時に反対にやっていたんですが、気づいてすぐに結合してゴールしました。順位はイマイチでしたが、団結した瞬間でした。指導者の方々には大変お世話になり、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。 ●杉本 修亮 (中1)

懇親会では想定外の阿波踊り体験があり楽しいものであった。合同訓練はチーム一丸となり挑んだ。真剣な眼差しで取り組むクラブ員を頼もしく思った。避難所体験では一晩だから皆楽しそうにしていたが長期間の生活は大変なストレスになることを改めて感じた。消防団との交流で印象に残った言葉は「一年を振り返ったとき、何も(災害が)なかったことが良かったこと」である。

当たり前前の生活の裏には様々な人の支えがあることを忘れてはならない。交流会を通して得た経験によりクラブ員は一回り成長したであろう。将来地域のリーダーとして活躍されることを望む。 ●副団長 比留間 浩一



サイコ〜徳島!!



芝消防少年団は、現在小学1年生から高校3年生までの84人で活動しています。

東京港区の都会っ子魂と芝地域の下町情緒を合わせもつ芝消防少年団員の中で、可搬ポンプ操法訓練の経験者である小学5年生3人、6年生1人、中学2年生1人、中学3年生1人、副団長1名の計7名が交流会に参加しました。徳島では、見る物すべて新鮮でした。とても良い経験となりました。サイコ〜徳島!!



● 町田 友花(中2)

この交流会で一番印象的だったことは、段ボールハウス作りです。とにかく段ボールだらけで寝られるのか心配だったけど、意外と眠れました。しかし、今回私たちは一泊だけだったからよかったものの、避難生活は一泊だけではなく何日間もこの寝泊りが続きます。こんな中で何日も生



活したら疲労やストレスなどがたまりそうだなと思い、今の自分の生活はとても恵まれているなと思いました。

今回の経験をこれからの生活に生かしていけたら良いと思います。



● 古家 丈太郎(小5)

徳島では、様々な経験をしました。2日目の合同訓練でとにかく走りまわりました。かぶったヘルメットが前にずれたので、前が見えなくなり転びそうになりました。炎天下の中でのダッシュがやっと終わると、夕方には段ボールハウス作りが待っていました。段ボールを運んでくっつける作業が延々と続きました。なので、そんな中でのご飯はやはり最高！非常食のカレーのご飯

を皿に盛ろうとした直後、事件発生。手が滑ってご飯を地面に落としてしまいました。その時は新しいものと替えてもらいましたが、非常時はとにかく食糧がないので、このようなことがないように以後気をつけ、非常時はそれを率先して出来るようにしたいです。



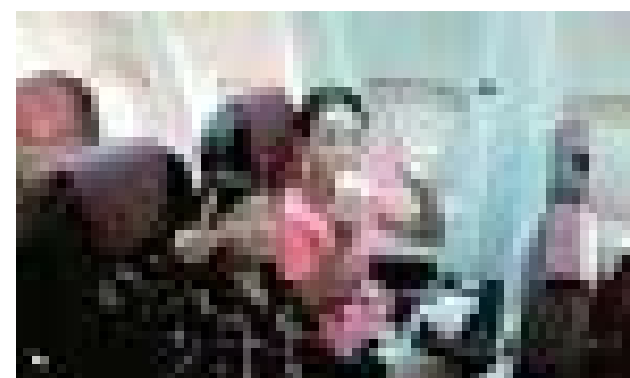
● 川畑 龍生(中3)

8月に徳島で開催された少年消防クラブ交流会で一番楽しかったことは、最終日の段ボールハウスの製作です。作ったハウスで他の団の隊員と一緒に過ごし、一緒に寝ました。楽しい夜でした。少し緊張もしたし、競技の結果も残念だったけど、久しぶりの飛行機や初めて徳島に行けて、参加してよかったと思います。良い体験でした。(写真右上)



● 関野 瑠花(小5)

徳島の合同訓練で、最初に思ったことは他のクラブの人たちはとても基礎が出来ていてカッコよく、練習していない私たちが少し恥ずかしかった。そんな中でも、段ボールハウスの体験で他の少年団の女の子2人と一緒に寝て、寝心地はあまりよくなかったけど、震災で家や住むところが無くなってしまった方々は、この生活が続いているのだと思うと、文句なんか言えないと思った。この経験を忘れずに、もしもの時に役立つことを学び、自分のことは自分で守れる人になりたい。(写真左)



● 清水 美優(小6)

私は初めて少年消防クラブ交流会に参加しました。一番印象に残ったことは、二日目の合同訓練で、クラブ対抗リレーに出たことです。どのようなことをするのか練習をしていなかったのでイメージがつかなく、実際にやったときにポンプの金具とホースをつなぐ作業は、すぐにできませんでしたが、無事につなぐことができ、次の人にバトンを渡すことができよかったです。(写真右)



● 小池 悠太(小5)

徳島の交流会に参加して、一番印象に残ったのは段ボールハウスの体験です。震災が起きた時には、自分たちで自分たちの寝る場所を作らなくては行けないけど、この地道な作業がとても大変でした。実際に東日本大震災のような地震で被害にあった方々を考えると、今の生活がとてもありがたく感じました。

この合同訓練で学んだことを、これからの生活に役立てていきたいです。



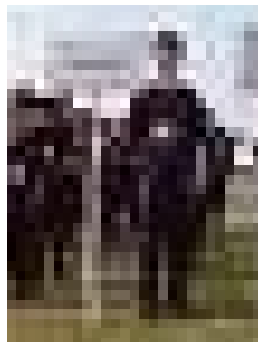
仲間たちの思いを胸に。 全力を尽くした全国大会



日本堤消防少年団は東京の伝統と長い歴史を持つ街である浅草を拠点とする消防少年団です。昭和54年に発足した少年団は長い歴史を経てもなお、その勢いの衰えることはなく今年度は新たに23人の仲間を迎え団員数は88名となりました。今回の交流会は88名の中から5名を代表とし参加しました。

交流会の感想

徳島では芝や日本橋の少年団と仲良くなれたので、そういう意味では大成功だったと思う。けれど大会の方は普通の戦績しか残せなかったの、そこは残念だった。だが、先で言ったとおり他のクラブチー



ムと仲良くなれたのは大きな成果だったと思う。仲良くなった2つの少年団の団員はいい人だった。日本橋は、食事の時に同じテーブルだったのがきっかけで仲良くなれた。芝は、避難所体験の時に一緒のところから寝たところから仲良くなった。この2つのクラブチームとは仲を深められたと思うけど、その他のクラブチームとはあまり話していないので残念だった。

少年消防クラブ交流会を通して

先日、少年消防クラブ交流会に参加しました。そこでの貴重な体験の中で特に印象に残ったことは、合同訓練と避難所体験です。合同訓練での障害物リレーでは、私は第5走者で、筒先とホースを結合させてゴールまで走るという役割でした。本番ではとても緊張して、スムーズに結合することができませんでした。ゴールまで全力で走り抜けることができたので満足しています。避難所体験では、実際に被災した状況を想定して、他の団の人と段ボールハウスを協力して作って過ごしたり、非常食を食

べたりしました。最初はうまくコミュニケーションが取れなかったけど、作業をしていくうちに打ち解けていき、たくさんいろいろな話ができて楽しかったです。段ボールの寝心地は段ボールがクッションになって硬くなく、床の冷たいのも防げました。この交流会で、消防に関することを学べたので、これからの消防少年団の活動で活かしていきたいです。また、協力することの大切さが分りました。もし、被災することがあったときに、周りの人と協力して自分のやるべき事ができると思います。



交流会に参加して

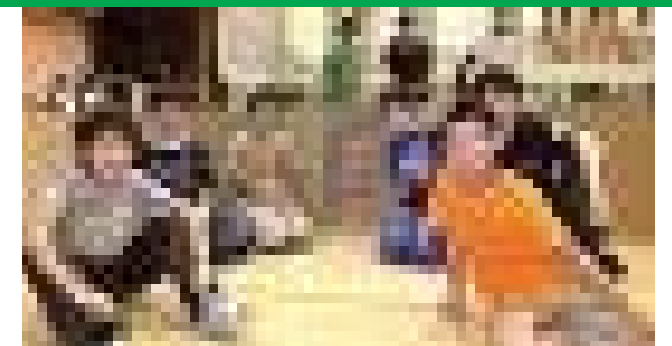
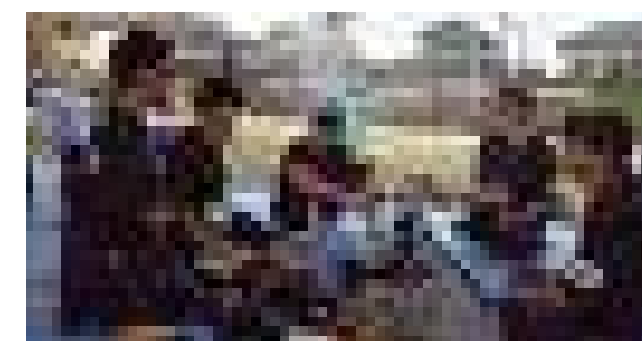
私は少年消防クラブ交流会に行き、色々なことをしました。心に残ったことは2つあります。1つ目は2日目にあった合同訓練です。クラブ対抗リレーではボーリングのピンがすべて倒れました。クラブ対抗障害物競走では全員がきちんと結索をできました。2つ目は2日目の段ボールハウスです。初めてダンボールで寝るので、ドキドキワクワクしました。寝心地は良くなかったけど、よく寝られました。この3日間楽しく学ぶことができました。これから私にできることがあれば率先して動きたいと思います。



■ しっかり、バトンをつなぐ

徳島について

ぼくは徳島の訓練で次のことを学びました。思ったことは、みんながこの県の人でも消火などの訓練が速いという事です。日本堤は結構速いと思ったけど順位は半分以下の26位でした。たぶん他の県のところはたくさん練習しているのかなと思いました。もう負けたくないの訓練をちゃんとやりたいです。徳島に行ってきたのは友だちだけではなくて思い出も多かったのです。



徳島に行つて

ぼくは徳島に行くときに、飛行機に乗りました。そして初めての飛行機で、ドキドキして、落ちるんじゃないのかと思うくらいでした。だけど乗ってみると、楽しくて、ジェットコースターみたいで面白く、景色が良くて、ものすごくワクワクしました。そして徳島につくと、さっそく宿に泊まり、その部屋も大きくて面白かったです。さらに、夜には阿波踊りも見て、すごく楽しくて踊ってしまうくらいでした。だけど意外に難しかったです。2日目になると、大会が始まり対抗リレーと障害物競走をしました。そこで、一番心に残ったことは、対抗リレーのホースを転がしてピンを倒すということで、ストライクを出せたという事です。だけど、ぼくよりみんなの方が足が速く、重たいものを持って走るなど、そっちの方が心に残って、すごいなと思いました。お昼になり、大会の緊張も消えてすっかり気持ち楽になると、災害の時のごはんを食べて、すごい味なのかがわかりました。そして夜になると、段ボール部屋を自分たちと一緒に作った他の団体と一緒に作りそのダンボールの壁に絵を書いて、その絵が、結構怖くて、びっくりしてなかなか眠れませんでした。朝になり、帰る日になって飛行機で帰るときには、ドキドキも消えていてすごく楽しく、また行きたいなと思いました。

指導者 鈴木 清美

今回の交流会に参加させて頂き大変お世話になりました。充実した4日間であり団員達も非常に満足した様子でした。ありがとうございました。



一人の力は小さい、でも小さい力が 集まって協力すれば大きな力となる



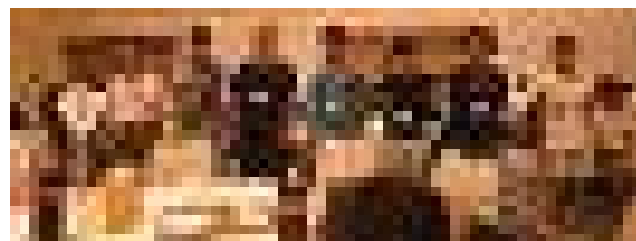
玉川消防少年団は、東京都世田谷区にあり、小学校4年生から高校3年生までの団員70名で活動しています。今回は、中学2年生から1名、中学1年生から3名、小学6年生から2名の計6名と指導者から2名が交流会に参加しました。全国の少年消防クラブの方たちと交流を深めた上に、人と協力する大切さを学ぶことができました。大変すばらしい交流会に参加することができ、とても嬉しく思っています。



交流会で学んだこと

● 小犬丸 舜(中2)

僕は、交流会に参加して沢山学んだことがあります。一つ目は団結力、二つ目は行動力、三つ目は集団行動の大切さです。1日目は全国の少年消防クラブの人たちと交流をしました。2日目は合同訓練で団結力を発揮しました。玉川消防少年団の実力を出し切れたと思います。2日目の夜から3日目にかけて、うだつアリーナでは、日野消防少年団と一緒に段ボールハウス作りをして交流ができました。3日間を通して、とても良い経験ができました。これからの生活に生かしていこうと思います。



協力するとできること

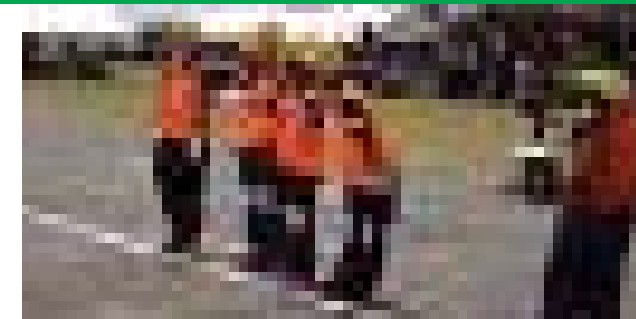
● 和田 純弥(中1)

僕たち6人は、玉川消防少年団の代表として、交流会に参加しました。一日目の阿波踊り鑑賞では、徳島の方々による阿波踊りが披露されましたが、流れた曲が頭から離れないほど好きになりました。二日目の段ボールハウス作りでは、他の消防少年団の人たちと協力しながら作りあげる事ができました。そして、その人たちとおしゃべりをしているうちに仲が良くなり友達になることができました。合同訓練では、総合30位という悔しい結果でしたが、素晴らしい仲間との一生の思い出を作ることができ、とても嬉しく思っています。

交流会に参加して

● 山野 暖樹(中1)

合同訓練では、あまりいい成績をだせませんでした。この結果は、日頃の練習が足りなかったからだと思います。前もって各自の苦手なことを明確にして、どうすればよいか話し合うべきでした。この反省を生かして、班長として、小学生の団員たちにきちんと練習の大切さを伝えていきたいと思いました。一番楽しかったのは、段ボールハウス作りです。日野消防少年団の



人たちと協力して作りました。協力しあうことで、きれいに仕上がり嬉しく思いました。色々な少年消防クラブの人たちと出会い、協力しあえたことは、とてもいい経験となりました。

協力する大切さ

● 杉浦 風(中1)

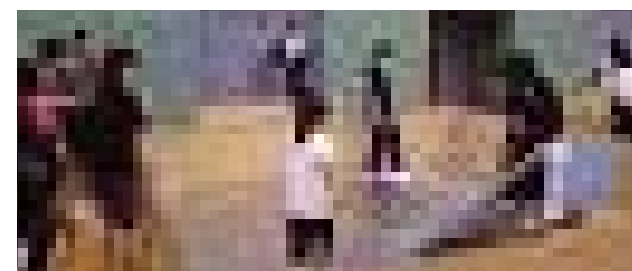
私は、交流会のメンバーとして徳島県に行きました。この三日間で、特に印象に残ったことは、避難所体験の段ボールハウス作りでした。なぜなら、消防団の人たちと一緒に協力できたからです。それだけでなく、万が一、地震などの自然災害が原因で自分の家に帰れなくなった時に、とても役に立つからです。この体験で、仲間と一緒に協力する大切さも良くわかりました。万が一の時に備えて、これからも活動を頑張っていきたいと思います。



協力できた三日間

● 和田 結芽(小6)

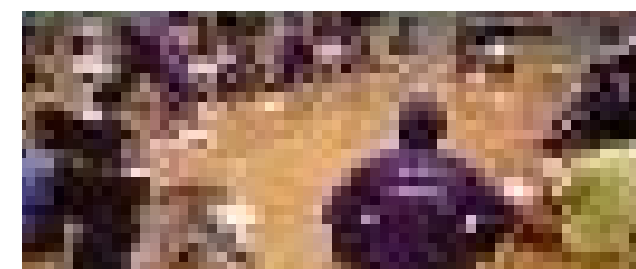
私は三日間、一緒に交流会に参加した女子とも男子とも仲良くできました。最初は、男子と女子が別々で話したり行動したりしていましたが、一緒にいるうちに団員同士がとても仲良くなりました。また、段ボールハウス作りでは、他の少年団の人たちとも協力して頑張ることができました。この交流会に参加して、協力するということの大切さが学べて、とても良い経験ができました。



交流会での思い出

● 杉江 愛菜(小6)

私は、徳島の交流会で、一緒に参加したメンバーや他の少年団の人たち消防団の人たちと協力して活動したり楽しく遊んだりでき、大変良い思い出ができました。協力した活動や楽しく遊べたのは、みんなの心が優しいからだと思います。初めての参加でしたが、と



ても楽しく充実した三日間だったので、とても嬉しく思いました。今回参加できなかった団員には、この経験を伝え、交流会の楽しさを知ってもらおうと思います。

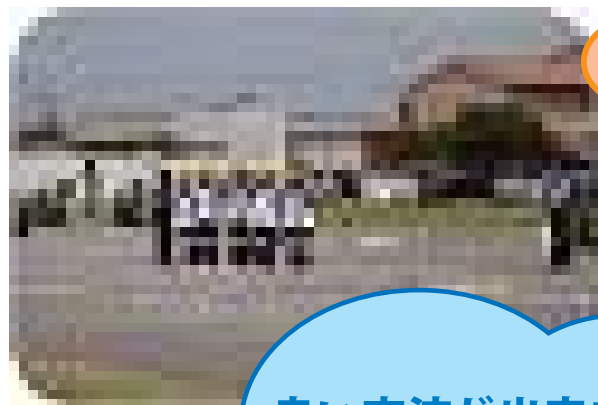


すばらしい仲間と絆が深まった3日間

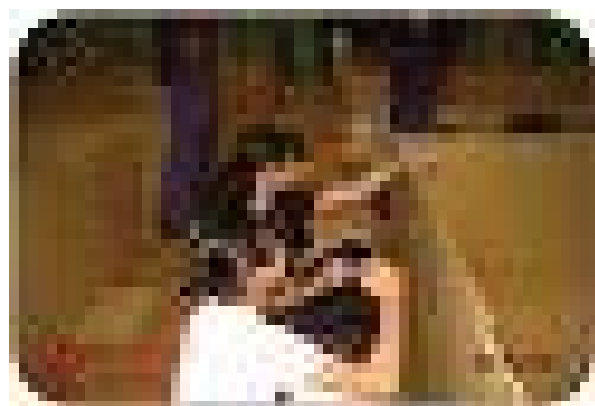
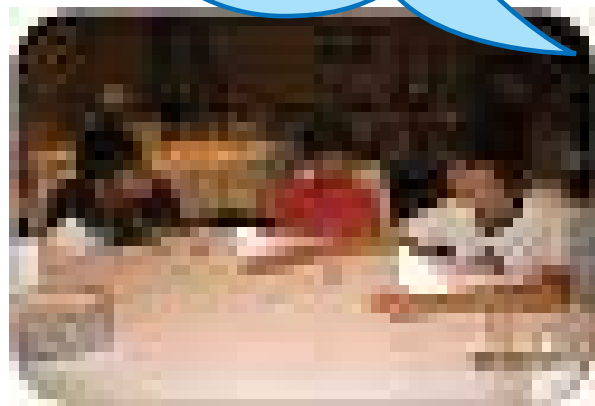
豊島消防少年団は小学2年生から高校生まで75人の団員がおります。初期消火、応急救護を中心とした基本訓練は年齢別に行っています。中学生団員は、軽可搬ポンプ操法等の訓練を行うと共に、全員が普通救命講習修了を目指しています。高校生団員は、上級救命講習を修了し後輩の指導にあたっています。今回は、中学2年生3人、1年生3人が交流会に参加しました。全国の仲間とふれあい一歩成長できた交流会でした。



不安でドキドキ!!
ちょっと緊張しました!!



良い交流が出来ました
(^o^)!!



● 山口 慎太郎(中1)

僕が心に残った所は、合同訓練のリレー競技や障害物競技です。特にチームのみんなとリレーができた事です。最初はとても緊張していましたが、練習した競技を他のグループに負けてしまったので、とても悔しかったです。だけど、このような体験ができたのでとても嬉しかったです。またこの大会に参加したいと思いました。僕は、この経験を訓練に活かしていきたいと思いました。三日間ありがとうございました。

● 石川 美咲(中2)

私が体験して良かったと思った事は、合同訓練と段ボールハウス作りです。私はリレー競技で第3走者でした。筒先を持ち、ハードルを飛び、くぐりました。とても緊張しましたが、失敗せずに出来ました。とても良い体験が出来て良かったです。そして夕方からは段ボールで仕切りを作り寝るという、東京では出来ないことを体験しました。同じ段ボールで寝た他の団員とも友達になれたので良かったです。これからもこの経験を活かして頑張りたいです。

● 水野 雅斗(中1)

僕は、徳島は初めてで楽しみにしていました。指揮者の役割でしたが、練習不足という不安もあり、ドキドキしていました。1番初めに走ったので、他のメンバーと待っているのが大変でしたが、上手に出来て嬉しかったです。その後、交流会で他のクラブの人と話が出来て良かったです。僕にとって、とても良い経験となりました。また参加したいです。

● 加藤 優奈(中2)

この大会で一番楽しかったのは2日目の記録会で、他のクラブの皆さんがすごく速くてとても感心しました。私たちのチームもベストを尽くせて良かったです。二番目は、段ボールハウスでの宿泊です。私たちは、秋川消防少年団と同じハウスで、たくさん交流できました。徳島大会に参加して、今まで以上に消防活動を身近に感じる事ができ、興味を広げることができました。大会参加のためにご指導いただいた皆様、ありがとうございました。

● 山岸 有未留(中1)

僕がこの交流会で一番心に残ったことは、合同訓練と段ボールハウス作りです。合同訓練では、自分が練習してきたことをしっかりできるか不安だったけれど、その場でしっかりできたことがよかったです。段ボールハウス作りでは、他のクラブの人と協力して仲良くなれたことがよかったです。この交流会で学んだことを活かせるように頑張ろうと思いました。

● 林海歩(中2)

今大会は全国各地からたくさんの方が参加していましたが、あまり他の団員と話することができなかったのが残念です。合同訓練では当団はあまり良い結果ではありませんでした。初めてのことばかりで戸惑うことが多かったです。なので、これからの大会に出場する団員達に教えることが大切だと思います。一番学んだことは、チームワークが大切だということです。個人でいくら頑張ってもバトンがうまくつながらなければダメだと分かりました。良い経験になりました。



ときめき、感動、ハラハラが 丸ごと詰まった、3日間



昭島消防少年団は、平成10年12月に発団し、現在、指導者18名、団員58名で活動しています。規律ある団体生活を通して、消火訓練や結索訓練等の基本訓練に励み、防火防災に関する知識や技術を身につけるとともに、昭島市の総合防災訓練や市民くじら祭りのパレードなど地域のイベントにも積極的に参加し、火災予防の普及に努めています。



● 指導者 上村 和彦

中学生男女6名を引率しての参加となりました。全国交流会の名前どおり、多くの少年団の皆様方との交流が持て、貴重な体験をさせて頂き、団員にとり充実した経験となりました。2日目の総合訓練の際、障害物競争直前に一人の団員が熱中症で体調を崩しましたが、その時、仲間が彼を気遣い、看病する姿に思いやりと絆の深さを感じました。

最後になりますが、今回お世話を頂きました徳島の

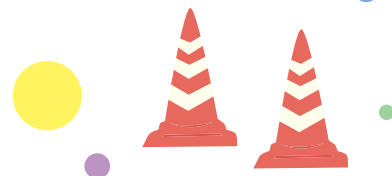


● 森谷 蒼生(中2)

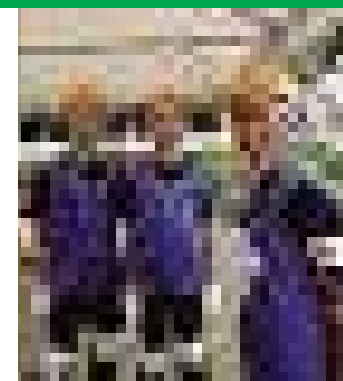
8月5日からの3日間は、消防少年クラブ全国交流会に参加したので、とても充実したものとなりました。徳島に行ったことはありませんでしたが、初日の



消防機関、美馬市消防団の皆様を始めで尽力頂きました皆様方に対し心からお礼を申し上げます。



阿波踊りを見て、もっともって徳島県のことを知りたくなりました。2日目の合同訓練では、日本各地から集まった団員と競い合ったので、少し緊張しましたが、いい競技ができたと思います。「うだつアリーナ」では段ボールハウスを作成し、避難所体験訓練を行いました。たくさんの仲間との充実した時間をありがとうございました。



● 田中 克依(中2)

2泊3日の交流会。徳島は初めての土地でした。初日は、郷土料理に舌鼓を打ちながら阿波踊りを見せてもらい、楽しいうちに過ぎましたが、2日目の合同訓練では、結索やホース延長といった日頃の訓練が試されているようで、緊張しました。各チームが競い合って頑張る様子に、やる気と充実感を覚えました。避難所体験では、同じ場所で宿泊したことで、他の少年団員と繋がりが持て多くの友達ができて良い思い出となりました。

2泊3日の交流会。徳島は初めての土地でした。初日は、郷土料理に舌鼓を打ちながら阿波踊りを見せてもらい、楽しいうちに過ぎましたが、2日目の合同訓練では、結索やホース延長といった日頃の訓練が試されているようで、緊張しました。各チームが競い合って頑張る様子に、やる気と充実感を覚えました。避難所体験では、同じ場所で宿泊したことで、他の少年団員と繋がりが持て多くの友達ができて良い思い出となりました。

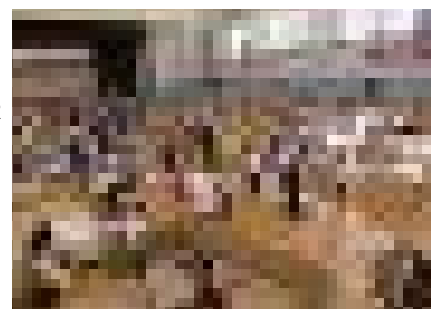


● 川岸 駿斗(中1)

三日間の交流会で、普段できない色々なことを体験し学ぶことができました。

特に印象に残っているのは、避難所体験の訓練です。体育館で、段ボールハウスで、他の人と寝ることは初めてでしたが、3.11の大震災の恐ろしさを改めて実感できたような気がしました。

たくさんの体験や楽しい思い出をありがとうございました。



● 阿部 衣菜葉(中1)

交流会では、防災という同じ目的を持った多くの仲間と触れ合うことができ楽しく学ぶことができました。



● 薄井 俊希(中2)

合同訓練を通して、いろいろな地域の人と交流を持つことができました。中でも活動紹介では、他の少年団員の話聞き、たいへん刺激を受けました。今後の活動に生かしていきたいです。交流会に参加できたことで、たくさんの貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。機会があれば、また参加したいと思います。その時はよろしくお願いします。

合同訓練を通して、いろいろな地域の人と交流を持つことができました。中でも活動紹介では、他の少年団員の話聞き、たいへん刺激を受けました。今後の活動に生かしていきたいです。交流会に参加できたことで、たくさんの貴重な体験をすることができました。本当にありがとうございました。機会があれば、また参加したいと思います。その時はよろしくお願いします。



● 高橋 優理(中1)

たくさんの経験をさせて頂きましたが、2日目の合同訓練が一番印象に残りました。結果をみるとあまり良い順位ではありませんでしたが、みんなで協力できたことが良かったです。

避難所体験では、段ボールで区切っただけなので、寝心地が悪く、普段の生活がとても幸せだと気づきました。阿波踊りを見せてもらったり、他の少年団員と交流が持て、良い経験になりました。

参加させていただき感謝しています。



また、普段できない大変貴重な体験もできました。特に段ボールハウスでの避難所体験では、寝泊りすることにより、避難を余儀なくされた人たちの気持ちが、少しは分かった気がしました。大災害が発生した時は、不便さや不安な気持ちが入り交ざって本当に心細いだろうなと感じました。



平成27年度少年消防クラブ交流会に参加して



日野消防少年団は、53名の団員の代表として中学1年生1名、小学6年生3名、小学5年生1名が交流会に参加しました。全員が楽しく交流会に参加できたことに感謝しています。この体験を生かし、今後の活動の励みとしてこれからも頑張ってもらいたいです。



少年消防クラブ交流会

●伊藤 信喜(中1)

僕はお兄ちゃんが消防少年団に入っていたので、年長さんの時から「今年に入れる?」と心待ちにしていた、ようやく入団することができました。今年は部活に阻まれて、参加できないかもしれないと思っていましたが全国交流会に参加することができてとてもうれしかったです。

大会に出発する日は、慣れない駅だったので待合わせでぎりぎりになってしまったのでハラハラしました。みんなと一緒に羽田空港まで行き、生まれて初めて飛行機に乗りました。徳島に着陸して空港にいるときは東京と変わらないと思いましたが、市外に出て少し暑かった時に、徳島に来たんだなと思いました。

僕は、少年団のキャンプでも体調不良になることも多く、朝から頑張って徳島に来たから、1日目の1番の目玉の阿波踊りを頭が痛くて見に行くことが出来ませんでした。

2日目の合同訓練では、5人でチームを組んで、クラブ対抗リレーの中、僕は第2走者でした。1人目がホースを投げ、ボーリングピンを倒し、バトン代わりの筒先を僕に渡しました。僕は筒先を持ちたり置いたりしながら水消火器で2つの標的を倒し、第3走者へバトンを渡しました。

2つ目は、障害物競走でした。僕は指揮者で、ハードルを飛んだり、平均台の上を落ちないように進みます。これは、

みんなで力を合わせないとできない競技です。午前に1競技、午後の1競技やっただけで疲れしました。

避難所体験では、自分で段ボールハウスを作り、体育館で過ごす体験です。知らない人と、隣り合わせて寝る興奮でざわざわと落ち着かない感じで過ごしました。

やっぱり徳島は遠く、行ったり来たりで、くたくたになりました。でも、初めて会う人と、沢山交流ができてまた会えるといいなと思いました。一人だけメールアドレスを交換したので、遠くに友達が出来るとも楽しみです。また、機会があったら行きたいです。

全国大会に参加して

●菅野 泰三(小5)

ぼくたち日野消防少年団は、全国大会に参加し、練習の成果を見せました。

午前の部は何事もなく順調にできました。ぼくは、5番員(アンカー)でした。午後の部は少しアクシデントが起き、遅くなりました。ぼくは4番員でした。

訓練の後の避難所体験では、段ボールハウスを作り、そこで寝ました。作るのは、簡単で、寝るのも床がかたくなかったので良く寝れました。

この体験や訓練でやったことを普段の活動、生活にいかしていきたいです。

初めての全国大会

●菅野 美優(小6)

私は、2015年8月5、6、7日に少年消防クラブ交流会に参加しました。初めての出場だったのですごく緊張しましたが、友達が支えてくれたおかげで緊張感が自然になくなり、練習の成果を出し切りました。

私が一番緊張したのは、徳島消防学校に着いたときでした。理由は他のクラブ選手のことでした。他のクラブの選手が中学生のような体格をしていてびっくりしました。私は体が小さいので「負ける」という言葉が頭の中に浮かびました。でもそんなときにまた、友達が言葉で助けてくれました。「見た目だけで大した事ないよ。」と言ってくれたおかげで気持ちが楽になりました。

私は全国大会に出場して、大切な事を2つ学びました。1つ目は友達との友情が深まる事です。私が困っている時に、助けてくれるのは必ず友達だったからです。2つ目は、勝つことだけでなく、協力も必要という事です。また機会があれば同じような大会に出場したいと思いました。

汗と思い出の3日間

●山内 月花(小6)

私は、この徳島県の全国大会に行って学んだことや初めて体験した事がたくさんあります。ひとつめは、1日目!初めて見た「阿波踊り」です。様々な楽器に合わせて、子供達と大人達が踊っていました。そして、初めて見る「阿波踊り」は迫力があり、感動し、今でも思い出として残っています。そして1日目には、交流会をしました。沢山の消防クラブが集まっていたので良かったです。

2日目には沢山の事を学びました。この日は、大会があり、全ての消防クラブがタイムと順位を競い合います。この大会で、自分が今までやってきたことが全部出し切れたので良かったです。そしてこの日は、気温が高くとても大変でした。汗が沢山出ながらも精一杯の力を振り絞ることができました。リレーでは第4走者でした。とても焦ってしまい、ホースをつなげる場所を間違えてしまったけれど、冷静になってやるとできたので良かったです。そして、ここで焦らずに冷静になってものをやる!という事を学びました。障害物競走では、

消防少年クラブ交流会に参加して。

●古澤 瑠璃(小6)

私達日野消防少年団は、徳島で開催された大会に出場しました。会場には、消防少年クラブに入っている人たちが大勢集まり、これまでの練習の成果を出し合いました。

会場に着いたとき、すごく緊張しました。競技では少し間違えてしまった部分があったけれど、最後まであきらめず頑張れたので良かったと思います。

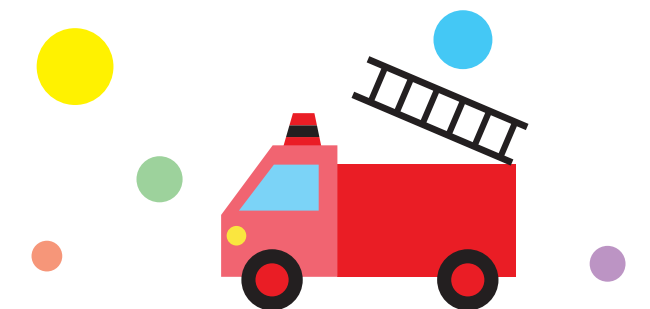
競技終了後、すごく貴重な体験をしました。それは、体育館の中で段ボールを使った避難所体験をしたことです。私は、避難所での生活は大変だとわかりました。

3日目には、各県の消防団の方との交流の中で消防団の活動内容についてお話を聞くことができました。地域を守る消防団の努力は立派だと思いました。

これからも学んだことを活かして練習に取り組みたいと思いました。

ハプニングがあったため良いタイムを取ることが出来ませんでした。後悔はしなかったのが良かったです。そして賞をとることが出来ませんでした。楽しかったです。そしてここで、もっと上がっていることを実感しました。来年は、頑張ります。

そしてこの日の夜は避難所体験で初めての段ボールハウスを作り、そこで寝ました。とても寝ずらく、体が痛くなるためとても大変で、辛かったです。3日目は消防団の方から話を聞きました。とても貴重な話だったので、聞いて良かったです。徳島に行ったこの3日間は様々な思い出として残っています。そして学んだことをこれからの活動にいかしていきたいです。





秋川消防少年団は、全国交流大会で全国の少年消防クラブのみなさんに会えることや競技大会に参加することをとても楽しみにしていました。競技大会参加は2回目でしたが、今年は事前訓練を重ねてチームの団結力を高められました。そのことは、代表団員だけでなく秋川消防少年団全体のチームワーク醸成にもつながりました。全国の仲間と知り合い、とても貴重な体験をさせていただくことができました。



めっちゃ楽しかった徳島

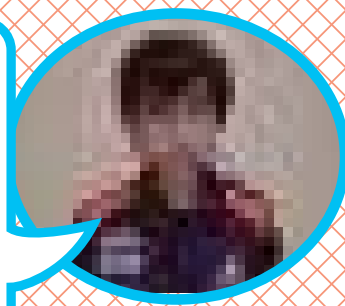
私が夏休みに入る前から楽しみにしていた全国大会。初の飛行機と徳島が楽しみという気持ちと大会でよい結果を出せるかという緊張の気持ち。でも、本番一杯皆で頑張れたと思います。45チーム中7位という結果に少し悔しかったです。5位の中に入れば表彰台に昇れたからです。練習中に足を引っ張っていたハードルでは皆で話し合い、ハードルを越える順番を工夫して決めた結果、本番はスムーズにハードルを越えることが出来ました。ホテルで鑑賞した阿波踊りは私の想像していたのとは違い楽器の種類が多く賑やかでした。

● 石川 来実 (中1)

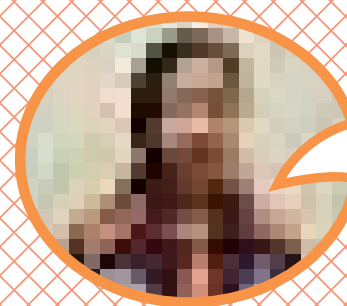


少年消防クラブ交流会

自分は少年消防クラブ交流会で、とても貴重な体験ができて良かったと思います。消防の活動を通して、いろいろな事を学び、さまざまな仲間と会ったりするのがとても楽しく、ためになったと思います。この全国大会のために4月から練習しました。活動の後に少しずつ練習を重ねており、かなり力をつけてきました。全国大会本番では実力を出しきれて良かったです。結果は45チーム中7位でした。最初にしてはまあまあだけど、次に続く人たちがもっと良い順位になってほしいです。



● 榎本 悠利 (中2)



● 遠藤 珠美 (中1)



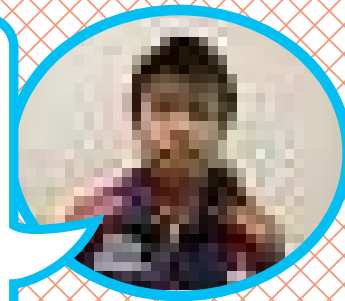
大会・私の記録

あっという間に終わってしまった大会でしたが、皆、今までの成果を存分に発揮していて、とても良かったです。秋川消防少年団は順番が後だったので、他のチームを参考にし、焦ることなく本番を迎えました。順位表が配られたのは、ダンボールハウス作りが終わったころでした。団員の子と確認してみると7位でした。予想より遥かに上位だったので、ビックリしました。それと、入賞まであと少しだったので、おしかったな、とも思いました。けれど、良い成績が残せたのでとても誇らしいです。



待ちに待った徳島

徳島全国大会は、ぼくにとって最高の思い出となった。去年は台風の影響で中止となり、残念な思いをした。だから今年こそはと思って臨んだ。代表に選ばれたみんなと5月頃から一生懸命練習した。その結果、45クラブ中7位という成績で10位以内に入れたことがとてもうれしかった。徳島で初めて阿波踊りを見たり、他のクラブの人たちと仲良くなったり、避難所体験をしたり、貴重な経験をたくさんさせてもらった。大会を支えてくださった方々や秋川消防署の方々にありがとうございますの気持ちでいっぱい。

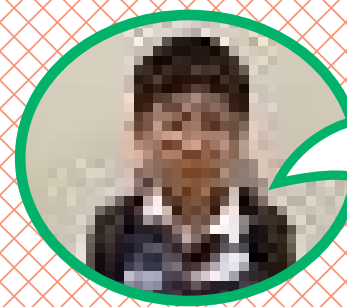


● 野本 陽太 (中1)



少年消防クラブ交流会に参加して

集合場所の消防署を出発する時、消防署の職員の人たちが見送ってくれました。合同訓練でぼくは、対抗リレーに参加しました。消火器で的をたおすのは、相手に負けてしまったけど、自分ではよくできたと思いました。総合の結果が45チーム中7位でした。最初ももっと順位が下だと思ったので、びっくりしました。うだつアリーナで避難所体験をしました。ダンボールハウスを作って寝ました。もし災害がおきたら、ここで寝ることになるからいやだと思いました。

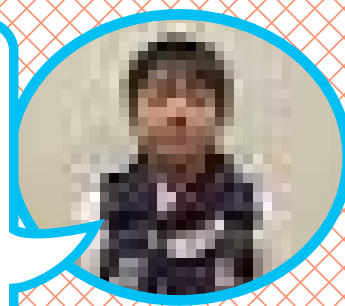


● 伊藤 祐太郎 (小6)

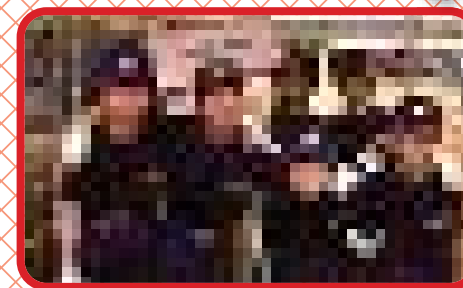


がんばった徳島大会

8月5、6、7日に消防少年団の徳島大会がありました。いろいろいい経験ができました。中でも一番よかったことは、ダンボールハウスに泊まったことです。なぜかという、災害の時とまったく同じ生活をして、本当に災害が起きた時に、そのことを活かせるからです。成績も7位で、あと少しで5位入賞といういい成績が出たので、チーム全員よくがんばれたと思いました。美馬市のみなさんや消防庁の方々にもお世話になりました。ありがとうございました。



● 越沼 菜大 (小5)





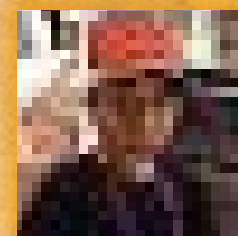
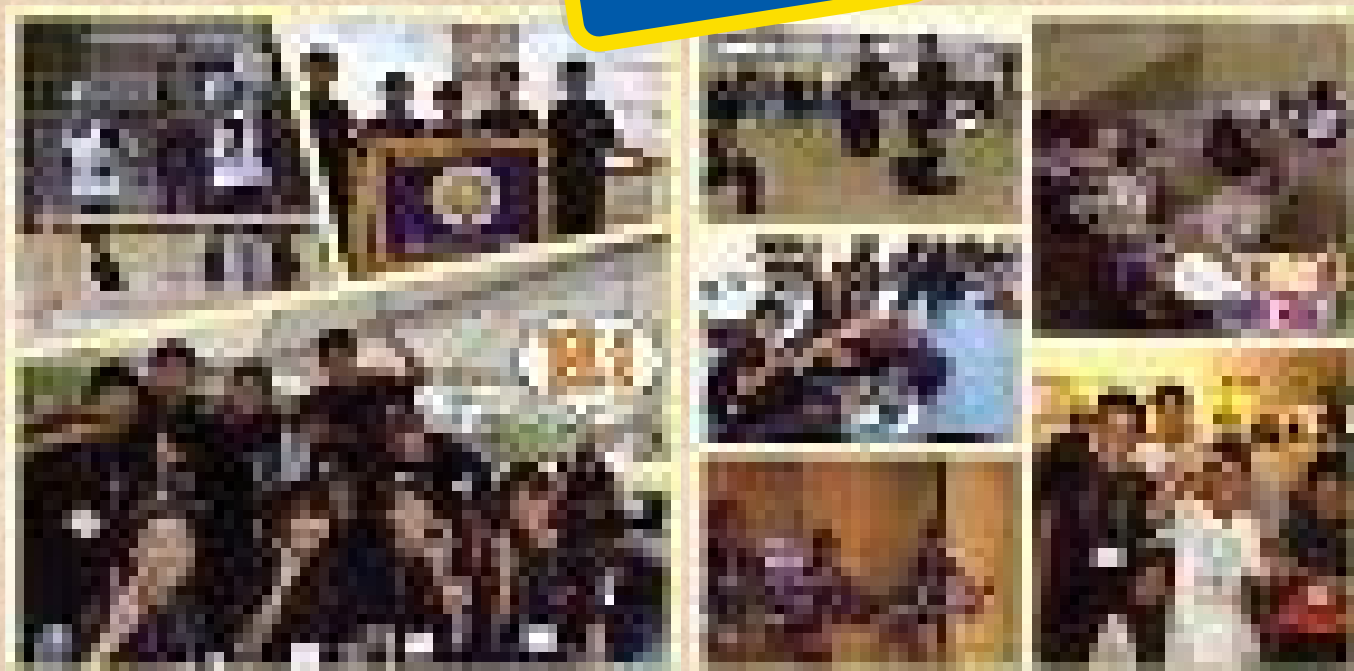
♪少年消防クラブ交流会の感想♪

大きな成果を得た徳島

高津ジュニアハイスクール消防隊は、結成から6年目となり、川崎市内の中学2年生を対象にし、5校187名が登録されています。今回は、川崎市立東橋中学校の代表の5名が交流会に参加しました。



♪思い出のアルバム♪



● 樋上 裕紀(中2)



私は徳島で行われた少年消防クラブ全国交流会に行って、色々なことを学びました。中でも2日目の競技が終わった後、他のチームと写真を撮ったり、交流できたことが印象に残っています。今回の交流会で色々なことを経験することができ、とても勉強になりました。

● パパディミトリウ・アレクサンドロス(中2)



僕は、「高津ジュニアハイスクール消防隊」としてこの交流会に出ました。この交流会に行く前は、防災に対する気持ちはあまりありませんでした。しかしこの交流会に出場し、防災への意識が高まりました。中でも印象に残ったのは、ダンボールハウスでの生活です。僕はこれを通じて他の人にもこの体験を伝えていきたいと思っています。



● 秋田 青空(中2)

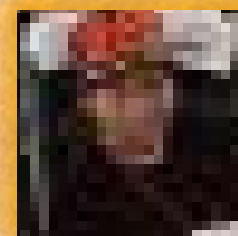
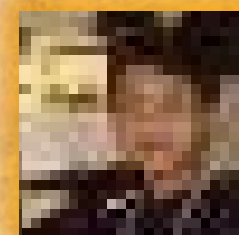


僕たち5人は、徳島で開催された全国交流会に参加しました。最初はいきなり全国大会？って思ったり、知らない人もたくさんいるからとても不安でした。でも会場に行ったら、その不安はなくなりました。今まで練習してきた成果を発揮して2つの種目とも上位に入り、結果総合で三位という素晴らしい結果を残す事ができ、本当にうれしかったです。これらの経験を今後にかしていきたいと思います。

● 萩原 慎之介(中2)



僕たちは短い練習期間の中で、この交流会に向けて頑張ってきました。交流会にはたくさんの少年消防クラブ員が参加していましたが、競技が始まると、みんなが全力で練習の成果を出すことができました。今回の交流会の中で、避難所の生活はとても大変だということが分かりました。この体験をいかしてこれから頑張っていきたいと思っています。



● 芳賀 冴斗(中2)



競技では、これまで仲間と協力し練習してきた成果を出し全力で戦いました。競技終了後、他のチームと写真を撮ったり、話をしたりして交流する事ができました。3日間の体験で学んだ事を友達に教え、みんなで消防の事を考えていこうと思います。

● 川崎市立東橋中学校2年担任 小濱 康夫



今回の全国交流会を通して子ども達はたくさんのことを学びました。もちろん競技での成績はすばらしかったのですが、2・3日目に行われた避難所体験と他クラブとの交流が子ども達にとってかけがえのない財産になったと思います。これからはこの経験を学校、そして地域へと伝えていってけることを期待しています。





日本一を目指して



大和市少年消防団では、少年期から火災予防に関する知識や消防に関する技術を学び、防火マナーを身に付け、また団体行動を通じて自助、共助の精神を養うことを目的としています。全団員127人から6年生5人が代表として交流会に参加しました。

メンバー
● 松本 宇宙 (小6)
● 岡安 海翔 (小6)
● 羽石 彩乃 (小6)
● 松村 貴也 (小6)
● 大西 莉那 (小6)



● 松本 宇宙 (小6)

僕は、全国少年消防クラブ交流会に参加して、交流の楽しさ、勝った時の喜び、そして負けた時の悔しさを学ぶことが出来ました。僕は、交流があまり得意ではなくて、他のクラブの皆さんとは、仲良くなれないかなと思っていたのですが、同じ神奈川県から参加の湯河原町少年少女消防クラブの皆さんや、東京都から参加の昭島消防少年団の皆さんが声をかけてくれて無事交流はうまくいきました。これからは、僕も率先して声をかけ合おうと思いました。一つ目のクラブ対抗リレーの相手は、開催地の徳島県からの参加のうずしお少年少女消防クラブでした。僕達は、相手チームが開催地から参加のチームだろうと一切手加減せず、訓練に取り組み、見事3位の記録を出しました。しかし、二つ目の競技で、ミスが連続して、一つ目の記録とは一転、35位というとても

悔しい結果となり、結局総合順位は20位でした。一日目のホテルは、居心地が良くてとても素晴らしいホテルだったのですが、次の日が本番だと思うと緊張して眠れなくて、二時位まで起きていました。二日目の避難所体験は、想像以上に眠れて良かったです。本当に災害があった時は、こんなにうまくいけるかは分かりませんが災害があっても十分暮らしていける事が分かりました。初めて乗った飛行機も事故なく結構楽しかったです。僕は今回の大会の経験を人生のバネとし、より一層努力して立派な消防士になります。



● 岡安 海翔 (小6)

僕が、この夏休みで心に残ったのは、全国少年消防クラブ交流会です。交流会では、いろんな人と交流が出来ました。広島の人や、地元徳島の消防団、僕と同じ神奈川の湯河原町から来た人もいました。この交流会で一番心に残ったのは、2日目の合同訓練です。合同訓練では、リレーと障害物競争をやりました。リレーでは、僕は一番員で緊張の中ホースを投げて、ピンを何本か倒しました。自分でもびっくりしました。その後も順序良くクリアしてゴールし高得点を出しましたが、午後の障害物競争は、がんばったけどちょっと残念な結果になってしまいました。このおかげで僕は、緊張感を持ってました。普段できない貴重な体験が出来て良かったです。





～平成27年度 少年消防クラブ全国交流会 in 徳島～



H27.8.6
徳島県消防学校
にて

もう一度挑戦
したかった～
・・・参加クラブ員より



・・・宿泊体験・・・

うだつアリーナでの段ボールハウスはよくできて、一緒に造った昭島少年消防団の方たちと仲良くなりました。夜は枕がなくて首が痛かったけど、本当に楽しかったです。全国交流会はとても楽しく参加できたので機会があったらもう一度参加したいです。

尾崎 颯



・・・クラブ対抗リレー・・・

徳島県の消防学校でクラブ対抗リレーの順番を待っている時、ドキドキしました。私はハードルをくぐる役でしたがヘルメットが顔の前にずれてきて少し遅れてしまいました。他の人たちが頑張ってくれたのでいいタイムでした。一回しか練習できませんでしたがよく頑張ったと思います。

両角奈桜



初日は緊張してました

仲良くなった
大和市少年消防団



・・・クラブ対抗リレー・・・

順番が近づくにつれ緊張してしまい、クラブ対抗リレーではボウリングのピンを1つも倒すことができませんでした。障害物リレーでは早くゴールすることができ、総合ではまあまあでしたが、楽しめてよかったです。3日間という短い時間でしたが、とても充実していました。また機会があったら参加したいです。

鈴木 耶馬飛



・・・宿泊体験・・・

段ボールを使った避難所設営では、一緒に作った大和市少年消防団の方たちと仲良くなれてよかったです。また避難所体験で学んだ事がありました。1つは床が固いので寝にくいこと、1つは冬は寒いと思ったこと、1つは自分たちが今恵まれた環境であるということ。この経験を忘れずに生かしていきたいと思います。

井村結奈



・・・宿泊体験・・・

段ボールを使用している訓練は、日頃では考えられない生活で、避難所の生活は大変だと痛感しました。ただその中からみんなで力を合わせて一つになり、助け合うことが大切なのだと学びました。この夏の貴重な経験を将来何かに活かせればと思います。今回の交流会開催に伴い3日間お世話になった方々に感謝いたします。

板倉 颯



随員より

今回初めて行われた全国交流会に参加し貴重な体験をさせていただくことができました。参加したクラブ員達が将来、消防職員や消防団員となり防火防災の担い手となってくれることを期待したいと思います。





初めて全国の子ども消防クラブ員と交流し、充実した3日間



内灘町子ども消防クラブは、現在53名のクラブ員が登録されております。そのうち、今回の全国交流大会では代表者として、大根布第三町内会子ども消防クラブ員から6年生(2人)・5年生(2人)、大学町内会子ども消防クラブ員から5年生(2人)の合計6名が全国交流大会に初参加しました。

クラブ員は、春季及び秋季の火災予防運動期間中には消防署・消防団が実施する訓練に積極的に参加し、防火・防災について知識を深めています。



たくさん学んだ全国交流大会

● 齋藤 未夢(小6)

私は、今回の全国交流会で様々な体験を通じていろんなことを学ぶことができました。全国の子ども消防クラブ員と触れ合い共に協力し活動することで、「仲間の大切さ」「協力する大切さ」「最後まで決して諦めない大切さ」などを学びとても勉強になったと思います。

初めて全国交流大会に参加し緊張しましたが、自分の消防に対する考え方や防災に対する知識が広がり、とても良い体験ができたと思います。

今回の全国交流大会で体験したことは、全国の子ども消防クラブ員及び関係者に対し、地元都道府県、市町村の紹介や阿波踊り鑑賞、合同訓練、避難所体験、地元消防団との交流等様々ありましたが、その中で私が一番印象に残ったことは、「避難所体験」でした。避難所体験では、他の子ども消防クラブ員と協力しダンボ



ル等で自分たちのダンボールハウスを作成しました。夜、早く寝ようとしたのですが初めての避難所体験

だったので、不安に感じみんなあまり眠れなかったです。もし、大災害が発生し、避難所で生活することになった場合、不安な気持ちとなり、あまり眠れない日々が続くと感じました。私は、避難所体験を経験することで改めて良かったと思います。この経験をたくさんの人にお話しし、「避難所体験」をより多くの方々に体験して頂きたいと強く思いました。

全国交流大会を通じて思ったこと

● 辻坂 綺希(小6)



私は、今年の夏に四国徳島県で開催された「少年消防クラブ全国交流大会」に内灘町子ども消防クラブ代表として参加しました。私を含めた内灘町子ども消防クラブ員6名

で良く協力できたと思います。平成27年8月5日(水)~7日(金)の2泊3日であったため、とても楽しみでした。1日目はホテルに泊まり快適でしたが、2日目に泊まったうだつアリーナでのダンボールを使用した避難所体験は初めての体験で緊張したせいかあまり眠れませんでした。避難所体験では、ダンボールが固く寝る

のがとても大変で、今の生活の幸せを感じました。その他全国交流大会で体験したことは、合同訓練の中でロープを使用し、いろんな結び方をしたり、2重巻ホースの展張方法を学んだり、消火器を使用し的を倒したり、消防のお仕事のほんの一部ですが学ぶことができとても勉強になりました。

私は、練習を通しロープを使用してうまく結ぶことができるようになりましたが、ホースを展張することは難しく上手にできなかったことが悔しかったです。

しかし、合同訓練での結果は上位ではありませんでしたが、全国交流大会を通じてたくさんの子ども消防クラブ員や地元消防団と交流を深めたこと、内灘町子ども消防クラブ員同士がいつも以上に協力できたこと、避難所を体験できたこと等、たくさん学び思い出になったことは今後の人生に役立てたいと思います。

いろんなことを学んだ全国交流大会

● 島田 侑未(小5)

私たち6人は、石川県内灘町の代表として少年消防クラブ全国交流大会に参加しました。

1日目の徳島県にある宿泊先のホテルまで新幹線やバスに乗り向かいました。新幹線やバスの中は、緊張感や不安がありましたが、みんなと話をしたりお菓子を食べながら緊張感を和らげました。無事に宿泊先のホテルに到着し受付を済ませ、夕食会場に向かいました。夕食会場では、各都道府県、市町村の紹介やクラブ紹介を通し、他県の有名な物や他のクラブの活動等が分かりました。また、阿波踊り鑑賞をしその後みんなで、阿波踊りを体験しとても楽しかったです。宿泊先のホテルではみんなで泊まれたので修学旅行みたいな気分になりとても楽しかったです。

2日目は、朝早くみんなで体操やランニングでウォーミングアップをして朝食をしっかり摂って合同訓練に望みました。バスに乗り徳島消防学校に向かいました。合同訓練では、他の子ども消防クラブに負けて

しまつて悔しかったです。良い経験ができとても勉強になりました。合同訓練が終わり、バスに

乗って銭湯に行きました。銭湯では入浴時間があまりなく、急いで入浴しました。その後、バスに乗り、うだつアリーナに行き避難所体験をしました。みんなで協力しダンボールハウスを作成し、ダンボールハウスで寝ました。ダンボールハウスではホテルと違い少し寝苦しかったことが印象に残っています。

3日目は、徳島県の地元消防団の方々と交流をしました。たくさんのことを教えて頂くことができとても勉強になりました。

最後に、3日間の全国交流大会を経験したたくさんの方々に学んだことを今後の生活で生かしていきたいと思っております。





一竜を目指した 交流会



■ 避難所体験をした「うだつアリーナ」にて



竜神中学校少年消防クラブは、全校生徒約700名がクラブ員です。本校では、地域防災力向上を目指して、竜神中学校の卒業生が多く在籍する地元消防団の皆さんのご支援のもと、活動を行っています。今回は、生徒会執行部の役員6名が学校代表として参加しました。



まつしま あいな
● 松嶋 愛菜(中2)

猛暑の夏休みに、1位を目指して練習を頑張りました。練習では、地元の消防団員の皆さんや、消防署の方が、熱心にご指導してくれました。練習を重ねていくうちに、どんどんタイムが上がっていきました。とても嬉しかったです。



■ 一竜を目指して頑張った合同訓練



やまさき うらは
● 山崎 浦葉(中3)

竜神中学校の校章である一匹の竜より“一竜(一流)”への心構えを発表しました。会場の皆さんから大きな拍手をいただいたことが、とても嬉しかったです。本場の阿波踊りを鑑賞するだけでなく、私たちも一緒に踊ることができ、心に残る最高のレセプションとなりました。

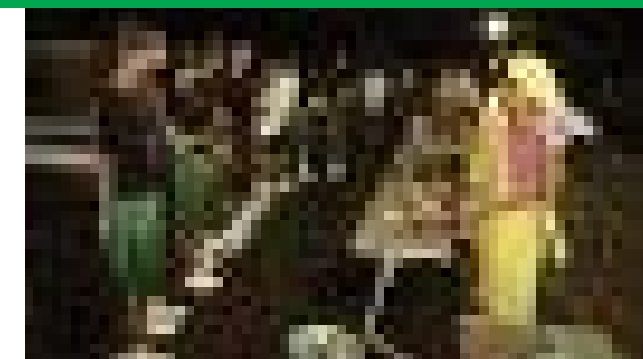
■ 初日の夕食会場にて

AICHI



こばやし さとや
● 小林 慧也(中3)

練習では、ホースの延ばし方のコツを丁寧に教えていただき、ホースを100回以上延ばしました。合同訓練前日も、競技に向けて全員でミーティングをしました。合同訓練の本番では、練習の成果を十分に発揮することができ、ストライクが取れて嬉しかったです。



■ 避難所での夕食「ごちそうさまでした」



■ 合同訓練 第2位を獲得



くろやなぎ まいこ
● 畔柳 舞子(中3)

避難所体験では、地元の方が夕ごはんを準備してくださいました。手作りの味噌や豆腐でおもてなしをしてくれました。ハイゼックス米やカレーもおいしくいただきました。ダンボールハウスでは、ぐっすり寝られるか心配でしたが、仕切りを作ることにより、周りを気にせずに寝ることができました。とても貴重な体験ができて良かったです。



みやた けいすけ
● 宮田 桂佑(中3)

市役所や消防署、消防団の方にご指導していただき、大会に参加することができました。合同訓練や消防団員との交流を通して、防災の大切さを学ぶことができました。この経験を生かして、地元消防団の皆さんと協力をして、地域防災力を高めていきたいです。



とだ けんた
● 戸田 健斗(中3)

ダンボールハウスの体験を通して、たくさんの仲間を作ることができました。特に、同じダンボールハウスで過ごした学校の友達とは、お互いの学校に関する違いについて、意見交換をすることができました。ここで知り合った皆さんと、これからも交流を続けていきたいと思っています。



■ 入賞したクラブの皆さんと記念撮影





少年消防クラブ交流会を終えて



尾張旭市少年少女消防団は平成25年4月に結成し、現在、小学5年生から中学1年生までの43名で構成されています。交流会には第1期生が主に参加しました。たくさんのお会いや体験を重ね、三日間で大きく成長する姿を見ることができました。これから交流会での経験を生かし後輩団員をサポートできるリーダーとして成長することを楽しみにしています。



ハラハラ・ドキドキの3日間

●松本 健太(小6)

少年消防クラブ交流会の3日間は、とても大変でした。その中でも、2日目の全国大会では、ハラハラドキドキの気持ちで2日目までいました。そして、2日目、いよいよ全国大会の始まりです。大会では、個人戦と団体戦がありました。まずは、個人戦です！僕は、消火器の役をしましたが、相手は相当速く、チームワークが良かったです。団体戦では、ロープ結索をしましたが、個人的に良かったと思います。交流会では、色々な事をしましたが、楽しく、緊張し、良い3日間になりました！



交流会に参加して

●篠 瑚々美(中1)

私は、交流会に参加して全国の消防団の子達と仲良くできるか心配でしたが、すぐに周りの子が声をかけてくれて仲良くなり、安心しました。特に印象に残ったのは、徳島の伝統芸能の阿波踊りを実際に体験でき、すごく楽しかったです。競技は、ホースの結合部分の担当でした。練習でもうまいはず、本番でも失敗してしまいましたが、皆が「大丈夫だよー!!」と声をかけてくれて、チームの絆が深まったと思います!!



レディーゴー

●嵯峨崎 秀太(中1)



僕は、徳島で行われた8月6日の消防全国大会に出場しました。ぼくの担当はホースを使ってボーリングのピンを倒す競技でした。結果は一つも倒せなくてすごく悔しかったです。今年出場したので、来年は消防全国大会に出ることが出来ないの、すごく残念です。でも、大会に出場して競技をやったことで次に出場する、尾張旭市少年少女消防団の人達にいろいろな競技の内容を教えることができるので次の出場する人たちには是非大会で勝ってほしいと思います。とても楽しい3日間でした。



徳島大会の厚い経験

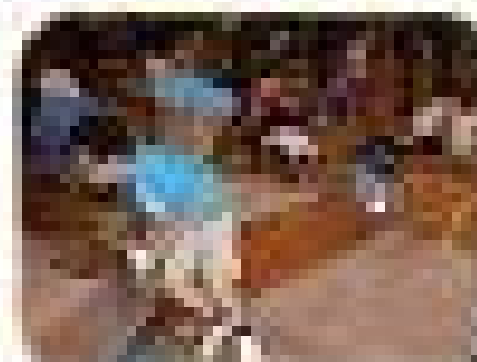
●若杉 勝太(中1)

僕たちは徳島に行きました。そこで色々な人との関わり合いがありました。そこでは周りの人や消防学校や尾張旭の消防署の方に助けてもらい仲間と協力する事を学びました。競技では、僕は、ハードルに出場しました。ハードルに背中がぶつかりひやっとなりました。障害物ではアンカーをやりました。ロープ結索は思ったより早く出来、練習した甲斐がありました。今回徳島に行き、色々な人に会い学びました。この経験を生かして、これから生きていきたいです。



過酷な避難所生活を体験して

●松本 健太(小6)



僕は、少年消防クラブ交流会では3日目に避難所体験をしました。体育館のたくさんの人がいる中で、ダンボールで仕切りを作り一晩過ごすということをしてました！でも、言葉では簡単に言えますが想像以上に大変なことなのです。まず、みんなで協力し、たくさんの人の中で寝ると大変さは、体験した人にしか分かりません。そう考えると、実際に災害に遭われた方々たちの大変さは、計り知れないと改めて実感しました。



ダンボールで眠った避難所体験

●高橋 明花(中1)

私は徳島に行って、避難所体験をしました。避難所体験では、ダンボールを組み立てて、寝る場所を作りました。毛布が一人一枚配られて、そこで寝ました。9時に就寝で寝る時には、クーラーがついていました。実際は電気が通っていないこともあるので、夏は大変だなと思いました。

夜、懐中電灯が3つ配られていたので、足元を照らしながらトイレに行きました。ダンボールを組み立てるのは難しかったけれど、ダンボールにみんなで絵を描いて遊んだので、楽しかったです。





平成27年度少年消防クラブ交流会 (全国大会)を終えて



城陽少年消防クラブは、市内在住の小学校4年生から6年生がクラブ員としての資格を有し、現在、20名のクラブ員が火事のない社会づくりに貢献することを目指し、防火教育や厳しい規律訓練に取り組むとともに、様々なイベントを通して親睦を深めています。今回の交流会には、代表として5年生3人、6年生2人の5名が参加しました。



少年消防クラブ交流会のこと

● 壁下 千優(小6)

交流会は、とても楽しかったです。北海道のクラブ員や他県のクラブ員と友達になれていい経験ができた。



ました。全国大会は1位でも最下位でも順位は関係ないと思っていました。なぜなら、他県のクラブ員と楽しい交流会となったからです。順位は関係ないと思いましたが結果は21位になり、さらに近畿の中で1番になれたので良かったです。とてもいい経験ができた楽しい三日間でした。

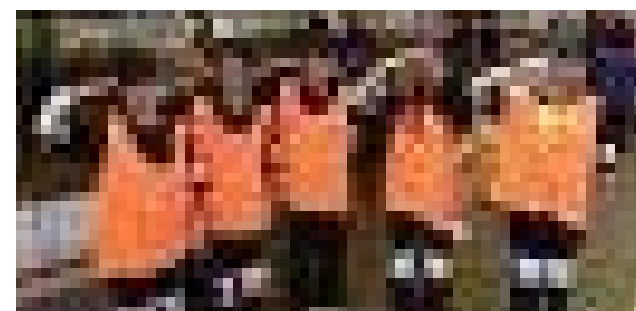


全国大会に行って

● 為房 杏奈(小6)

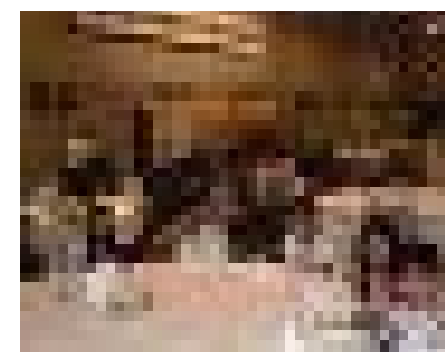
私が全国大会に行って、城陽少年消防クラブは小学生だけのチームでしたので、最初に年上の中学生がいるということを知りとても驚きました。

1日目の夜、夕食を食べている時「北海道」から来ているクラブ員と話し、私は徳島で「仲良くできるかな」と不安でしたが友達になることができ良かったです。2日目の合同訓練では、5人全員が普段以上に頑張り、練習の成果が出ていたと思います。夜は体育館で自分たちが作った段ボールハウスで寝ました。私は、絶対寝れないと思っていたけど意外と寝ることができました。避難生活は本当に大変だと思いました。交流会に参加できて本当によかったと思います。



全国大会の感想

● 小笠原 咲世(小5)



合同訓練のクラブ対抗リレーで、最初はすごく緊張して普段通りしっかり走る事ができるか心配だったけど、本番は普段通り走る事ができたと思います。クラブ対抗障害物競争では、ホースをつなげるのに少し時間がかかったけど、他のハードルを飛び越えるなどの障害物はスムーズにできました。この全国大会で友達もでき、合同訓練では良い結果も出すことができ良かったです。



全国大会に行って

● 奥田 紗菜(小5)

全国大会に行く前はとても緊張していましたが、交流会で北海道の友達ができ、お互いの学校の話などしていくうちに緊張は消えてしまいました。

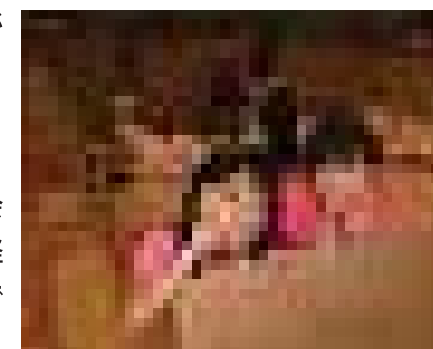
1番大事な2日目の合同訓練では緊張して、「失敗したらどうしよう」と不安でしたが友達に「失敗しても大丈夫ファイト!」と言われて緊張が消えて勇気ができました。合同訓練本番では一生懸命することができ、終わった後にもう1回やりたい楽しい気分になりました。結果は21位でしたが悔いのない結果でした。夜の避難所体験段ボールハウスでは寝心地はよくなかったけど、避難の体験ができていい経験になりました。

最終日は北海道の友達と別れて、とても寂しかったけどいろんな経験ができ、とてもいい思い出になりました。

教えてもらったこと

● 土居 明歩(小5)

私は全国大会に行き感じたことがあります。非常時に備えて少しでも人の役に立ちたいということと、避難所などで一夜を過ごすとても不安だということです。この全国大会で学んだことを大人になっても忘れずに災害があったときに、対応できるようにしたいです。今回の全国大会はすごくいい経験になったので良かったです。





たくさん学び、たくさん友達ができた 徳島の夏！



河南町ファイアジュニアは平成23年11月に発足し、中学3年生から小学校4年生まで総員25名(平成27年4月現在)のクラブ員がいます。今回の徳島県で開催された交流会には、参加希望者多数のなか、クラブを代表して中学3年生1名、中学2年生3名、中学1年生1名の男女5名が参加しました。



えがわ みう
● 江川 美海(中2)



この交流会でいろんなことが学べました。特に、暑い中の合同訓練はとても緊張しましたが、みんな1人1人が頑張っていたのでよかったと思います。3日目の避難所体験のダンボールハウスづくりは、大変でした。夜寝る時、かたくて寝にくかったです。災害が起きたら、毎日その場所で寝るのは、とてもつらいと思いました。あっという間の3日間でしたが、いい思い出になりました。



まさうじ みゆう
● 政氏 美裕(中2)

この交流会に参加して色々なことを考えさせられました。

最初はすごく恥ずかしかったです。でも、すぐに友達ができ、夕食の時にその友達と一緒に席に座って夕食を食べました。

二日目には、合同訓練をしました。合同訓練はすごく暑い中行われました。合同訓練では入賞することはできなかったけど、すごくいい思い出になりました。

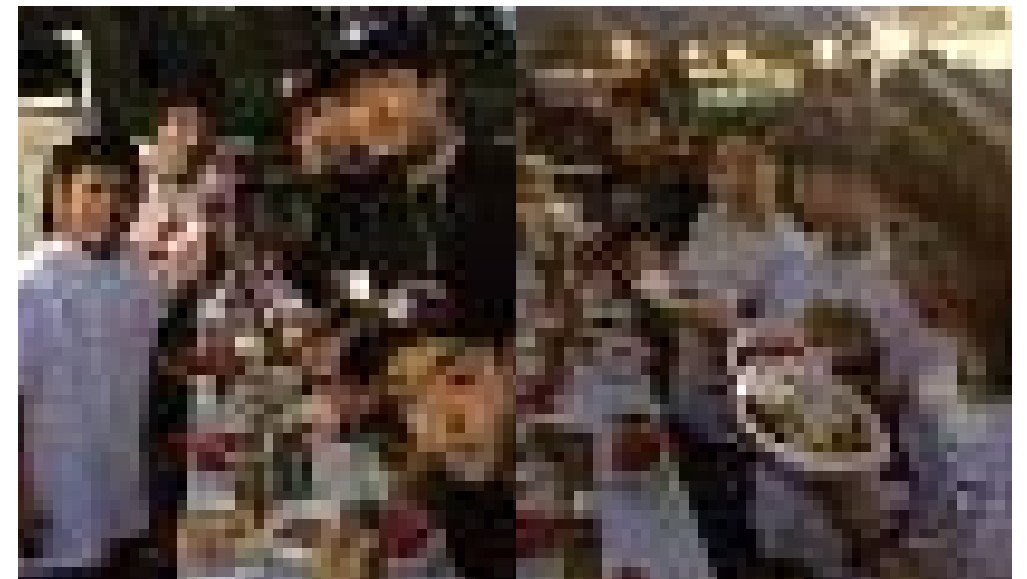
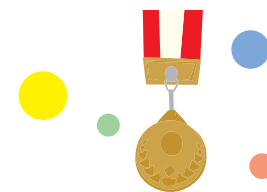
交流会はとてもいい体験になりました。

すはら ひろあき
● 須原 大晃(中1)



ぼくはこの交流会や合同訓練に参加して思い出に残っている事が二つあります。一つ目は、二日目の合同訓練で行った「クラブ対抗障害物競争」で一位を取った事です。みんなで力を合わせてやったからこそ一位を取れたのだと思います。二つ目は一日目の夜、みんなで阿波踊りを鑑賞した事です。初めて見た阿波踊りはとても迫力がありました。

その後みんなで円になって踊りました。とても楽しかったです。



きょうごくあおい
● 京極 葵(中3)

この交流会ではいろんなことがありました。例えば2日目の合同訓練は、夏のすごい暑い中でやり、とても勉強になりました。その後の段ボールハウスで寝た時は、最初不安もあったけれど、とても楽しかったです。

この少年消防クラブ交流会を通して災害の時どのような事をすればいいのかが良く分かり、これからは災害があれば今回教えてもらった事を生かして頑張りたいです。





たくさんの仲間と出会って 充実した夏休み



●ひよどり台防災福祉コミュニティ委員長
林喜久治

ひよどり台は、神戸の六甲山系にある緑豊かな静かな町です。

神戸市は、平成7年の阪神・淡路大震災で沢山の人が家を無くしました。その教訓から生まれたのが地域住民による防災組織づくりです。同時にひよどり台では、小中学生からなる防災ジュニアチームを平成13年に結成しました。防災ジュニアチームの活動は、地域住民の絆を結ぶ潤滑油になっています。今年度は



168名が在籍しています。

研修でひよどり台の外へ防災設備等の見学をすることはありますが、今回のように全国の少年消防クラブが集まる場所に、しかも宿泊研修は初めてです。不安でしたが、中学2年生3名、小学6年生3名、指導者2名の総勢8名で参加しました。

最初は他の少年消防クラブの人達と交流することが難しかったですが、研修を通じて多くの人達と交流

が難しかったですが、研修を通じて多くの人達と交流



が出来ました。合同訓練のこと、徳島の人達のおもてなしの阿波踊り、避難所体験、美馬市の取組み、交通は専用バスを利用させていただいたこと、どれをとっても貴重な体験でした。

今回の研修、全国の少年消防クラブの仲間との交流を通じて学ぶことがいっぱいあり、参加して大変勉強になりました。また、全員が無事に帰り、保護者の方に

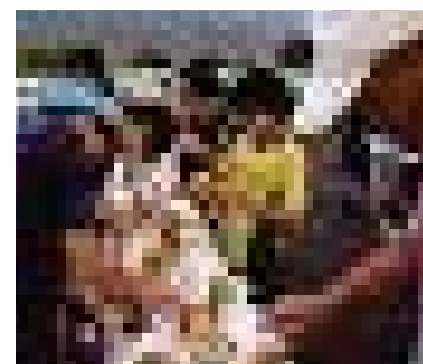


子ども達をお返ししてほっとしました。最後にお世話を戴いた多くの人達に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

交流会に参加して

●西山 尚希(小6)

僕達は、徳島に行っているいろいろなことを知りました。北海道から鹿児島までの多くの少年が集まってきました。びっくりしました。



参加したみんなでなかよく協力しあって、今年



徳島大会

●橋口 大和(中2)

僕達は、ひよどり台防災ジュニアチームからこの大会に選ばれて参加させてもらいました。

1日目はホテルの宿泊でした。全国の少年が一堂に集まり、びっくりしました。クラブの紹介、阿波踊りの観賞、大変勉強になりました。

合同練習は大変暑く、しんどかったです。成績はよくなかったですが、頑張りました。リレーでは、水消

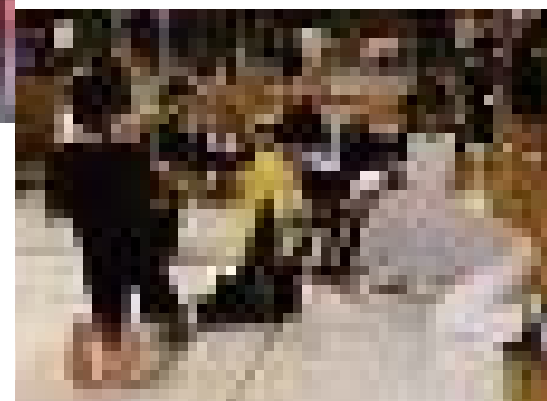


防災ジュニアチームの
マークです



の夏休みはとてもいい思い出ができました。

合同訓練のリレーでは、あまりいい記録を出せなかったけど、しっかり走り切れたのでよかったと思います。もう少し練習ができていたらもっとよかったと反省しています。



2日目のダンボールハウスづくりでは、有効に時間を使ってみんなで1つ1つ頑張ってやったので早めに作れました。

ダンボールハウスはいつも家で寝ているときとちがって寝にくかったです。野外で食べた料理はとてもおいしかったです。



火器でボーリングのピンを倒しました。暑かったけど、よい経験ができました。

2日目の宿泊は、ダンボールハウスでした。

みんなで力を合わせて作業をまとめることは年齢に関係なく大切なことだと感じました。日頃の生活を見直す経験になりました。貴重な体験を有難うございました。



誰かが誰かのために、頑張った3日間。



若草中学校少年消防クラブは、生徒全員が少年消防クラブ員として活動しています。主な活動内容としては、防災訓練や消火活動などを消防署の方から教わり、防火・防災に関する知識や技術を習得しています。今回は、日頃の訓練の成果を発揮するため、クラブ員を代表して3年生5人が交流会に参加しました。



少年消防クラブ交流会を終えて

● 指導員 豊田 智加(養護教諭)

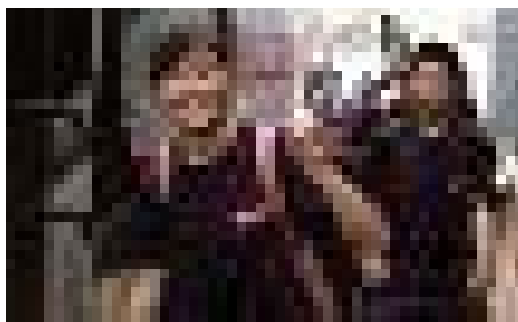
私は指導員として交流会に参加しました。合同訓練に向けて、子どもたちは暑い中、良い成績を残そうと頑張っていました。徳島に着き、他県の消防クラブの人たちと交流をもち、生徒と共に「負けれない。」という気持ちが強くなりました。

結果は、練習の成果が実り5位に入賞することができました。本当に子どもたちが頑張った証だと思えます。この3日間で、誰かが誰かのために支え守って生きていることを学びました。この経験を子どもたちに伝え、また子どもたちが誰かのために生きていってくれたらいいなと思います。

貴重な経験

● 久木元 友花(中3)

私たち若草中学校少年消防クラブは徳島で8月3日から5日に開催された交流会に出場しました。全国の少年消防クラブの人たちは、みんなたくさんの練習を積んでいるように見えて不安になりました。でも今までの練習の成果を出せるよう



に精一杯頑張り、見事5位入賞することができ、とても達成感がありました。体育館での避難所体験はみんな楽しんでいましたが、実際には何日間もずっといなければならないのでとても大変なんだなと思いました。

勝ち取った5位

● 川崎 龍之介(中3)

僕たちは、徳島県で開催された交流会に兵庫県代表若草中学校少年消防クラブとして出場しました。会場に着いたら、45チームの少年消防クラブの人たちがいましたが、心の中では上位を狙おうと思いました。少し不安もありましたが、いざとなると力がみなぎって、全員一致団結して競技に挑み、結果は5位でした。3日間、一所懸命練習したので、結果を残せたことがとても嬉しかったです。徳島に行つて色々なことを学び、いい経験になりました。



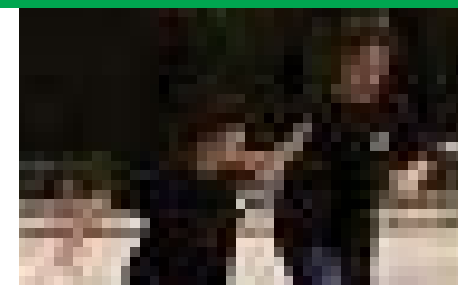
少年消防クラブ交流会について

● 山森 翔(中3)

僕たち若草中学校少年消防クラブは、夏休みに少年消防クラブ交流会に参加させて頂きました。クラブ対抗リレーでは、どのクラブも日々の活動の成果を十分に発揮していました。その中でも5位入賞という栄光ある賞を頂くことができました。避難所体験では、段ボールハウス作りを行いました。避難所生活の不便さや苦勞を実感できた気がします。



この交流会で学んだ知恵を、これからの消防や生活に活かしていきたいです。



少年消防クラブ交流会について

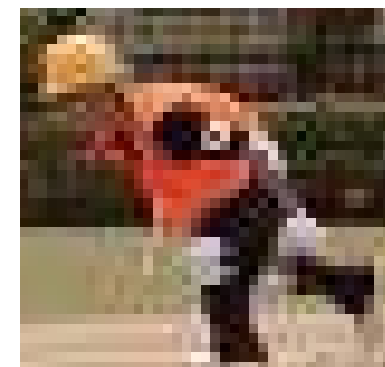
● 永田 鈴音(中3)

私はこの交流会で避難所体験が1番印象に残っています。避難所体験では体育館に班ごとに段ボールハウスを作り、そこで違う中学の子と一晩過ごしました。次の日の朝、寝ている人のいびきや、起きて歩いている人の足音で、5時前に目が覚めてしまいました。今回は1泊だけだったけど、災害時はこれがずっと続くと思うとストレスで精神的に苦痛を伴うのだろうと感じました。この全国交流会でたくさんの貴重な体験ができました。今回学んだことをこれからも活かしていきたいです。

少年消防クラブ交流会を終えて

● 小山 智矢(中3)

ぼくは、徳島での3日間で、たくさんの体験をしました。学校のリレーの練習では、なかなかうまくピンを倒すことができなかったのですが、本番では半分倒せました。障害物競走も苦手な縄くくりを一発で成功することができました。みんなが協力して頑張った結果、5位に入賞して、とてもうれしかったです。その日の夜には、段ボールハウスを作り、そこで一晩過ごして避難所を体験することができました。そして、3日目の消防団の皆さんの話はとても勉強になりました。みんな協力し、一つになれたことで良い結果につながったと思います。この体験を生かし、消防についても、もっと勉強していきたいです。





人とのつながりを土台に、 全国の地で咲かせた大きな大輪



■ リレーが終わり「ホット」一息、おそろいの日の丸入りTシャツで(気分は日本代表?)



たつの少年消防クラブは、たつの市・太子町内の小学4年生から6年生までの子供たち71名とサブリーダーとして中学生の6名で結成され、クラブ活動の運営は保護者(お父さん・お母さん)が主体となり数々の行事を行っています。今回は、5年生3名と6年生3名の合計6名が猛暑の中で事前練習に汗を流し、全国交流会に参加しました。

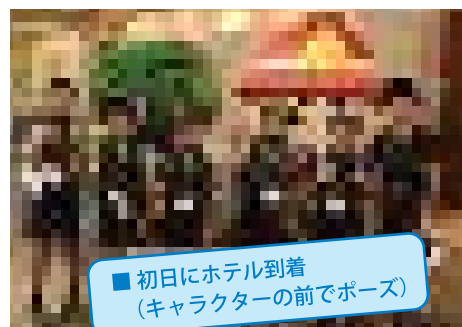


2つの思い出

● 玉田 輝正(太子町立斑鳩小6)

僕は、徳島であった「少年消防クラブ交流会」で特に心に残ったことが2つあります。1つ目は、合同訓練です。僕は、あまりうまく出来なかったけど、全国の人たちと競技が出来て良かったです。2つ目は、ダンボールの家で寝たことです。その家にマジックペンで絵を描いたりしたのも楽しかったです。また、そのダンボ

ルの家で寝る時もお話をしたりしてとても楽しかったです。「少年消防クラブ交流会」はとてもいい思い出になりました。



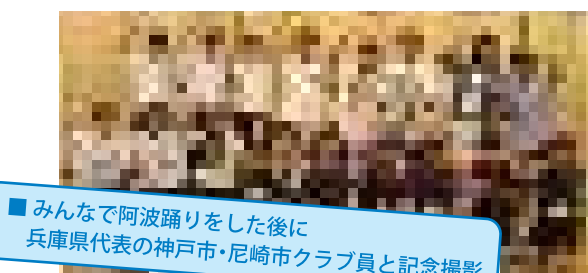
■ 初日にホテル到着(キャラクターの前でポーズ)



少年消防クラブ交流会で体験したこと

● 上田 蒼太郎(太子町立龍田小5)

僕が、交流会(全国大会)で心に残ったことは、8月6日の合同訓練(クラブ対抗障害物競走)です。クラブ対抗リレーは、補欠だったから出られなくて、障害物リ



■ みんなで阿波踊りをした後に兵庫県代表の神戸市・尼崎市クラブ員と記念撮影

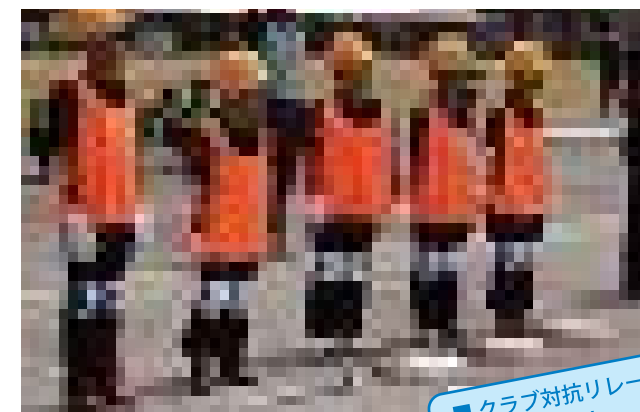
レーが特に楽しみでした。結果は中の下くらいだったけれど、全国から来たクラブの人と一緒に競技、交流が出来たので、心に残るいい思い出になりました。



楽しみながら防災について勉強できました

● 中村 総一郎(太子町立龍田小5)

初めて交流会に参加していろいろな事を学びました。交流会で体験した事は、うだつアリーナでダンボールハウスを作って寝た事です。ダンボールハウスを作る手順が難しく大変でした。寝心地は少し固くていいとは言えないけれど避難所の重要な体験になりました。交流会に参加してとても楽しかったです。また、楽しみながら防災について学べたと思います。次の交流会も参加したいなと思いました。



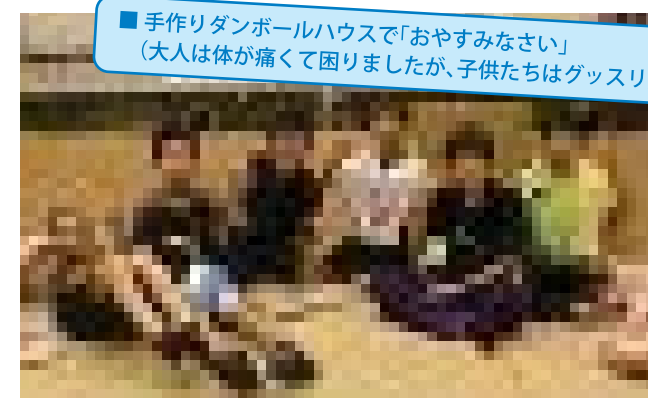
■ クラブ対抗リレーよ〜いドン!



消防クラブ交流会に参加して

● 井貫 克海(太子町立斑鳩小6)

1日目はクラブ紹介をし、たくさんのクラブが参加されていてびっくりしました。2日目の合同訓練で障



■ 手作りダンボールハウスで「おやすみなさい」(大人は体が痛くて困りましたが、子供たちはグッスリ)

害物リレーをしました。リレーでは水消火器を担当し、練習どおりに倒すことができました。そして、ロープの結び方をたくさん覚えました。避難所体験では、ダンボールハウスを作り、友達と協力して上手に出来たと思います。

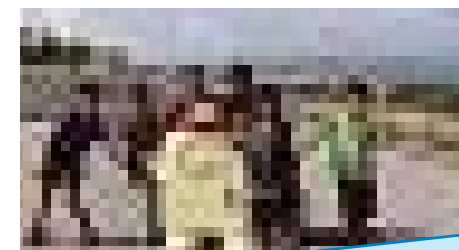
交流会に参加し、たくさんのことを学べ楽しかったです。ありがとうございました。



貴重な体験

● 井上 朋紀(たつの市立揖西東小5)

僕は、知らない場所で泊まることは初めてだったので、前日からドキドキしていました。会場について、すごい人がいっぱいびっくりしました。2日目のリレーではがんばって走ったので何人が抜かせたのでうれしかったです。休憩中に北九州から来たチームに「お友達になってくれないませんか?」と言われびっくり



■ 帰り道で途中休憩「明石海峡大橋は世界?」「お父さん・お母さんにおみやげ買って帰ろう」

したけど、日本中に友達がふえそうでうれしかったです。来年も絶対に行きたいです。そして、成績をもっとのばしたいです。



仲間とがんばりぬいて楽しく過ごした 達成感たっぷりの三泊三日！



比治山学区BFCIは、学区子ども会・公民館グループにも所属している地域に根付いた消防クラブです。防火の呼びかけや研修・訓練だけでなく音楽活動もしています。それぞれの活躍する場面でメンバーも変わります。今回の全国大会では当初のメンバーが急遽二人チェンジになったにもかかわらず南消防署の隊員さんのご指導と他のメンバーの応援で訓練をかさねての参加となりました。短期間のチーム編成でもチームワークは、ばっちりめで悔いのない大会でした。日頃のレクリエーションや部活がいかされ笑顔いっぱいでした。



徳島研修

● 大江田 美優 (小5)

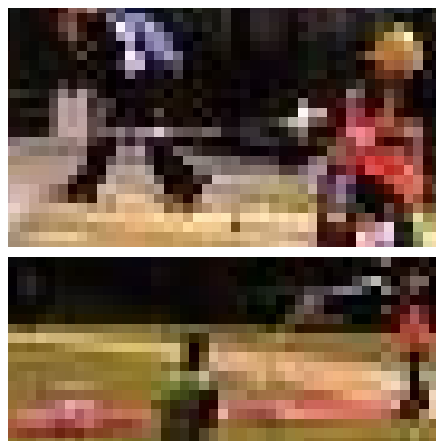
私は徳島研修で、色々な事を学びました。消防署の隊員さんとの訓練では、ロープの結さくやホースボーリング、水消火器の使い方を教わりました。競技ではとても緊張して少し失敗しましたが、隊員さんから教えてもらっていたので、がんばることができました。県外のクラブの子達と仲良くできたこともよかったです。



楽しかった徳島研修

● 小川 麗奈 (小5)

夏休みに消防クラブで徳島研修に行きました。最初は、とても不安でした。でも、競技などをやっているうちに、不安から楽しさにかわっていきました。一番よかったことは、みんなで最後まで協力してできたことです。あと、研修の前に、消防署の隊員さんと訓練した巻き結びが訓練した時よりもうまくいったので、それもすごくうれしかったです。また、徳島研修に行ける機会があれば次もがんばりたいです。



徳島に行って

● 小川 竜輝 (小6)

ぼくは徳島にいったってすごく楽しかったです。ぼくが一番楽しかったのは全国大会の競技です。最初はすごく緊張していたけどやってみるとすごく楽しくてもう一回やりたい気分になりました。次に楽しかったのはホテルです。ホテルではまくらなげや部屋で話しをしました。最後に楽しかったのは温泉です。サウナに入れてすごくうれしかったです。

楽しかった 消防クラブ全国大会

● 国沢 日和 (小6)

ぼくは、徳島研修に行つてとても良かったと思いました。ホテルで一泊したこと、そして障害物競争やリレーなどでいろいろなことを学んだり経験できて、楽しかったからです。そしてダンボールハウスづくりでは、ほかのチームと協力してつくることができました。ダンボールは汗をすってくれることが、実際にダンボールハウスを使ってみて良く分かりました。この研修で学んだことをいざというときいかしていきたいと思いました。



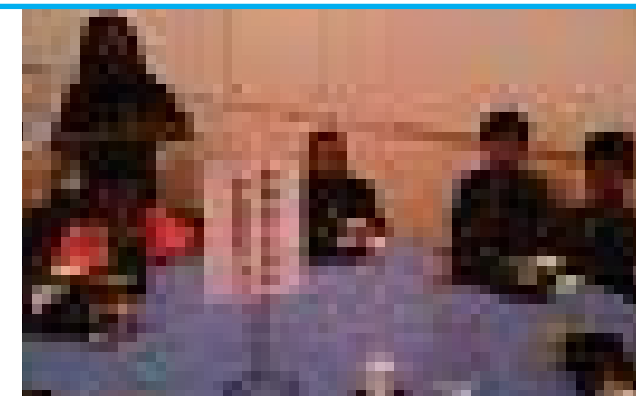
岡山駅 桃太郎の像の前



徳島合宿

● 栗原 優矢 (小6)

ぼくは、消防クラブに入部したばかりで、すぐに合宿があつてとても緊張していました。障害物競争やクラブ対抗リレーどちらも楽しかったです。ほかにも、ホテルに泊まってごはんを食べたりダンボールハウスで寝たり、バスの中で持って来たおかしを食べたりして、とても楽しかったです。





徳島で

● 東垣 壮真(小6)

新幹線とバスに乗って徳島のホテルへ行きました。ホテルの部屋は武田くんといっしょでした。

ホテルの一階で食事会がありました。全国から集まったBFCの人がいました。自己紹介があって、武田君が代表で紹介しました。

食事が始まって、ぼくは「明日の大会は、何位になれるかな」と、思いながらたくさん料理をたべました。デザートはとても美味しかったです。踊りも見られました。

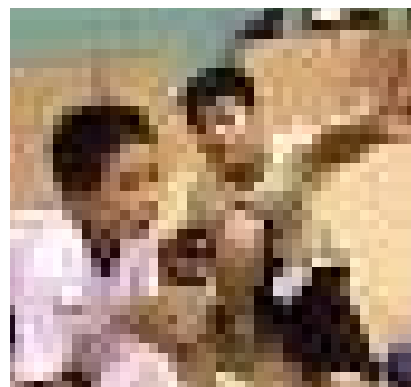
食べ終わったら、部屋へ戻ってシャワーを浴び、明日の準備をしました。女子たちが、お菓子パーティに誘ってくれたので、持ってきたお菓子を持って女子の部屋に行きました。テレビを見ながらお菓子を食べて、楽しい夜を過ごしました。

次の日の朝は、気持ちよく起きられました。朝食をいっぱい食べました。食べたら荷物を持って、バスに乗り大会の会場に向かいました。

バスの中では緊張して「大会では練習通りにうまくいくかな」と、思いました。

会場に着くと自分たちの学校の名前が書いたプラカードの後ろのシートに荷物を置いて、会場の真ん中に並んで消防長のお話を聞きました。お話が終わると、自分たちの席に戻って、順番が来るのを待ちました。自分の番が来る三つ前に呼ばれて、待機用のテントに入って競技の準備をしました。

本番は、練習より、緊張とサポーターのせいで動きにくかったです。一回目は自分の思い通りにいきませんでした。後ろで冷たいジュースを配っていたので、



一本貰って一休みして、二回目の競技にのぞみました。二回目の競技では、途中で女子たちもめてしまいゴールが遅くなってしまいました。競技の結果は45位中17位でした。思っていたより悪くなかったのが良かったです。でも1位ではないから、がっかりしました。悔しい気持ちがあるので、また大会に出場したいなあと思いました。

BFCでの体験

● 福本 芽果(小6)

私はこの夏、学校の代表で徳島へ行くことになりました。はじめは少しドキドキしたけど行ってみるとドキドキは治まり、次の日、とうとう大会の本番になりました。その日はとても暑くてのどがカラッカラになりました。開会式が終わり、走って荷物置き場へもどるとジュースが後ろにあったので飲みました。その時の美味しさはいつもの数百倍に感じました。そうするうちに時間が過ぎ、私たちの出番がやってきました。私は吉岡さんからバトンをもらうので、絶対落とさないようにと心の中で決めていました。並んでいると、ヘルメットなど色々付けてもらいました。それはけがをしないためにつけるものなんだなぁと思いました。最後の東垣くんが全速力で走って来て相手のチームと並びました。私は練習でやったことができたので、すごく満足していました。

BFCの大会は初めてだったのですごくいい体験ができました。行ってよかったなと思います。すごく楽しい思い出ができました。また、どんどん体験してやってよかったと言えるようにがんばります。



心に残った交流会

● 吉岡 璃世(小6)

8月5日から7日に徳島で少年消防クラブ交流会がありました。私のクラブは8人で参加しました。大会当日になって徳島消防学校に着くと、だんだん緊張しました。そしてついにリレーの番が来ました。私は一走だったのにバトン代わりに持って走る筒先を忘れてしまい取りに戻りました。でも合計順位は17位ぐらいでした。私はすごく嬉しかったです。この経験から私は将来消防士になりたいなと思いました。

交流会に参加して

● 武田 大輝(小6)

この夏、ぼくは貴重な体験をしました。それは、徳島県であった少年消防クラブ交流会に参加した事です。本番までに消防署の方や、保護者の方が競技の練習をしてくださいました。おかげで本番でみんなの力をだす事ができました。

また、体育館での避難所体験は初めての経験でした。災害はない方がいいけれど、もしも、自分達の住んでいる所でおきたら、今回経験した事が活かせたらと思います。すごく暑くて疲れたけど、貴重な体験ができました。

BFC交流会に参加して

● 沖田 和佳奈(小6)

夏休みの8月5日から二泊三日でBFCの交流会に参加しました。6年生の6人が代表として行きました。

私が一番心に残ったのは、訓練の本番と避難用のカレーを食べた事です。本番では、緊張して間違えたり、遅くなったり、練習の成果が全部は出せなかったけど、とても良い経験になりました。消防士になった気分がとても気持ちよかったです。カレーはご飯がグチャグチャで美味しくありませんでした。でも、震災になる

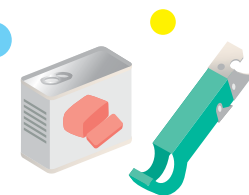


なかなか眠れない夜

● 貞本 リリコ(小6)

2日目の夜、みんなでもってでっかい体育館に泊まりました。武田くんとそうまくんが二人だけで眠るのはとてもさみしいというので、一緒にグループで段ボールハウスを作りました。段ボールハウスは寝るための小さな家です。まずは、消防団の方と一緒に段ボールハウスの

床を作ります。そのままでは腰が痛くなるというのでクッションを一番下にひいてから、段ボールをひいて次に壁を作ります。壁はとにかくガムテープです。ガムテープをいっぱい貼ってなんとか壁が出来ました。あとは絵をかいて段ボールハウスの完成です。あとやることといえば寝る？準備をするだけでしたが、ほとんどの人は消灯時間になると『おやすみー』といってすぐに寝てしまいました。起きていたのは私とリせちゃんの二人。やがてどこからともなくとてもうるさいイビキが聞こえてきました。耐えきれなくなって二人でしばらく二階で遊んでいると、リせちゃんも眠いと寝てしまい起きてるのは私だけになりました。消防団の人からポカリスエットをもらったけれど、興奮して眠れない。わたしは『夢をみるしかない』と思いギュッと目をつぶるとすぐに寝てしまいました。夢は忘れてしまいましたが、寝るのがとても大変な1日でした。



とこれを食べなくてはいけないのかなぁと思うとソクツとしました。ダンボールハウスもとても楽しかったけど、震災でずっとだと思つとやっぱり嫌だなぁと思いました。

今回の研修は日頃経験出来ない事を沢山経験出来てとても良い思い出になりました。この経験は忘れないでこれからは役立てたいと思いました。



初めて参加した少年消防クラブ交流会



栗原少年消防クラブは、昭和57年に発足した消防クラブです。消防局や地域の皆さまの指導の下、防火・防災や救急法などの研修、年末の夜回り、出初式に向けた規律訓練等を行っています。今大会には、クラブ員65名の中から代表して5年生2人、6年生4人が参加しました。



少年消防クラブに 交流会に参加して

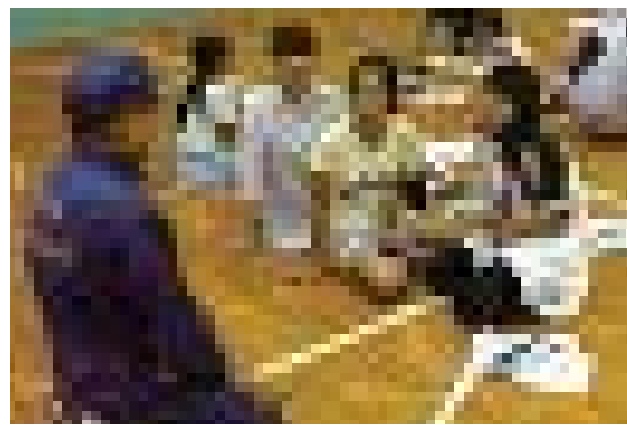
●石倉 結(小5)

私は、少年消防クラブ交流会の避難所体験で段ボールハウスを作ったとき、段ボールで作ると思っていたよりも強くできるのでびっくりしました。だけど、作るときに段ボールを折ったりするのが、一人ではできなくて少し難しかったです。災害の時には、この体験を役立ててさっと対応できるようにしたいです。



徳島の全国大会に参加して…

●土屋 遥華(小6)



私は、徳島で行われた少年消防クラブ交流会に参加できたことが、とてもいい経験になりました。大会の競技中、練習の時とは違う独特な緊張感の中、仲間と協力して競えたことは私の中で力になりました。この大会で学んだこと、感じたことを活かして日々の生活を送っていこうと思います。



消防訓練の過酷さ

●板谷 海聖(小5)

僕は、この交流会の中で二日目の合同訓練を楽しみにしてました。開会式が始まり、いよいよ訓練の成果を出せるチャンスが来ました。

リレーは1、2分ほどのあつという間の勝負でした。僕の消火器のところは勝っていたと思います。でも相手チームは強くてかきませんでした。悔しかったけど消防訓練の厳しさが体験できてよかったです。

三日目は、うだつアリーナで避難所生活をしました。段ボールで部屋を作りそこで寝ました。段ボールの寝心地は固かったです

段ボールハウスを一緒に作ってくれた皆さんありがとうございました。

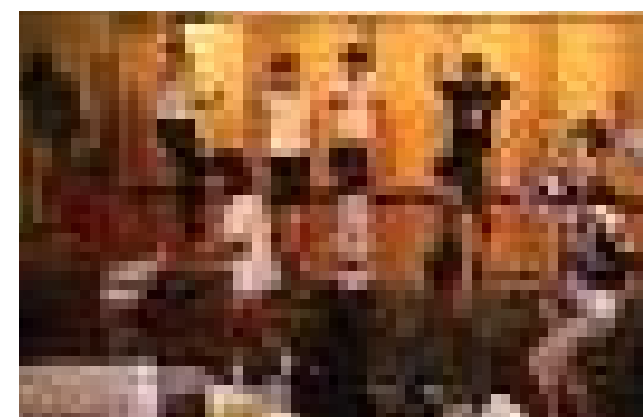


交流会に参加して

●大原 千明(小5)

合同訓練の日は、すごく暑い日で体調のことが心配でしたが、霧の出る扇風機などが用意されていたり、飲み物などもたくさんあって元気に訓練ができました。

避難所体験では、段ボールハウスを作ってそこで寝ましたが、寝心地がすごく悪かったです。避難している人は大変だということがわかりました。



三日目の段ボールハウス作りでは、実際に避難所体験ができて、避難者の苦勞を知ることができてよかったです。



少年消防クラブ交流会について

●大原 夕奈(小6)

私は、一日目の夜の阿波踊り鑑賞で、初めて直で阿波踊りが見れたのでよかったです。二日目の合同訓練は、当日になってヘルメットをかぶらないといけないことが分かり、少しびっくりしたけど楽しかったです。



築いた絆を大切に



6区少年少女消防クラブは、平成5年に結成し、現在クラブ員111名で活動しています。主な活動は、年末夜回り広報、防火餅つき、ひとり暮らし高齢者住宅への防火声かけ運動(お餅の配布)等を行っています。



このたびの交流会は、小学6年生4名、中学1年生1名が参加し、消防の実践的な活動を取り入れた合同訓練等を通じて、消防技術の向上及び他の地域の少年消防クラブも含めたクラブ員相互の絆を築くことができました。この交流会で築いた絆を大切にするとともに、今後もクラブ員相互及び地域と絆を築く活動を行い、防火防災に貢献していきます。

全国大会

● 富田 龍綺也(小6)

今回の交流会・訓練に向けて、僕達は毎日のように練習をしてきました。

本番当日、沢山の参加者や多くの人達の前で、とても緊張したけれど、最後までやり遂げる事が出来ました。全国の皆とも仲良くなる事が出来て、とても良い経験が出来ました。

僕にとって初めての経験で、45チーム中25位という結果になりましたが、次の全国大会で上位に入れるよう、頑張りたいと思います。



交流会に参加して

● 山口 陽世(小6)

毎日のように練習して、やっと迎えた本番の日、とても暑い日でした。

僕が一番難しかったのは、対抗リレーでした。

その訳は、ロープを結ぶ場面で失敗したらいけないと思う、そのプレッシャーがありました。ちゃんと結べてよかったです。

競技以外で楽しかったのは段ボールハウスに泊まった時に、中学3年生の人達とUNOをした事です。知らない人とも友達になれて嬉しかったです。



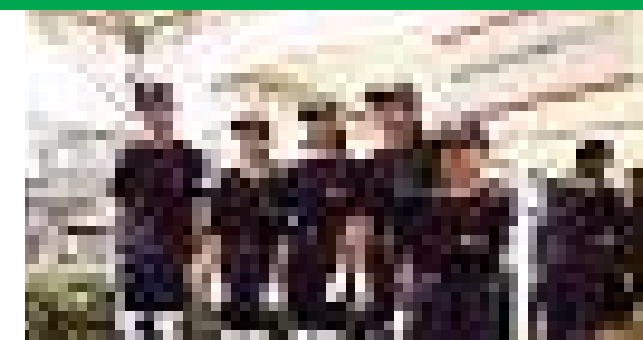
合同訓練

● 雨田 莉緒奈(小6)

私が徳島県に行って思い出に残ったことは、本番で、みんなと協力して活動できた事です。25位でしたが、いい体験でした。

他のチームもよくがんばっていて「すごいな。」とおもいました。

私もまたみんなと、活動したいなと思いました。全国から集まる活動は、すごく楽しかったです。



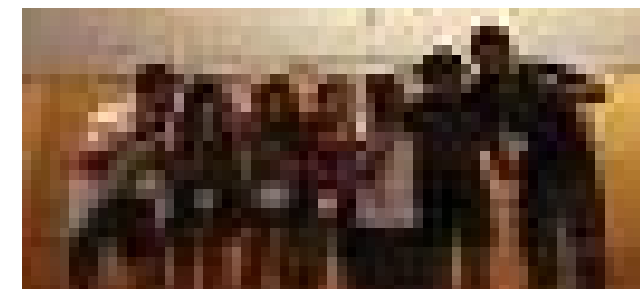
交流会で

● 谷川 美羽(小6)

私は交流会に行ってもいい思い出が出来たと思います。訳は、泊まる時も楽しかったし、いい体験だったと思います。

これからの生活に活かしていきたいと思いました。夜おそくまで起きていて女子会もでき、楽しくてたまりませんでした。

いままで友達とこんなに泊まった事がなかったので、嬉しかったです。またこのような機会があればぜひ参加してみようと思いました。とても楽しかったです。



徳島に行って

● 渡川 夢翔(中1)

私は、徳島に行くために、たくさん消防の練習をしてきました。

練習では、いいタイムがでたと思ったけど、徳島に行って他のチームがやっているのを見たら、見ただけで、速いのが分かりました。

いざ、私のチームが出るとなると、ドキドキがとまりませんでした。

そして最初は、順調だったけど、だんだん失敗していき、タイムがおちていきました。でも、しっかり頑張ったので45チーム中なんと、25位でした。とても嬉しかったです。



平成27年度 全国大会 少年消防クラブ交流会

府中町少年少女消防クラブ



府中町少年少女消防クラブは、町内の小・中学生34人が消防クラブに加入しています。今回、交流会に参加した6名は、約2カ月前から週1回のペースで訓練を行い、入賞するために猛暑の中でも、弱音を吐かず頑張ってきました。訓練以外では、あいさつをすることや自分たちのことは自分たちでやるといった当たり前のことも指導していき、今回の交流会に参加しました。

小学6年生 奥野 菜愛

今回、交流会に参加してみて、いつもの練習の成果がよくでて良かったなと思います。

そして、私は障害物競争の時、補欠で応援をしていました。その願いが届いたのか、どちらの合同訓練もいつもよりタイムが良く、中学生が多い中で12位という私たちにとって良い結果を出すことができました。でも、リレーのボウリングのピンを1つも倒せなかったのがとっても悔しかったです。練習では、何度もやって最高3本倒せていたからです。私はちょっと残念な気もしました。けれども、合同訓練以外のダンボールハウス作りでは、他のクラブ員の人とも友達になれたし、話しもできてとっても楽しかったです。

このことは、最高の思い出になりました。今回の訓練を通して、これからの訓練も力いっぱい頑張りたいです。



小学6年生 棚田 優香

私達は、交流会で絶対したいと思っていたことがあります。それは、「友達をつくる」ということです。合同訓練では、浦安少年消防クラブの方が対戦相手の私達でさえも話かけて和ませてくれました。そして、6区少年消防クラブの方と仲良くなりたくて、ダンボールハウス作りで浦安少年消防クラブを見習って自分達から話かけました。すると、とっても仲良くなりました。

大会では12位と悔しい結果になってしまったけど、初めて会った人と仲良くなってチームワークをつくる力をつけることができました。



もうすぐ合同訓練が始まる・・・
緊張する口・・・



小学6年生 中野 佑美

私は、この交流会で同じクラブの人とも仲良くなったし、他のクラブの人とも、仲良くなりました。

毎週練習があって暑中、大変でした。目標タイムは50秒で、届かなかったら届くまで何回も繰り返し練習していました。練習での最高記録は、46秒でした。

いよいよ本番で、とても暑いと言われていたけど、水がまいてあったりして、あまり暑くありませんでした。結果は45組中12位という好成绩でした。目標タイムには届かなかったけど、半分よりも上位だったので、すごく嬉しかったです。

この全国大会で、私は「何でも努力すれば少しずつの積み重ねで、良い結果を出せる」ということが分かりました。このことを忘れずに他の活動や生活に活かしていこうと思います。





5人で一致協力し、頑張ったBFC交流会



厚南地区少年消防クラブは、山口県宇部市厚南地区に昭和55年に発足したクラブです。現在、クラブ員(小学生20名)、防災ジュニアリーダーチーム員(中高生14名)の計34名で出初式、AED取扱訓練など消防関係の行事をはじめ市や厚南校区主催の行事にも進んで参加しています。今回の交流会は、前回の西日本大会に引き続き2回目の参加で、5、6年生の仲良し5人が参加しました。

がんばった合同訓練

●三戸 慶一郎(小6)

ぼくは、初めて徳島に行きました。去年は、行きたかったけど台風で行けませんでした。でも、今年は災害もなく徳島に行けました。ぼく達は、徳島大会に行くために必死で練習してきました。練習では全然緊張しなくて、新記録が次々と出ました。でも、本番になると緊張して、今までで一番遅いタイムがどっちも出ました。とても悔しかったです。もし来年もいけるのなら、今回よりも速く走りぬけたいと思いました。



■クラブ対抗リレー(三戸 慶一郎)



■クラブ対抗リレー(古川 綸恩)

はじめての交流会

●古川 綸恩(小6)

1日目は、バスや新幹線に乗って徳島まで行ってホテルに行きました。その後スローに連れて行ってもらいました。そして2日目は大会で、でも残念ながら上位にもなれなかったので本当に残念で大会を終りました。自分たちの実力がたりなかったのだからちゃんと訓練をしていきたいです。次、出ても出られなくてもちゃんと訓練をして、防災とかを精一杯やっていきたいです。もっとちゃんとやりたいです。

楽しかった徳島

●山本 悠真(小6)

ぼくたち厚南地区少年消防クラブは2泊3日で徳島に行きました。印象に残っていることは、2日目の合同訓練です。ぼくたちは、今まで消防士さんたちに熱い指導をしていただきました。でも本番では実力を発揮できず悔しい結果に終わりました。

その日の夜は、ひなん所体験やダンボールハウス作りなどとてもいい経験をしました。もし災害が起きたら、この経験を生かし、少しでも多くの人の役に立ちたいと思いました。



■クラブ対抗リレー(山本 悠真)

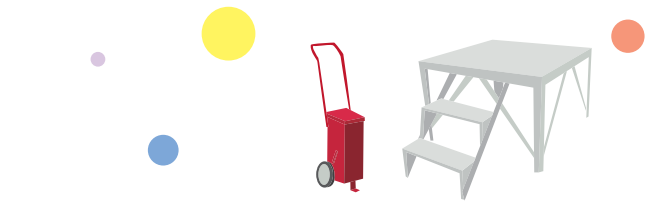
仲間になれた交流会

●川崎 雄翔(小5)

電車、新幹線、バスを乗り継ぎ徳島に無事着いた。夜の交流会では、大勢の人達の前で挨拶をし、全国の消防クラブ員のひとと友達になることができた。二日目、いよいよ合同訓練だ。消防署で何回も練習してきた成果を発揮する日だ。緊張していた人もいて、残念ながら良い結果は



だせなかったけど、みんなで励ましあって団結し全力で取り組めたと思う。暑い中何度も練習につき合ってくれた消防署の方たちに感謝の気持ちでいっぱいだ。



■クラブ対抗リレー(楠田 琳也)

交流会での体験を活かして

●楠田 琳也(小6)

ぼくは、去年参加予定だった全国大会がごう雨災害のために中止になり、災害のこわさを知りました。今年も参加できることになって去年より沢山練習して競技にのぞんだけど、チームの息がそろわず、力が出し切れなくて残念な結果でした。疲れた体で作ったダンボールハウスは楽しくて寝心地も良かったけど、本当の災害の時には電気も水もなく大変だと思います。この経験を活かして、災害時には中心となって活動したいです。



■クラブ対抗リレー(川崎 雄翔)



まきおこせ!
われらがうずしおパワー!!



『消太くん』といっしょに、
はいポーズ!



●立石 彩桜(小6)

2日目の交流会で、もしもの災害の時の段ボールハウスを作って寝る体験をしました。また地元美馬市の消防団の方々との交流会では、災害時の対応についていろいろと具体的に教えてくださったり、なによりもチームワークを大切に協力することが大切だということを教えてくださったりしてとても参考になりました。もしもの時に役立てたいです。



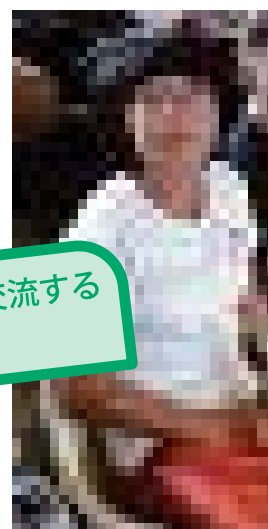
段ボールの寝心地を
楽しむ立石 彩桜さん

●岡村 寧来(小6)

消防学校での合同訓練では、やはり中学校のチームが早かったです。でも私たちのチームも、これまでで最高のタイムが出たのでみんなで喜びました。うだつアリーナでは段ボールハウスを作り、他のチームの子とも仲良くなり、いろんな話をすることができてとっても楽しかったです。3日目には、わたしたちの先輩から消防世界大会の報告がありました。私たちもいつてみたいと思いました。



全国の友達と交流する
岡村 寧来さん



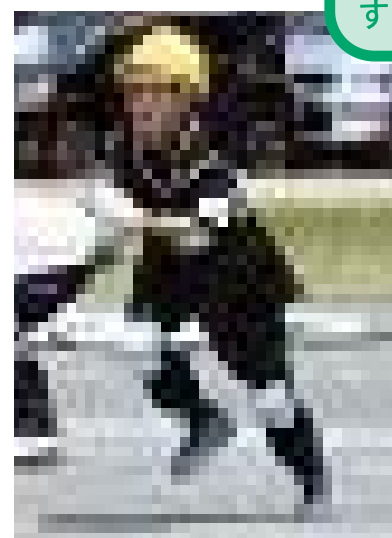
●小泉 諒奈(小6)

参加チームには中学生もたくさんいてとても緊張しました。クラブ対抗リレーでは、私がバトンを持ち忘れてタイムロスをしてしまい、とてもくやしかったです。でも仲間が励ましてくれて午後の障害物競走では良いタイムを残せてうれしかったです。中学生になっても機会があれば是非参加したいと思います。



交流会で阿波踊りを披露する小泉 諒奈さん

障害物競走でスタートする池内 萌菜さん



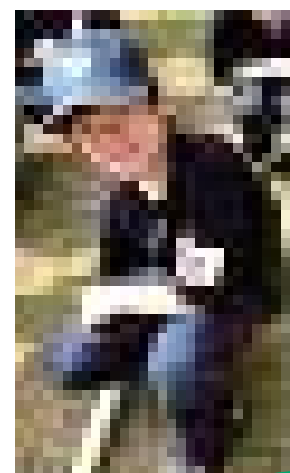
●池内 萌菜(小6)

消防学校での合同訓練は開会式から始まりました。最初是对抗リレーです。練習よりも良いタイムが出せたのでうれしかったです。午後の障害物競走も、みんながあせらずに、役割分担してできました。最終結果は参加45チーム中16位で、力を出し切ったと思います。貴重な経験ができて本当に良かったです。



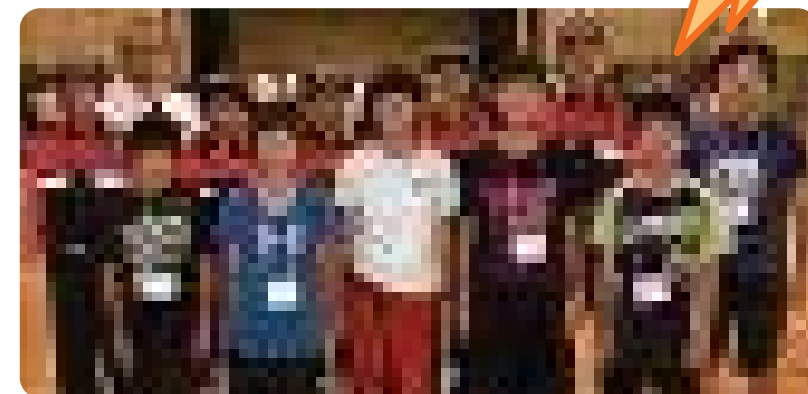
●佐々木 快生(小6)

1日目はホテルでの交流会で阿波踊りを鑑賞しました。2日目の合同訓練では優勝はできなかったけれど、全力を尽くしたので悔いはありません。夜は香川県坂出市の団員と一緒に寝て、友達になり楽しかったです。3日目は先輩から消防世界大会についての話を聞きました。良い話が聞けて良かったです。僕も世界大会に出場してみたいと思いました。



笑顔で開会式に臨む
佐々木 快生さん

世界大会に出場した
先輩たちと一緒に!





ありがとう



伊島少年消防隊は、中学校1年生3名、2年生1名、3年生1名、計5名で結成されています。主な活動は伊島の防火パトロールです。今回の交流会には5名全校生徒が参加させてもらいました。



最高の仲間たちとの、最高の3日間

● 神野 海斗(中3)

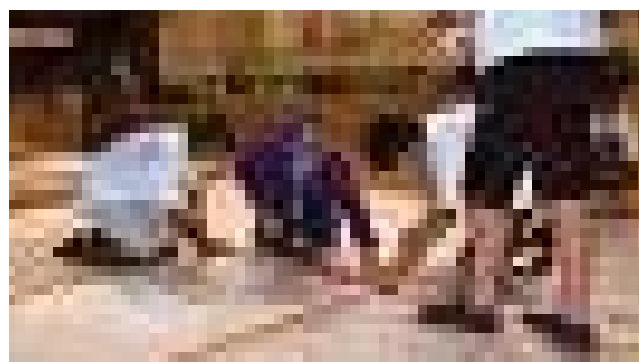
僕たち伊島少年消防隊は、徳島で開催された全国大会に出場しました。今回は2回目(前回は西日本大会)だったので、それほど緊張することなく競技ができました。しかし、途中でミスをしてしまったのでそれがとても悔いが残ります。でも、4人の最高の仲間たちと一生懸命競技できて、2日目の夜にはダンボールハウスを作って実際に生活するという貴重な体験をしました。なかなか眠れなくて、避難所生活はとても大



変と思いました。今年が自分にとって最後の大会だったけどいろいろな体験ができて、本当によかったと思います。

仲間とのキズナを深めた3日間

● 神野 悠(中2)



僕たち伊島少年消防隊は、地元徳島で開催された全国大会に出場しました。大会のために、これまで練習をしていたので、自信をもって大会にのぞむことができました。大会当日になると、すごく緊張したけど普段通り全力でできました。その日は避難所体験をしてあまり寝られなかったけど、もしかしら今後の地震で避難所でくらすことがあるかもしれないので、いい体験になりました。

楽しかった少年消防クラブ

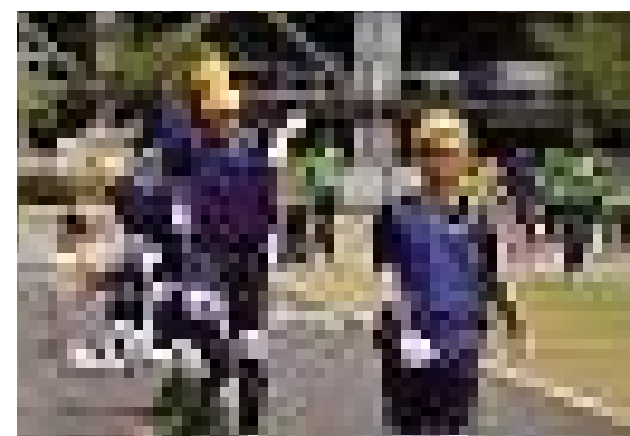
● 川西 麟(中1)

1日目は、みんなとの交流をふかめるために食事会をしました。食事会では、自分たちの消防クラブの説明をしたり、阿波踊りをみんなですて、とても交流がふかまったと思います。だけど、1番心に残っているのは、避難所体験です。はじめは、「いやだなあ」と思っていたけど、仲間と協力して、自分たちの寝床をつくるのはとても楽しかったです。それにとてもいい経験になったので、またいきたいと思いました。



頑張った少年消防クラブ交流会

● 斎藤 仁也(中1)

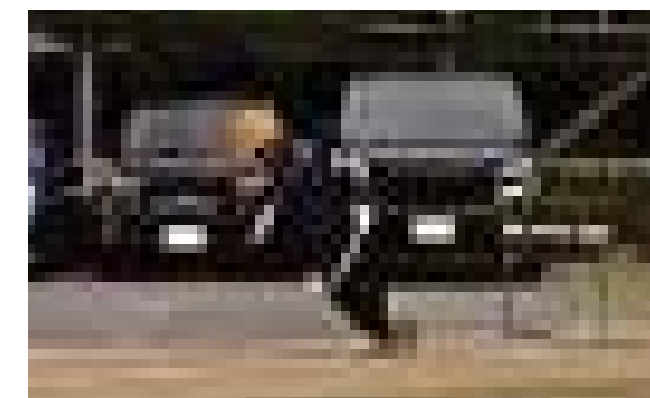


ぼくたち伊島少年消防隊は、地元徳島で開催された少年消防クラブ交流会(全国大会)に出場しました。練習の時にたくさんの人に協力してもらいながら、時にはミスもしながらも、みんなで頑張りました。だから、本番ではみんなが協力して練習をした成果が出せました。始まる前は少し緊張していたけど、いざ始まると緊張がやわらいで練習の成果を出せたと思います。ぼくはこれからも練習などをして、もし本当に災害などがあったときは今回のことをいかしていきたいです。また機会があれば出場したいです。

頑張れぬいた少年消防クラブ

● 佐藤 和也(中1)

僕たち伊島少年消防隊は平成27年度少年消防クラブ交流会(全国大会)に参加しました。参加することが決まったときには、正直大変だなあと思いました。もし、みんなの足手まといになったり、大勢の人の前でこけてしまったりしたらいやだからです。練習では、みんながそれぞれの役をやりきったり、使った後の後片づけもきちんとしていました。本番になると、みんなの顔が変わっていました。ぼくは、自分の役ができるかなと不安になりました。でも、ここまで頑張ってきたんだからと思い、自分を奮い立たせました。結果は見



事に9位でした。とてもうれしかったです。この経験をいかして、伊島でも活動をしていきたいです。



つながる！ひろがる！防災の輪

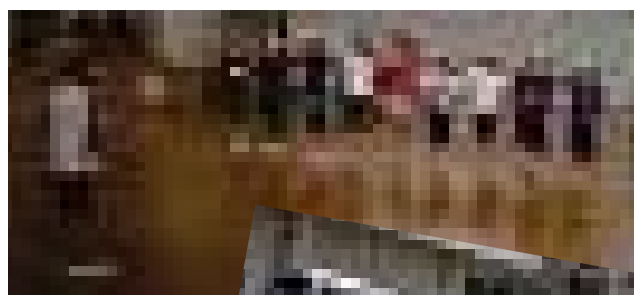


瀬居幼少年消防クラブは平成25年4月に発足し、小学生21人で様々な防火・防災の活動に取り組んでいます。今回は、少年消防クラブ交流会に参加させて頂きました。子ども達は、貴重な体験とたくさんの思い出を得ることが出来て本当に喜んでいました。この交流会を通して得たことは今後の消防クラブの活動に活かされると思っております。



● 山地 莉礼 (小6)

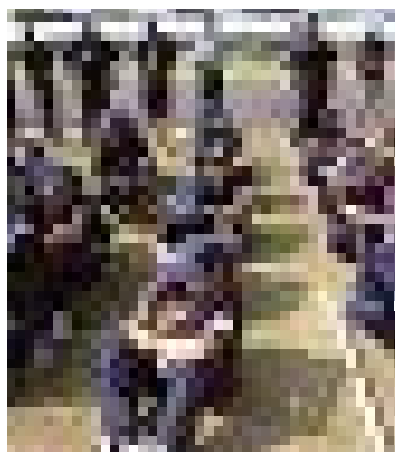
私は交流会の競技で特に大変だったのは、ロープの結び方です。本番は緊張し失敗せずにできるかと不安な気持ちでした。でも練習した成果を出し切って成功できて良かったです。二日目の夜に、ダンボールハウスで泊まりました。家で寝るのと違って、床が固くてなかなか眠れませんでした。避難した人たちは大変な思いをしているのだと感じました。この大会を通して



自分達が出来た事を見つけて進んで行動したいと思いました。



● 沖田 蒼太 (小6)



ぼくは、徳島で開催された大会に出場しました。大会ではあまりいい成績が出せなかったけど、練習した成

果はぞんぶんに発揮できたと思います。ぼくが交流会で一番楽しかった事は、みんなでダンボールハウスを作ったことです。いろいろな県の友達と協力して絵を描いたりダンボールを組み合わせたりして作れたので良かったです。瀬居の幼少年消防クラブに入って教えてもらったことをこれからも使っていきたいと思っています。



● 新宅 優晴 (小6)

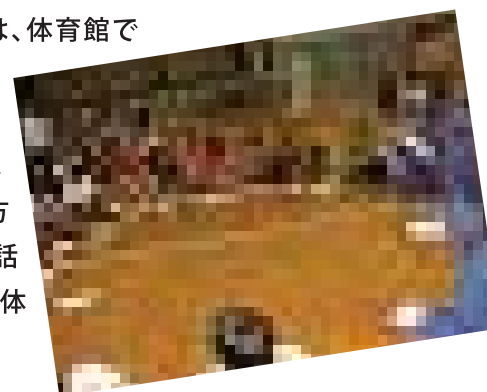
ぼくは、香川県の代表として徳島で開催された大会に出場しました。練習の成果が発揮できるかどうか心配な気持ちで徳島に向かいました。会場に着いてからも良い結果が出るのか心配でした。でも、いざ競技が始まったら他の消防クラブの人に勝てたからうれしかったし、勇気ができました。次の競技では1位になりたかったけど結果は3位でした。また、消防の事を1から教わって次はいい結果がでるようにがんばりたいです。



● 長谷川 海翔 (小6)

ぼくは、8月に行われる交流会に向けて体育館、運動場で練習して徳島県に行きました。1日目は、ホテルに行き初めて阿波おどりを体験しました。2日目は、会場に行き大勢の人が集まり競いあいました。緊張したけれど、いつも通りにきびきびとした動きが出来て良かったです。その夜は、体育館で

ひなん所体験が出来て良かったです。3日目は、地元の消防団の方からいろいろな話が聞けて貴重な体験となりました。



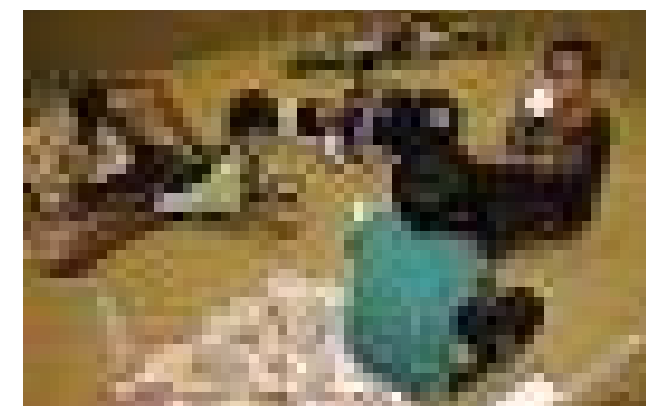
● 須鼻 華生 (小5)

私は、少年消防クラブで徳島大会に行ける事になり、とても楽しみでした。大会当日、私はハードルでしたが今まで練習してきた成果を出すことができました。ひなん所体験では、き重な体験を通して大変なことだと分かりました。色々な県からたくさんの方がきていて友達もできてとても楽しかったです。今回の体験を活かしてこれからも色々な事をがんばっていききたいと思います。



● 池田 那緒 (小5)

私は、初めて徳島で行われる消防クラブ交流会に参加しました。運動が苦手な私は、消防の活動の大変さをこの交流会を通して感じました。訓練の中で一番大変だったのは、ハードルを飛びこえてホースを延長させる障害競走でした。ひなん所体験では、他のクラブの人とダンボールを使い、協力して寝る所を作りました。ひなん生活の大変さを知ることができました。これからも消防団の活動の大変さを周りの人にも教えていきたいと思っています。





多くのことを学び、実感した交流会



久万中学校少年消防クラブは、久万中学校の1年生46名全員が少年消防クラブ員として登録されています。その中から5名の代表者が、本年度の交流会に参加しました。今回参加した5名を中心に、今後も地域の方とともに防災訓練や救急救命法などをしっかりと確認し、有事の際には地域の避難場所としてもしっかりと機能していきたいです。



消防訓練に行つての感想

●山岡 大樹(中1)

僕は8月5日から7日まで、消防の合同訓練に参加しました。最初はどんなものなのか、想像もつきませんでした。

僕が心に残っているのは、阿波踊り鑑賞と競技大会です。阿波踊りでは、全国のみんなと一緒に踊りました。とても楽しかったです。競技大会では、結果は残念だっ

たけど、自分的にはいい結果だったと思います。

とても楽しい3日間でした。また徳島には家族とも行きたいです。



少年消防クラブ交流会に参加して

●山之内 里穂(中1)

「だいじょうぶかなあ。」

私たち久万中学校少年消防クラブは、徳島大会に出場しました。全国から集まった消防クラブの人たち

の熱気を感じ、思わず声に出してしまいました。

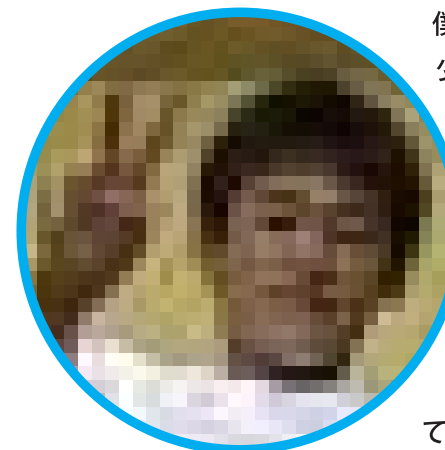
競技の午前の部はスムーズに行きましたが、午後の部ではうまくいかず、ロープの結び方が少し変でした。でも協力して頑張ったことで、友達との絆が少し深まりました。

また、美馬市の消防団の方との交流で、消防団の方のすばらしさを感じました。新しい友達もでき、たくさん学べたことで、私も少し成長できたと思います。



徳島でのクラブ交流会を通して

●杉原 英太郎(中1)



僕たち久万中学校少年消防クラブは、徳島で行われた少年消防クラブ交流会に参加しました。

2日目でのことが心に残っています。合同訓

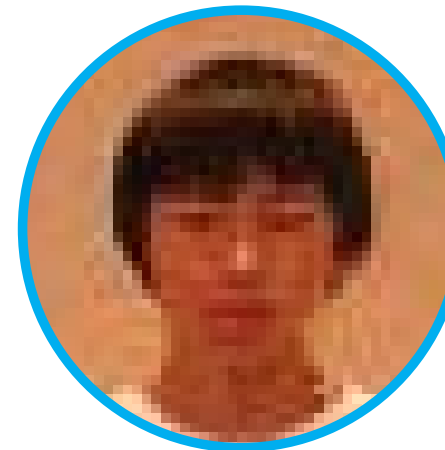
練のことと、段ボールハウスを作り、寝たことです。合同訓練では結果はあまりよくありませんでしたが、自分なりに頑張ることができました。また、他のクラブを見て、すごいな、たくさん練習したんだろうなと刺激を受けました。また、段ボールハウスを作り、寝たことで、今までの生活のありがたみが分かり、備えの大切さも感じました。

僕はこのクラブ交流会での体験を活かし、防火、防災に努め、被害があったときにもしっかりと行動したいと思います。



徳島県で学んだこと

●菅 悠剛(中1)



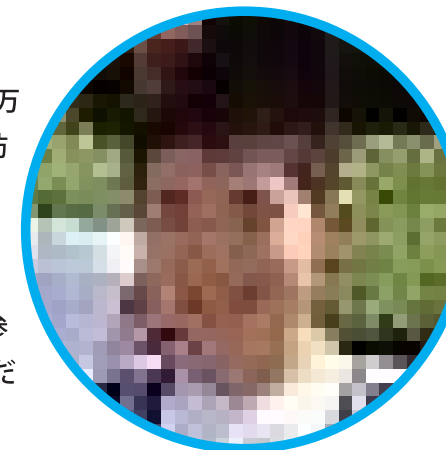
僕たちは消防の活動で、徳島へ行きました。僕たちの班は人数が少なく5人でした。クラブ紹介の時には、どこの班も人数が多いので緊張したけれども、僕たちはしっかりと人の話を聞いて、しっかりとした態度で紹介をしました。

2日目の夜、僕たちはきちんと就寝時間を守り寝たけれど、他の班はルールを守れてないところがありました。自分としては、僕たちの方がそういう面では立派だと思いました。これからも正しい行動を取って行きたいです。



交流会の感想

●濱口 遼太郎(中1)



僕たち、久万中学校少年消防クラブは徳島で行われた全国少年消防クラブ交流会に参加させていただきました。

1日目の夜に阿波踊りを鑑賞し、実際に踊ってみました。意外と楽しかったです。

2日目は以前から練習していたリレーの日でした。本番に上手くできたのでよかったです。

3日目は世界大会に出た人たちや、実際に活動している消防団の方々からいろいろな話を聞くことができました。

この3日間で勉強したことを、非常時に活かしたいです。





3日間で再確認した、防災教育の大切さ



美川中学校少年消防クラブは、全校生徒50名が少年消防クラブ員として登録されています。この度の交流会には、1年生5名が代表として参加し、消防訓練実習や避難所体験を行いました。美川中学校の校区は、渓谷型集落が点在する地域のため、自然災害が発生した際、深刻な影響を及ぼす可能性があります。地域の特性上、防災教育は非常に重要であり、今後も研修を積んでいきたいと考えております。



楽しかった消防クラブ

● 高橋 菜々美(中1)

私は、少年消防クラブで、心に残ったことが3つあります。1つ目は、消防の競技に出場したことです。ミスしてしまい、早くゴールすることはできませんでしたが、精一杯頑張ることができたのでよかったです。2つ目は、段ボールハウスで寝たことです。被災者の方々の気持ちが分かりました。そして、3つ目は、阿波踊りを見たことです。太鼓や笛など、すごくにぎやかで、とても楽しかったです。3日間非常に良い経験になりました。



全国少年消防クラブで学んだこと

● 高山 奎(中1)

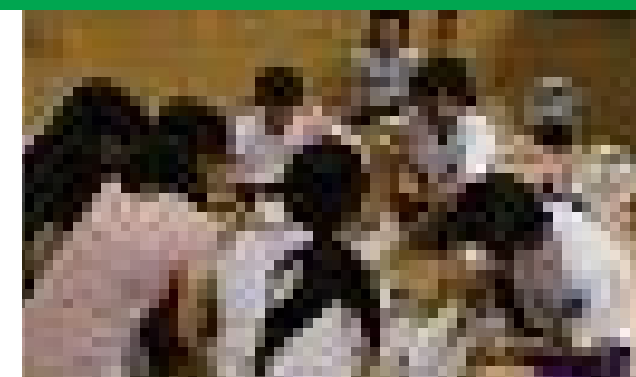
僕は、2泊3日の交流会で様々な活動を通して、多くのことを経験することができました。全国の人たちと1人でも多くの友達を作るという目標を達成することはできませんでしたが、全国の人たちの実力を感じることはできました。僕たちは、合同訓練の際、練習した成果を十分に発揮することができたと思います。今回の交流会で唯一残念だったのは、段ボールハウスで就寝する際、懐中電灯で遊んでいる人がいたことです。



3日間で学んだ事

● 西森 颯哉(中1)

僕は、この3日間で感謝について学びました。1つ目は、食事についてです。3日間、自分たちではなく、係員の皆様がやってくださいました。2つ目は、寝る場所です。自分たちが寝るために用意していただきました。この様に、係員の方々がやってくださったことや徳島に行けた事は、先生や親のおかげです。この3日間のために準備、手伝いをしてくださった方々に大変感謝しています。



学び、経験の3日間

● 篠崎 百花(中1)

徳島県で行われた少年消防クラブ交流会に参加し、多くのことを学び、体験することができました。学んだことは、消防団のお話のことです。いつ災害が起きてもいいように、日頃から危険な場所を知っておくなど災害への備えを教えてくださいました。また、避難所体験をしました。段ボールハウスで寝ました。このような体験をする機会は少ないので、良い経験になりました。私も、日頃から自分の命を守れるようになっていきたいです。



全国という名の舞台で

● 小野 仁士(中1)

僕は、交流会で「切り替え」の大切さを知ることができました。

競技大会のときに、美川中学校の番が次だというのに、僕は、競技とは関係のない話をしてしまいました。結局、競技でミスをしてしまいました。集中力を高めるためにも、切り替えは大切だと学びました。災害が起きたときも、自分の命を守るためにも、メリハリを大切に、これからも生活をしていきたいです。



燃えた全国大会！こじゃんとがんばった高知家



高知県香南市赤岡町「赤岡町少年防災クラブ」は、現在93名で赤岡小学校全校児童がクラブ員です。今回はその中から6年生5名が代表として参加しました。昨年度、悪天候のため中止になった大会に参加予定だったクラブ員はこの大会を心待ちにしていました。

夏休みに入ってからも、炎天下の中、練習に励みました。避難所体験では他のクラブ員との交流もでき、小学校最後の思い出ができました。ありがとうございました。

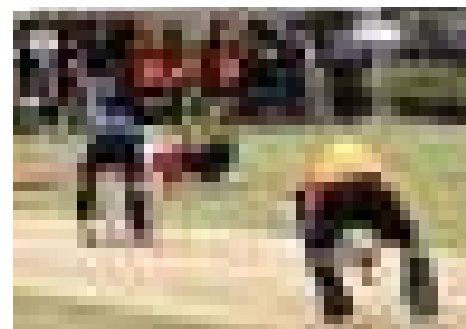


1時間の本番に向けて

● 本田 唯夏(小6)

2日目は初めての段ボールハウス作りでした。愛媛の久万中学校の女子3人と作りました。簡単にできました。晩御飯はカレーと豚汁とスイカでした。豚汁が最高においしかったです。晩御飯の後、また段ボールハウス作りをして、8時くらいまで絵を描き続けていました。完成した時の達成感がすごかったです。

寝るときはみんなが天井にライトをてらして、とても楽しかったです。避難したらこういう感じなんだとおもいました。すごく楽しい3日間になりました。

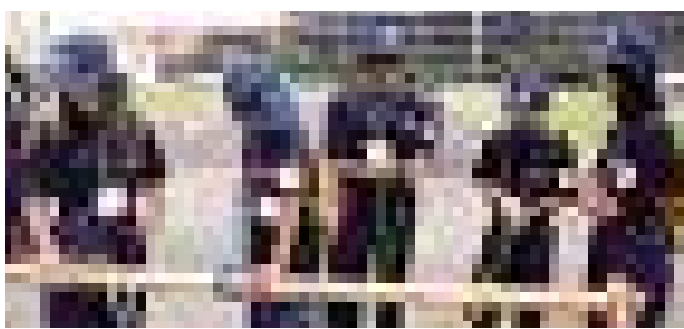


■ さあ、いよいよ訓練スタート！

自分とみんなをまもるために

● 茅 瑠希哉(小6)

ぼくは徳島の合同訓練に行くために何日も練習したので、何らかの結果を残したいと思いました。障害物ではいっきに4チーム同時にやると知っていたので、その中で1位になるぞという気持ちで出場しました。



練習はうまくいったけど、本番では力んでボーリングのピンは1本も倒せませんでした。けれど、みんなが速くできていたのでけっこうがんばれました。リレーや障害物にはルールがたくさんあり、間違えたら減点につながるので緊張しました。この経験が大人になった時に役立てばいいなと思いました。

つながるので緊張しました。この経験が大人になった時に役立てばいいなと思いました。

■ お昼休憩も、ひも結びの練習

命を守る防災

● 吉田 海成(小6)

ぼくたちは一人ずつひもをくくる練習をしました。ぼくはもやい結びでした。難しそうな結び方だと思ったけれど、ずっと練習していくと簡単だと思いました。みんな自分の結び方を覚えて自分以外の結び方まで覚えていたので、がんばっていると思いました。みんなそれぞれ自分のまかされた仕事を一生懸命練習して良い結果が出ました。

3日目は消防団の方との交流で、たくさん話を聞きました。消防の人でも助けられない命があることが分かりました。この3日間勉強したことは実際の場面で生かしたいです。



■ しっかり、バトンをつなぐ

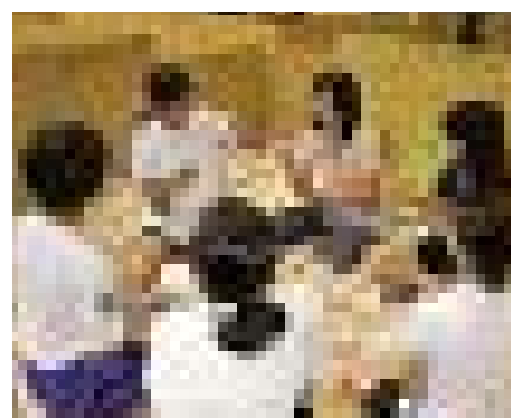
協力したら楽しい！

● 利岡 結香(小6)

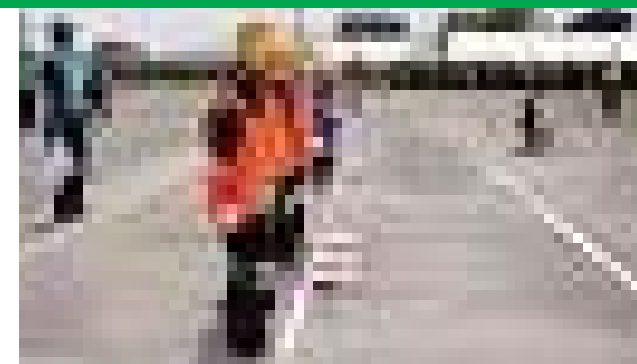
練習はとても暑かったです。初めはひもの結び方を教えてもらいました。ひもの結び方は簡単に覚えることができました。私は班長としてみんなを引っ張らないといけないし、みんなと協力してやらないといけないので心配だったけど大丈夫でした。

1日目のクラブ紹介ではみんなの前で緊張したけど、阿波踊りの体験もできて楽しかったです。全国の学校の

のことやそれぞれの県のいいところがたくさんあることが分かりました。



■ 中学生とも友だちになって



■ 午後の障害物競争スタート直前

みんなと合同訓練

● 田中 果歩(小6)

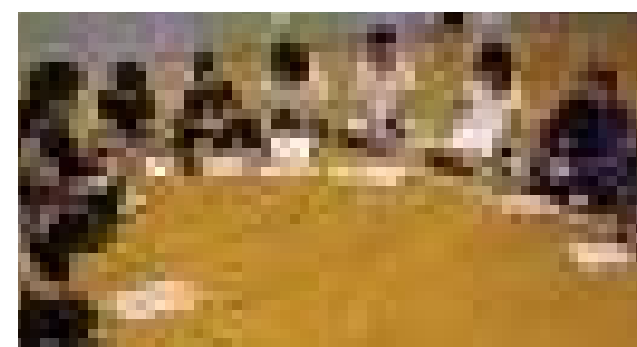
2日目、午前中の合同訓練では7組目の1コースでした。たくさん練習をしたので早くできてうれしかったです。でも、他のクラブも早かったのでびっくりしたし、すごいと思いました。午後の障害物競争では結び方を1番がんばったので、4コース中1番にできてうれしかったです。訓練の後は愛媛の久万中学校や美川中学校と一緒に段ボールハウス作りをしました。たくさんの人と知り合えてうれしかったです。

初めて知った！世界大会

● 利岡 結香(小6)

最終日にはポーランドで行われた世界大会に出場した中学生の話聞くことができました。世界大会は日本の大会とは違って難しいところがあるということを知りました。日本よりも競技の数が多いことや参加する人が多いことなどです。でも、言葉が通じないのに防災を通して仲良くなれるし、何となく分かり合えるということにおどろきました。

これを聞いて、私も行ってみたいなと思いました。



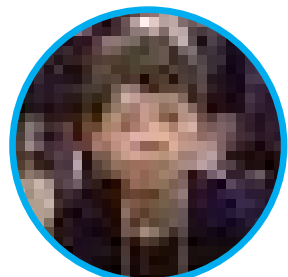
■ 美馬市消防団との交流



最高の仲間と最高の思い出! 全てに感謝!!

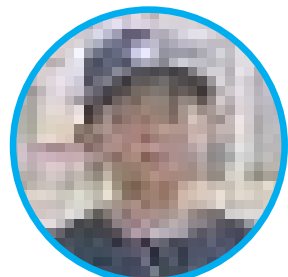


私たち下曾根少年消防クラブは、昭和56年に設立され、創立34年になります。同じ学校に通う小学4年から6年で編成し、地域に密着した防火・防災活動を実施しています。今回、交流会に参加し、貴重な体験ができました。この体験を今後のクラブ活動に活かし、地域貢献に励みます。



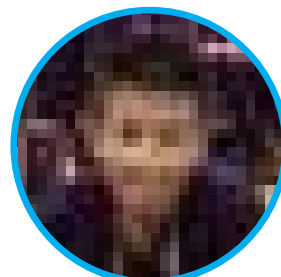
全国大会を終えて
なかがわ かいと
● 中川 海斗(小6)

全国大会前から僕は少し緊張していました。本番では焦りからミスをし、冷静に行動することが必要であることを学びました。結索では全員が早くできました。
交流会を通して約束事の一つ「来た時よりも美しく」は、クラブ全員で守ることができました。今回の研修では、初めての経験が多く、たくさんのことを学ぶことができました。主催して下さった皆さん、ありがとうございました。



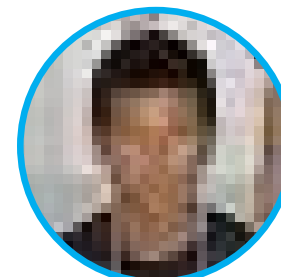
少年消防クラブ全国大会を終えて
てらはら ゆうき
● 寺原 由礎(小6)

4年生の時に一度5年生の中に1人だけ入って参加しましたが、今年は同じクラブの6年生で参加できたことが嬉しかったです。本番は、練習と違うことがあり焦りましたが、全員が一糸懸命協力しゴールしました。
2泊3日の交流会で、他のクラブの人と仲良くなれ、色んなことができて思い出がたくさんできました。交流会に協力してくれた方々に感謝しています。僕も、大きくなったら人の役に立つことをしたいです。



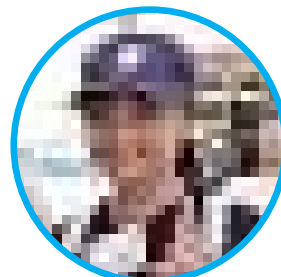
少年消防クラブ全国大会を終えて
わたなべ こういち
● 渡辺 光一(小6)

徳島に行く電車の中で駅弁を初めて食べ、遠くまで来たことを実感しました。
競技会では練習時よりタイムが縮まりうれしかったです。
うだつアリーナでは、ダンボールハウスを作り、避難所体験をしました。体験だったけど、本当の災害で避難することになった場合、大変だと知りました。
この3日間で、とても貴重な体験ができました。この大会に関わってくれた皆さんに感謝します。



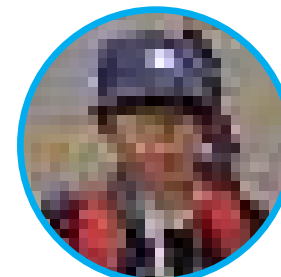
少年消防クラブ全国大会
かとう つかさ
● 加藤 司(小6)

電車や新幹線を乗り継ぎ5時間かけて徳島へ行きました。徳島市内を観光し、ホテルでの夕食の時、阿波おどりを見ました。その日は、一つの部屋にみんなで寝ました。
徳島の消防学校での全国大会では、練習どおりにはいかず悔しかったです。夜は、皆で避難食を食べ、ダンボールハウスを作り、避難所体験をしました。本当の災害の時は大変だと思いました。多くのことを学ぶことができ、このような計画を立ててくれた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。



少年消防クラブ全国大会を終えて
いのうえ ほのか
● 井上 歩香(小6)

消防クラブのみんなと徳島県で開催された消防クラブ全国大会に参加しました。
交流会を通し、他県に友達ができたと、全てのチームが精一杯本気を出し頑張っていたこと、消防クラブでしかできない体験をしたことが私の思い出です。ダンボールハウスを作り、最初は寝れないと思っていましたが、意外に眠りやすかったです。交流会ではたくさんことを学びました。交流会担当の皆さんに感謝しています。



少年消防クラブ全国大会を終えて
かねこ わか
● 金子 和香(小6)

私は、全国大会が始まる前までは、たくさんの人の視線を感じとても緊張していました。本番と練習とは違い、プロテクターを着けて走るのには難しかったです。しかし、ホースの接続、ロープ結索はスムーズにでき良かったです。練習の成果を出すことができ嬉しかったです。
交流会に関わっていただいた皆さんありがとうございました。



交流会の経験を活かした活動を期待!

●リーダー 吉田

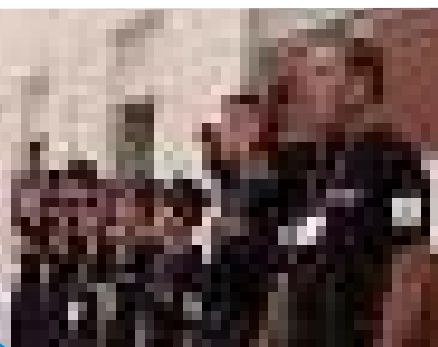
第東中14区少年消防クラブは、隊員5名・指導者2名の7名で参加した。当日は、大勢の地域の皆様から見送られ、北九州市若松区を後にした。今年は去年より、大会への出場意欲が強く、練習も猛暑の中、弱音をはかずにいった。

初日のオリエンテーションでは、中学生のサブリーダーを中心に、役割分担を決め、地元の公民館で事前練習を行った。その成果が発揮され多大な拍手をもらった。

二日目は、6時30分に起床し、徳島県消防学校へ向かった。開会式では参加者全員が、揃いの消防Tシャツで整列した。合同訓練競技は、我がチームは期待外れの成績だったが、子ども達は元気に、他チームとの交流を十分に楽しんでいた。

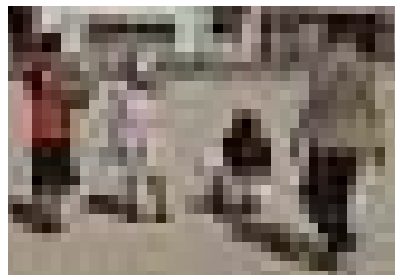
三日目は、うだつアリーナ体育館に移動し、避難所体験を行った。今回の交流会を通じて体験したことを、

今後のクラブ全隊員の意識高揚に繋げ、地域の防火・防災活動に期待したい。



責任感を感じた初めての経験

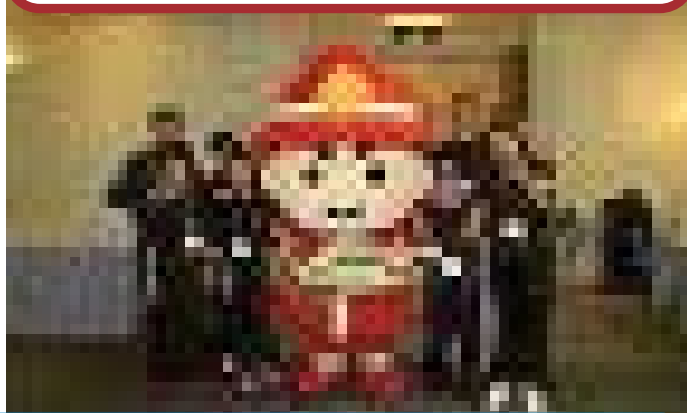
●サブリーダー 安藤百夏(中1)



私は、チームリーダーから「サブリーダーとしてチームのまとめ役で頑張れ」と言われ参加しました。とは言っても初め

での体験です。私は部活であまり競技練習には出ていませんが、猛暑の中でかなり練習を繰り返していました。

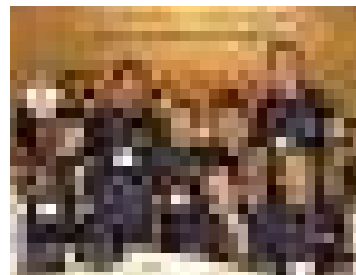
交流会では、他チームの人達と会話が出来て直ぐにお友達になれました。メンバーの小学生も半分は旅行気分楽しんでいて、私の言うことも素直に聞いてくれてとっても充実した経験をさせてもらいました。お世話して下さいました皆様に感謝します。有難うございました。



多くの友達が出来て楽しかった交流会

●副隊長 吉持 昶斗(小5)

連日35度を超える異常気象の中、ホースの巻き方やハードルの越え方のコツ等を、わかりやすく教えて頂きありがとうございました。会に出場して気づいたことは、



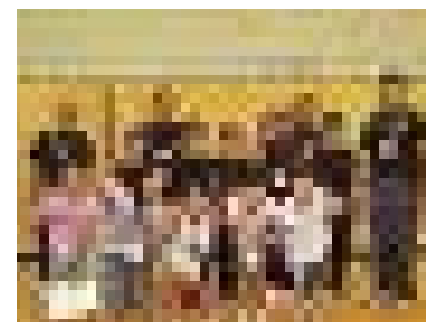
僕が思っていた以上に多くの参加人数でした。それに、皆の足の速さにはびっくりしました。地元の練習ではなかった、ヘルメットをかぶっての競技では、とっても頭が重くて走りにくかったです。

うだつアリーナでは、みんなで作ったダンボール避難部屋で、夜中まで友達と遊んだ事がとっても楽しい思い出です。

徳島合宿に参加して経験したことを、これからのクラブ活動に活かしたいと思います。ありがとうございました。

次回も参加したい交流会

●隊長 仲山 杏(小6)



私は、交流会に参加できて良かったと思います。新しい友達ができ、2泊3日の合宿で多くの貴重な体験ができました。でも、交流会に参加出来たのは、協力してくれた色々な人のお蔭だと感謝しています。若松消防署の林さんや吉田リーダーは、猛暑の中を私たちのために指導してくれ、長井会長さんや家族の皆は、準備を手伝ってくれました。

この交流会に参加して「友情」「協力」「仲間」の大切さを学びました。これからの消防訓練に活かしていこうと思います。

この交流会に参加して「友情」「協力」「仲間」の大切さを学びました。これからの消防訓練に活かしていこうと思います。

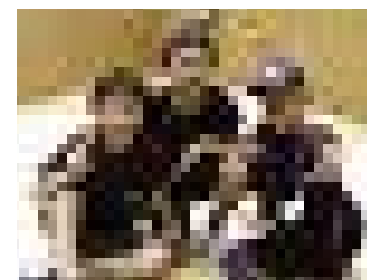
楽しかった遠征合宿

●副隊長 田中 弓景(小6)

僕の一番の思い出は、事前練習で若松消防署の方に教えてもらいながら一生懸命に練習し、練習のたびに上達して嬉しかったことです。それから、待ちに待った交流会に参加でき、隊員仲間と遠征合宿の願いがかなったことです。

交流お国自慢紹介では、前もって練習した日頃の僕たちの活動を、発表が出来てホットしました。徳島防災センターでは、色々な体験が出来たことと、他チームの人と友達になれた事が良い思い出です。

交流会に僕たちが参加できたのは、若松消防署や自治会の皆さんのおかげです。ありがとうございました。

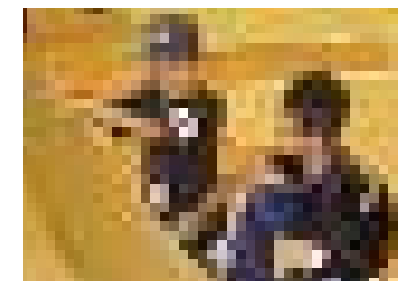


交流会に参加できた喜び

●副隊長 大島 大和(小5)

僕が消防クラブ全国交流会に参加して、一番良かったことは、地元の消防団のおじさんから学んで、楽しく作ったダンボールハウスです。その時に僕は、全く知らない人達と共同活動をするうちに、直ぐに仲良くなれてすごく楽しかったです。

これも林さんや吉田リーダーがついて来てくれたり、大会関係者の人達が、色々なことを準備してくれたり、お母さんやお父さんや自治会の皆さんが、出発の用意をしてくれたお陰です。本当にありがとうございました。



未来のために!

●指導者 若松消防署・林

H27年8/5(水)~8/7(金) 初めて徳島県で少年消防クラブ交流会(全国大会)が開催されました。8/5(水)、晴天のなか、いよいよ出発。現地までの移動も長かったですが、瀬戸大橋から見る景観はとてもきれいで、すばらしかったです。

初日のオリエンテーションは、全国の少年消防クラブ員と知り合う場でした。子供たちは積極的にアプローチをかけ、沢山の友達を作っていました。2日目も晴天

が続き、訓練日和でした。自分たちのやってきたことを、精一杯行いましたが、結果的にタイムはあまりよくなく、上位に入り込めませんでした。来年の課題ができました。

3日目、アリーナでの避難所運営訓練では、みんなで協力してダンボールで寝床を作り、秘密基地を作るように、楽しそうでした。

今回の訓練で子供たちは、日本全国に仲間がいることを知り、また、仲間の大切さやチームワークの重要性を学ぶことができたと思います。ぜひ来年は、大会に忘れた物を取りにきてほしいと思いました。



いろんな体験や交流を 今後の活動に活かしていきます！



くすばし少年消防クラブは、平成25年に発足したクラブです。北九州市八幡西消防団第11分団の管内に住んでいる、中学生と高校生を対象としています。現在11名在籍しています。特徴としては、2~30代の消防団員が主に指導を行っていることです。訓練を重ねるうちに、消防団員とクラブ員が交流でき、高校を卒業すると同時に、消防団入団へとつながっています。今回の交流会に向けて約1か月間訓練しました。



1ヶ月間の練習は厳しかった〜。

●尾添 太一(中3)

徳島での交流会に向けて、1ヶ月間も前から練習をしました。練習は楽しい時もあったけど、とても暑くて厳しい練習でした。でも、終わった後にみんなでジュースを飲んだり、喋ったりするのが楽しかったので、厳しい練習も続ける事ができました。

合同訓練では、緊張や不慣れな肘当てなどで練習ど

おりにはいきませんでしたが、大きな声と指差呼称はどこのクラブよりもずっと上だったと思うので、自分では良かったなと思います。

あっという間の二泊三日だったけどいい経験になりました。



失敗してもいい思い出になりました。

●中武 航平(中3)



この大会に参加して、日本中に消防クラブがこんなにもいると言うことでびっくりしました。みんなで練習をして大会に

のぞみましたが、あまりの緊張で僕はとても失敗ばかりしてしまいました。2日目は、段ボールハウスをつくりました。段ボールで寝てみて段ボールでも暖かいと思いました。もしも災害がおこり、避難したときは、段ボールハウスを作り寒くないようにしたいと思います。

3日目に交流会をやって、いろいろ話を聞きました。とても勉強になりました。僕たちも海外に行ってみたかったです。

徳島は遠かったけど とっても楽しかったです。

●中村 裕太(中2)

新幹線とバスで5時間かけて徳島県のホテルにつきました。あまりやすみもなく夕食会場についたのできませんでした。



さまざまな消防クラブが参加していて、その紹介がとってもおもしろかったです。みんな

でお風呂やサウナに入って楽しかったです。2日目に合同訓練があって、順位はわるかったけど、全力を出したので良かったです。夜は段ボールハウスを作りました。寝るときは少し暑かったです。3日間の交流会はとても楽しかったです。この経験を生かしていきたいと思います。

みんなで頑張りました！

●小川 智椰(中3)

1日目の夕食では、美味しく、たくさんの種類の料理が食べられて、阿波踊りまで見られて楽しかったです。

2日目の訓練では、今まで教えてもらった事をやれたと最初は思ったけど、後になるとまだやれることがあったと思いました。

高校を卒業したら消防団員に!!

●指導者 浦濱 恵介

昨年は台風の影響で中止になりましたが、今年も昨年と同じメンバーで参加できました。練習は、若い消防団員が指導者となり行いました。規律訓練から始まり、ホースの展張、消火器の取扱いなど、指差呼称、安全管理を行いながら消防団活動で学んだことを活かすことができました。クラブ員は、学校で部活動が終

カレー最高！

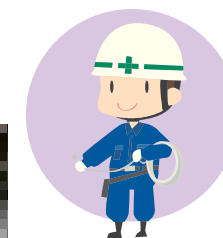
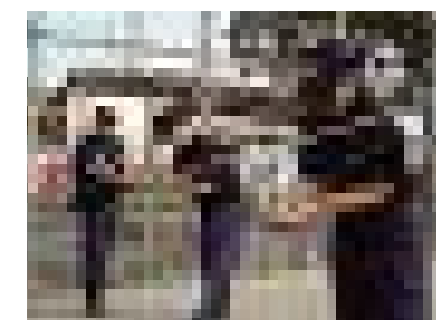
●松野 和斗(中3)

阿波踊りを初めて観ました。とっても楽しそうだったので、恥ずかしくて、一緒におどることができません



でした。合同訓練の本番では、練習で消防団の方に教えてもらったとおりにできて、よかったです。

避難所体験のときの、ハイゼックスで作ったご飯と、カレーとスイカはとっても美味しかったです。徳島県までの行き帰りは、新幹線やバスで移動しました。みんなと話をしたり、ゲームをしたりして、修学旅行みたいで楽しかったです。



ですが、真夏の暑いなかみんなで頑張ってきた

事で、みんなの信頼がいつそう深まったと思います。みんなで頑張ってきた事は忘れずにしたいと思います。



わってからの訓練だったので、できつかったと思いますが、よく頑張ってくれました。約1か月の訓練でしたが、消防団員とクラブ員が交流するいい機会となりました。



たくさんの仲間と過ごした夏！



現在ひかり児童館少年消防クラブは、小学生20名のクラブ員で活動しています。消防本部や地元消防団と連携をし、防災訓練やキャンプなどを行っています。明るいまちづくりと地域防災の啓発に力を入れています。今回は6年生の代表6名が全国交流大会に参加しました。



少年消防クラブ 全国交流大会を終えて

●岩瀬 快聖(小6)

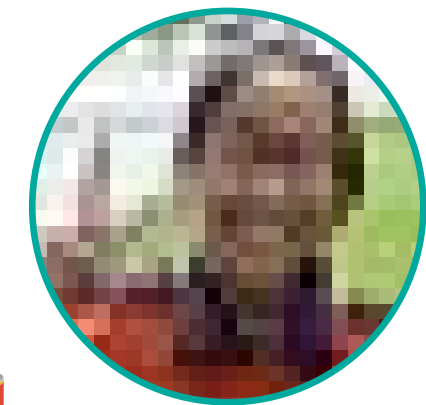
ぼくは、この大会を終えて無事に終わって良かったと思いました。合同訓練でのクラブ対抗リレーが一番に残ったと思います。ぼくは、第2走者で水消火器を使い火と書かれた、板を倒す役割でした。みんなが、が



んばってくれていたからゴールできて、良かったです。結果は、15位だったけど一生けん命がんばったから良かったです。チームワークも良かったのでまた機会があるなら参加してみたいです。

きつかった消防全国大会

●西田 紗綾(小6)



私は、消防全国大会に出場しました。練習は3日間の少ししか練習していないけど、大会では、練習よりいい記録がでた

のでうれしかったです。中学生の人も出ていて速かったけど15位といういい記録が出てよかったです。練習の時よりも、本番の方がコースがながくてとてもきつかったです。でも、たくさんの人たちと仲よくできたのでよかったです。また、1日目の夕食の時には友達もできてうれしかったです。きつかったけど、また行きたいです。



暑かった消防全国大会

●谷脇 弥良衣(小6)

私は、消防全国大会に出場しました。練習は3日しかなかったけど、大会では今までよりいい記録がでていました。私は補員だったけど、みんなとてもがんばっていてすごかったです。中学生の人たちもいました。とても速かったのでびっくりしました。いろいろなチームがたくさんいてとても多かったです。だからすごくきん張したけど、楽しかったです。友達もできてとてもうれしかったです。手紙交かんもしてとても楽しいです。



少年消防クラブ交流会

●中村 菜(小6)

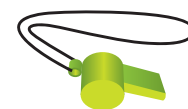
八代消防署の方の指導のもと、練習をして消防全国大会本番にいどみました。合同練習の障害物競走では、第一走者が筒先を忘れるというハプニングがありましたが、そのあとのみんなのがんばりで相手チームに勝つことができました。結果は15位だったので、がんばって練習してよかったと思いました。こんかいの消防全国大会に参加して、徳島に行けたことも、新しい友達ができたくとも、とてもいい思い出になりました。



徳島大会に参加して

●小嶋 乃愛(小6)

私は初めて全国消防大会に参加し、短い間消防署で練習しました。練習の時、失敗して上手くいかなかったけど、頑張りました。訓練当日、今まで練習してきた成果を発揮しようと思っていました。バトンを忘れて走ったという、最大なミスをおかしてしまいました。でもその後、みんながカバーしてくれたので、チームワークって本当に大切なのだなと思いました。結さくの方では、今までで一番いいタイムをおさめることができたのでよかったです。



交流大会で学んだこと

●川島 奏音(小6)



私が、3日間で学んだことは、暑くてもがまんし、しんけんにとりくむことです。私は、暑かったらすぐに「暑い」とって、ちょっとめんどくさいなと思ったことがありました。でも、消防団や消防士さんを見て、暑いはずなのに、しんけんにとりくんでいた姿を見て、私もがんばろうと思いました。そして、しんけんにとりくむのは、自分のことではなく人の命を守ろうとか、危険なめにあわせないようにとか、人の事を第一に考えているからだと思いました。なので、これから私もいろんな事にしんけんにとりくもうと思いました。



田皆っ子パワーでNo fire!

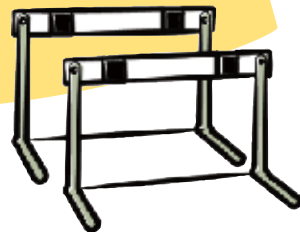


田皆少年消防クラブは、鹿児島から536km離れた沖永良部島・知名町にあり、今回全国交流大会には、6年生5名が参加しました。現在は、地元消防団と一緒に、学校と字合同の秋季大運動会の「消防障害走」へ向けて練習に励んでいます。

障害走

● 田邊 寛 (小6)

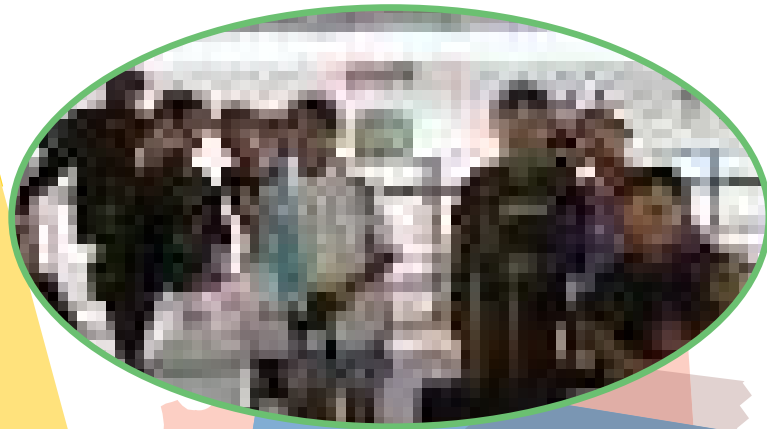
ぼくは、障害走のアンカーを任された。隣に並んでいる女子は、見るからに速そうだった。なんと隣と同時に、ぼくの手にバトンの筒先が届いた。ぼくは、全力でゴールまでかけ抜けた。「勝った。」と思ったら、筒先を地面に置くのを忘れて、負けてしまった。ぼくは、くやしかったのに笑ってしまった。



大会

● 沖田 怜奈 (小6)

今日は、消防の大会がありました。私は、初めのリレーの方で、ぶっつけ本番だったので、やることをわすれてしまい、おくれました。私の失敗で負けてしまいました。くやしかったです。競争では、ひもが練習の時のとちがってとてもやりにくかったです。



夏休みの思い出

● 東 未来 (小6)

私は、「少年消防クラブ全国交流大会」に参加するために徳島に行きました。

出発する3日前から、1日2時間の練習と実際に消防署へ行って練習もしました。私の役割は、バトン代わりの筒先をもらって、第1ハードルを跳んで第2ハードルをくぐって、次の人に筒先を渡すことです。その他にもあと1つ競技があり、溝やハードル、平均台などの障害物を越えて、筒先とホースをつないで速さを競うものです。

8月4日、出発当日がやって来ました。沖永良部島からなので、特に飛行機の乗り継ぎが大変でした。やっと大阪に着いて、1番楽しみにしていた「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」に行きました。最初に行った所は、ハリー・ポッターのエリアです。その世界の中のお店では、大人気のだれもが楽しめる不思議な味をした百味ビーンズとファイル、筆箱とストラップなどのお土産を買いました。1番楽しかったのは、ハリー・ポッターの乗り物に乗ったことです。その乗り物に乗るために、私たちは80分も待ちました。結構並ぶのに疲れましたが、いい思い出になりました。私はジェットコースターに乗ったことがなかったので、とてもうれしかったです。それから、夜は友達とパレードを見て楽しみました。音は、映画館より大きかったです。夜は、もっと夢の世界にいる感じがしました。ホテルに帰ってから、みんなで部屋に集まって買った物を食べたり遊んだりしま



した。初めてみんなとホテルで遊べたので、すごく楽しかったです。

次の日、バスで徳島まで移動しました。その日は、日本全国の人たちとホテルで交流会がありました。みんな阿波踊りを踊りました。手の動かし方が難しかったけど、みんなで楽しく踊れました。その夜は、ぐっすり眠れました。

大会当日の徳島は、すごく暑かったです。私は全国の人たちと対戦するので、すごくドキドキしました。私たちは、10組目の第1コースでした。私は、隣の人より早く筒先のバトンを渡そうと、ハードルを跳んだりくぐったりがんばりました。次の障害走は5組目で、あっという間に番がやってきました。自分の役割がちゃんとできるか不安だったけど、練習どおりにしっかりできました。午後からは、段ボールハウスを作りました。香川県の人たちといっしょに協力して作りました。そして、

夜はその段ボールハウスに寝ました。たくさん友達もできて、よい経験になりました。

最後に、私は「少年消防クラブ全国交流大会」へいっしょに行ってくださった保護者の方々、旅行の費用を出してくれた父母に感謝しています。この夏の貴重な経験を忘れず成長していきたいです。



少年消防クラブ交流会(全国大会)のスケジュール



- 受付(徳島グランヴィリオホテル又はホテルサンシャイン徳島) …… 14:00～15:30
- オリエンテーション …… 17:00～17:30
- クラブ紹介、夕食、阿波踊り鑑賞 …… 17:30～20:00
- 解散、移動、入浴 …… 20:00～21:30
- 就寝 …… 21:30

宿泊:徳島グランヴィリオホテル 又は ホテルサンシャイン徳島



- 起床 …… 6:30
- 荷造り、朝食 …… 6:30～ 8:00
- 宿泊施設発 ⇒ 徳島県消防学校着 …… 8:00～ 8:45
- 開会式、写真撮影 …… 9:00～ 9:30
- 合同訓練(午前の部) …… 9:30～12:00
- 昼食 …… 12:00～13:00
- 合同訓練(午後の部) …… 13:00～14:00
- 閉会式、荷造り …… 14:00～15:00
- 徳島県消防学校 発 ⇒ 入浴 ⇒ うだつアリーナ 着 …… 15:00～17:00
- 避難所体験(段ボール等使用) …… 17:30～20:00
- 夕食、片付け ※2班に分けて食事 …… 18:00～19:00
- 事務連絡、就寝準備 …… 20:00～21:00
- 就寝 …… 21:00

宿泊:うだつアリーナ(体育館)



- 起床 …… 6:30
- 朝食、片付け、荷造り …… 6:30～ 9:00
- 地元消防団等との交流、オリンピック報告、解散式 …… 9:00～11:00
- うだつアリーナ 発 ⇒ 各解散場所 着、解散 …… 11:00～12:00



少年消防クラブ交流会(全国大会)

写真集



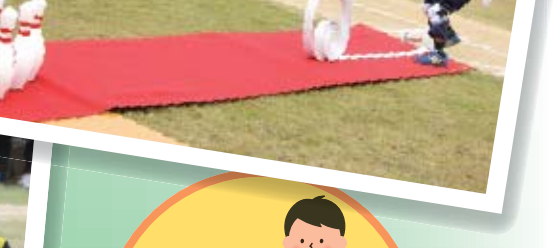


オリエンテーション ● 阿波踊り鑑賞
クラブ活動紹介



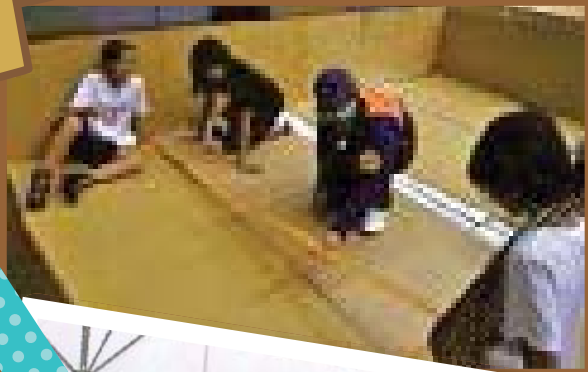


合同訓練





避難所体験 夕食





●消防団等との交流





●ご協力いただいた関係者の皆様



徳島県 消防学校
校長 野々瀬 由佳 様



美馬市 婦人防火クラブ
連合会の方々



(公財)日本消防協会
(一財)日本防火・防災協会
会長 秋本 敏文 様



美馬市長
牧田 久 様



美馬市消防団の方々



徳島県 副知事
熊谷 幸三 様



徳島県知事
飯泉 嘉門 様



(公財)徳島県消防協会
会長 岡山 勝明 様



美馬市消防団の方々



●代表挨拶 ●全体集合写真

●選手宣誓
(伊島少年消防隊 神野 海斗さん)



●決意表明
(日本橋消防少年団 糸日谷 凛さん)



●お礼の言葉
(福浦少年消防クラブ 田中 亜依さん)



●代表挨拶
(三郷市少年消防クラブ 加藤 颯さん)



●全体集合写真
(合同訓練時)



おまけ





おまけ



平成27年度
少年消防クラブ交流会(全国大会)の記録

平成27年12月発行

編集・発行：消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室

〒100-8927 東京都千代田区霞が関2-1-2 ● www.fdma.go.jp